第１０回 播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会

－次　第－

日　時：令和７年２月２１日（金）
　　午前１０時から
場　所：たつの市役所　新館４階
　　災害対策本部兼大会議室

１　開　　会

２　会長及び副会長の選任について

３　協議・報告事項

（１）　定住自立圏構想について　【Ｐ１～Ｐ５】

（２）　定住自立圏共生ビジョンの取組状況について　【Ｐ６～Ｐ１８】

（３）　定住自立圏共生ビジョンの改定について　【Ｐ１９～Ｐ２８】

（４）　第３期定住自立圏共生ビジョンの策定について　【Ｐ２９～Ｐ３１】

４　閉　　会

播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会名簿

【委員】

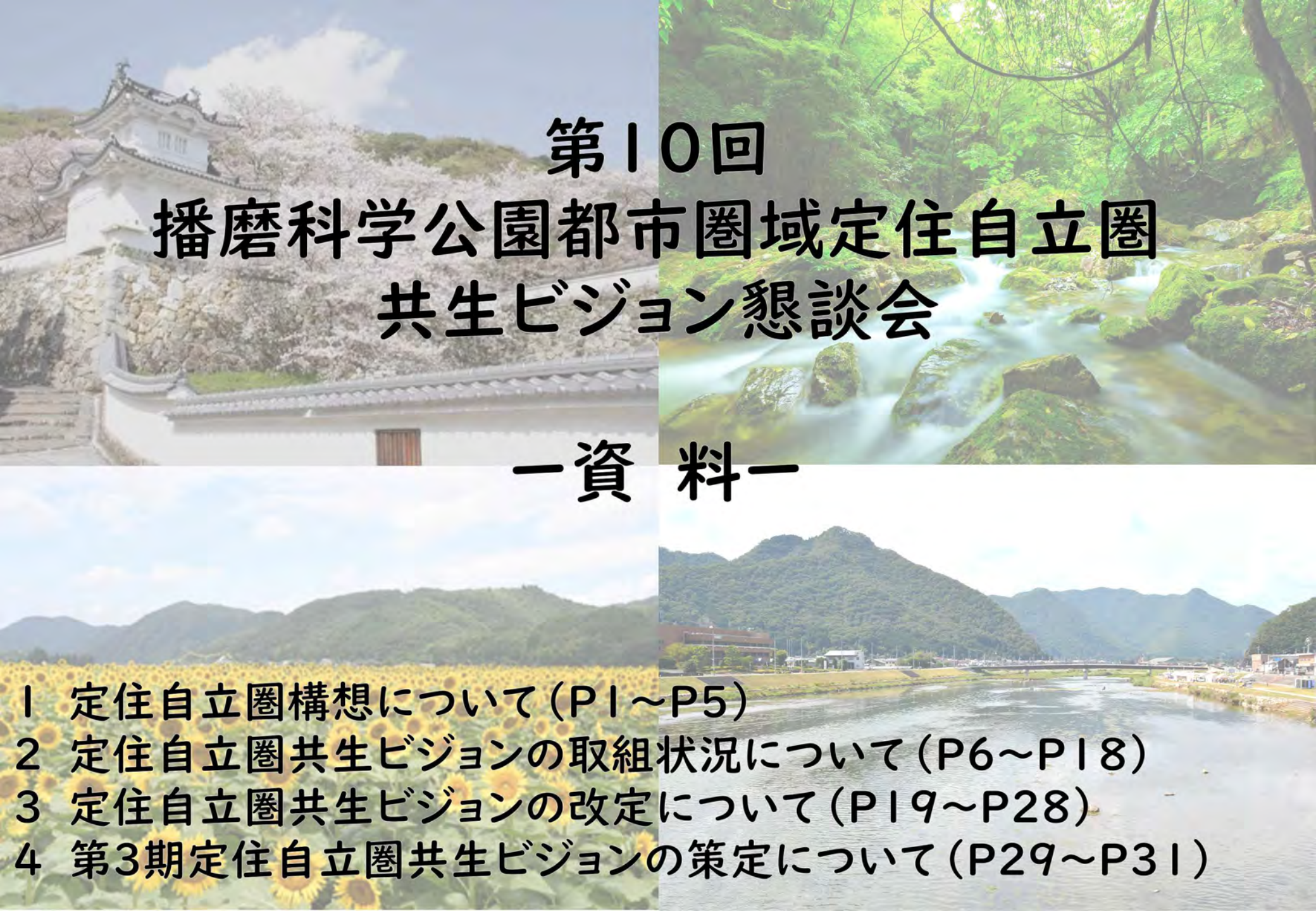
No.	区　分	分　類	委員氏名	所属団体・役職等
1	学識経験者	教育・人材育成・環境	草　薙　真　一	兵庫県公立大学法人兵庫県立大学副学長
2	政策分野の関係者	医療	上　田　　治	地方独立行政法人たつの市民病院機構法人事務局長
3	政策分野の関係者	医療	菅　原　　誠	宍粟市公立宍粟総合病院副院長兼事務部長
4	政策分野の関係者	医療・福祉	佐　野　一　成	たつの市・揖保郡医師会会長
5	政策分野の関係者	福祉	横　田　京　悟	たつの市社会福祉協議会会長
6	政策分野の関係者	福祉	岸　本　年　生	宍粟市社会福祉協議会会長
7	政策分野の関係者	福祉	末　政　貴　広	上郡町社会福祉協議会理事長
8	政策分野の関係者	福祉	井　上　洋　文	佐用町社会福祉協議会会長
9	政策分野の関係者	産業振興	頃　安　雅　樹	龍野商工会議所会頭
10	政策分野の関係者	産業振興	木　津　眞　人	たつの市商工会会長
11	政策分野の関係者	産業振興	長　田　　博	宍粟市商工会会長
12	政策分野の関係者	産業振興	大　崎　基　弘	上郡町商工会会長
13	政策分野の関係者	産業振興	井　口　　覚	佐用町商工会会長
14	政策分野の関係者	産業振興	桑　垣　喜　一	西兵庫信用金庫理事長
15	政策分野の関係者	消防防災	栗　岡　耕　治	西はりま消防組合消防長
16	政策分野の関係者	地域公共交通	池　内　康　二	株式会社ウイング神姫代表取締役社長
17	政策分野の関係者	交流・定住促進	井　口　明　則	兵庫県宅地建物取引業協会西播磨支部幹事
18	政策分野の関係者	交流・定住促進	真　田　忠　敏	住民代表（たつの市連合自治会副会長）
19	政策分野の関係者	交流・定住促進	野　村　和　男	住民代表（宍粟市連合自治会会長）
20	政策分野の関係者	交流・定住促進	西　山　武　彦	住民代表（上郡町連合自治会会長）
21	政策分野の関係者	交流・定住促進	加　藤　政　男	住民代表（佐用町長谷地域づくり協議会センター長）

【オブザーバー】

所　　属	役　職	氏　名
兵庫県龍野健康福祉事務所	所長	圓　尾　文　子
兵庫県企業庁地域整備振興課	開発調整官	渋　谷　寿　永
兵庫県企業庁地域整備振興課	経営班長	稲　村　健　作
兵庫県企業庁播磨科学公園都市まちづくり事務所	所長	山　名　佐知子
兵庫県総務部市町振興課	企画担当主幹	原　田　光　広
西播磨県民局総務企画室総務防災課	班長（企画防災担当）	松　谷　寛　幸
宍粟市市長公室地域創生課	課長	久　内　康　伸
上郡町企画広報課	課長	木　村　将　志
佐用町企画防災課	課長	大　下　順　世

【事務局】

所　　属	役　職	氏　名
たつの市企画財政部	部長	家　氏　孝　幸
たつの市企画財政部企画課	課長	杉　本　典　彦
たつの市企画財政部企画課	副主幹	浜　松　悠　輔
たつの市企画財政部企画課	主査	沖　田　　順



第10回
播磨科学公園都市圏域定住自立圏
共生ビジョン懇談会

ー資　料ー

1　定住自立圏構想について（P1～P5）
2　定住自立圏共生ビジョンの取組状況について（P6～P18）
3　定住自立圏共生ビジョンの改定について（P19～P28）
4　第3期定住自立圏共生ビジョンの策定について（P29～P31）

1　定住自立圏構想について

定住自立圏構想について

■ 定住自立圏形成の目的

集約とネットワークの考え方に基づき、中心市において圏域全体の暮らしに必要な都市機能を集約的に整備するとともに、近隣市町村において必要な生活機能を確保し、農林水産業の振興や豊かな自然環境の保全等を図るなど、互いに連携・協力することにより、圏域全体の活性化を目的としている。

■ 圏域に必要な役割

1 生活機能の強化
（医療・子育て支援体制等の充実、産業振興、防災体制の強化 等）

2 結びつきやネットワークの強化
（地域公共交通ネットワークの充実、移住促進、道路等交通インフラの整備 等）

3 圏域マネジメント能力の強化
（合同研修の実施、職員の人事交流、外部専門家の招へい 等）

◆ 目指すべき将来像

社会の動向や圏域の環境変化を追い風に、各市町の主体性を尊重しつつ、圏域思考に基づく相互連携を一層強化し、持続可能な圏域形成を進めます。
第2期共生ビジョンでは、第1期共生ビジョンを深化させつつ、各市町が実施する地方創生事業との相乗効果を発揮し、圏域住民が安全・安心かつ快適に住み続けたいと実感できる、
「西播磨の未来を拓く連携と共生のまちづくり」 を目指します。

定住自立圏構想について

■ 定住自立圏共生ビジョン

定住自立圏共生ビジョンは中心市が、当該中心市を含む定住自立圏を対象として、**圏域の将来像や、協定に基づき推進する具体的取組等**を記載するものであって、その計画期間は**5年間**とし、毎年度所要の変更を行います。

第1期ビジョン：平成28年度～令和2年度
第2期ビジョン：令和　3年度～令和7年度

→ 第２期ビジョン
４年目

■ ビジョン懇談会の位置づけ

定住自立圏共生ビジョンの策定・変更に当たり、**関係者の意見を幅広く反映させるため**、医療、福祉、教育、産業振興、地域公共交通等定住自立圏形成協定等に関連する分野の代表者や、地域コミュニティ活動の関係者等を構成員として開催する**協議・懇談の場**

市町長会議・・・・ビジョン推進に関して市町長による意見交換の場

ワーキング会議・・各市町企画担当課長及びオブザーバー（兵庫県市町振興課・西播県民局）で構成する協議の場

企画担当者会議・・各市町企画担当者で構成し、ビジョンの総合調整、協議の場

分科会・・・・・・各市町事業担当課で構成する協議の場

これまでの経緯

平成27年5月～	近隣市町との定住自立圏構想を開始

連携市町とのつながり

たつの市・上郡町・佐用町は、「播磨高原広域事務組合」を作り、「播磨科学公園都市」のPRや上下水道事業、組合立の小中学校の運営などに取り組むつながりがあった。また、宍粟市南部はたつの市が生活圏となる住民がおり、古くからも揖保川を利用し、高瀬舟による交流が行われていた。

播磨科学公園都市を中心とする宍粟市、上郡町、佐用町とワーキンググループを構成

形成協定までに開催したワーキンググループ会議は、全10回 その後も圏域市町と連絡を密にするため、適宜開催

平成27年9月25日	定住自立圏構想中心市宣言式
平成27年12月～	連携事業各市町事務担当者における協議を開始
平成28年3月	定住自立圏形成協定の締結に関する議案を各市町の議会に上程

※各市町の議決日

たつの市：平成28年3月24日　宍粟市：平成28年3月25日

上 郡 町 ：平成28年3月11日　佐用町：平成28年3月14日

平成28年3月30日	定住自立圏形成協定調印式
平成28年6月23日	第1回播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催
平成28年9月27日	第1期播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョン（平成28年度～令和2年度）策定
令和3年3月30日	第2期播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョン（令和3年度～令和7年度）策定

第3期共生ビジョンの策定に向けて

ビジョン体系図

A 生活機能の強化に係る政策分野

- 医療
  - 医療圏域体制の充実
- 福祉
  - 高齢者・障害者支援及び認知症対策体制の充実
  - 子育て支援体制の充実
- 教育
  - 学校教育・社会教育の充実
- 産業振興
  - 農林畜産業の振興
  - 圏域観光の推進
  - 雇用・企業等誘致の推進
  - 地産地消の推進
- 環境
  - 環境への負荷の少ない持続可能な社会の構築
- 消防防災
  - 圏域内防災体制の強化

B 結びつきやネットワークの強化

- 地域公共交通
  - 地域公共交通ネットワークの充実
- 道路等交通インフラ
  - 効率的な交通機能のネットワークの形成
- 交流・定住促進
  - 地域資源の活用による交流・定住促進

C 圏域マネジメント能力の強化

- 人材育成
  - 地域をけん引する人材の育成及び人事交流の実施

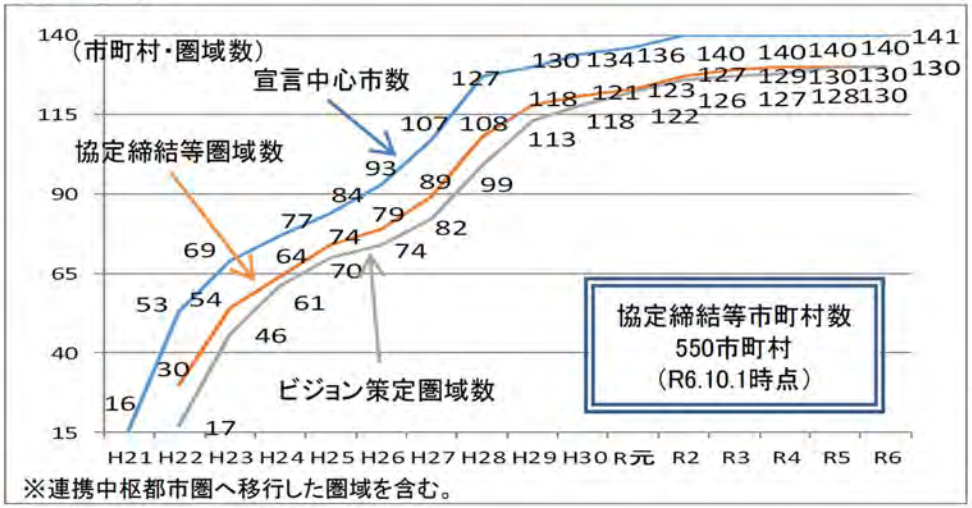
圏域の将来像

基本目標（将来像）
～ 西播磨の未来を拓く連携と共生のまちづくりを目指して ～

圏域人口（国調）	実績値（平成27年）	実績値（令和2年）	目標値（令和7年）	目標値（令和12年）
	147,926 人	138,877 人	133,000 人	125,000 人

参考（全国及び県内の状況）

■ 全 国



- 協定締結等圏域数130圏域
- 市町村数550団体（R6.10.1）

■ 県 内

	中心市	連携市町	協定締結日
東備西播定住自立圏	備前市	赤穂市、上郡町	2009.12
北はりま定住自立圏	西脇市	多可町	2010.10
但馬定住自立圏	豊岡市	養父市、朝来市、香美町、新温泉町	2012. 7
淡路島定住自立圏	洲本市	淡路市、南あわじ市	2013. 3
北播磨広域定住自立圏	加西市 加東市	西脇市、多可町	2015.10
播磨科学公園都市圏域定住自立圏	たつの市	宍粟市、上郡町、佐用町	2016. 3

２ 定住自立圏共生ビジョンの取組状況について

提供：しそう森林王国観光協会

定住自立圏共生ビジョンの取組状況について

在宅医療・介護連携ＩＣＴシステム推進事業

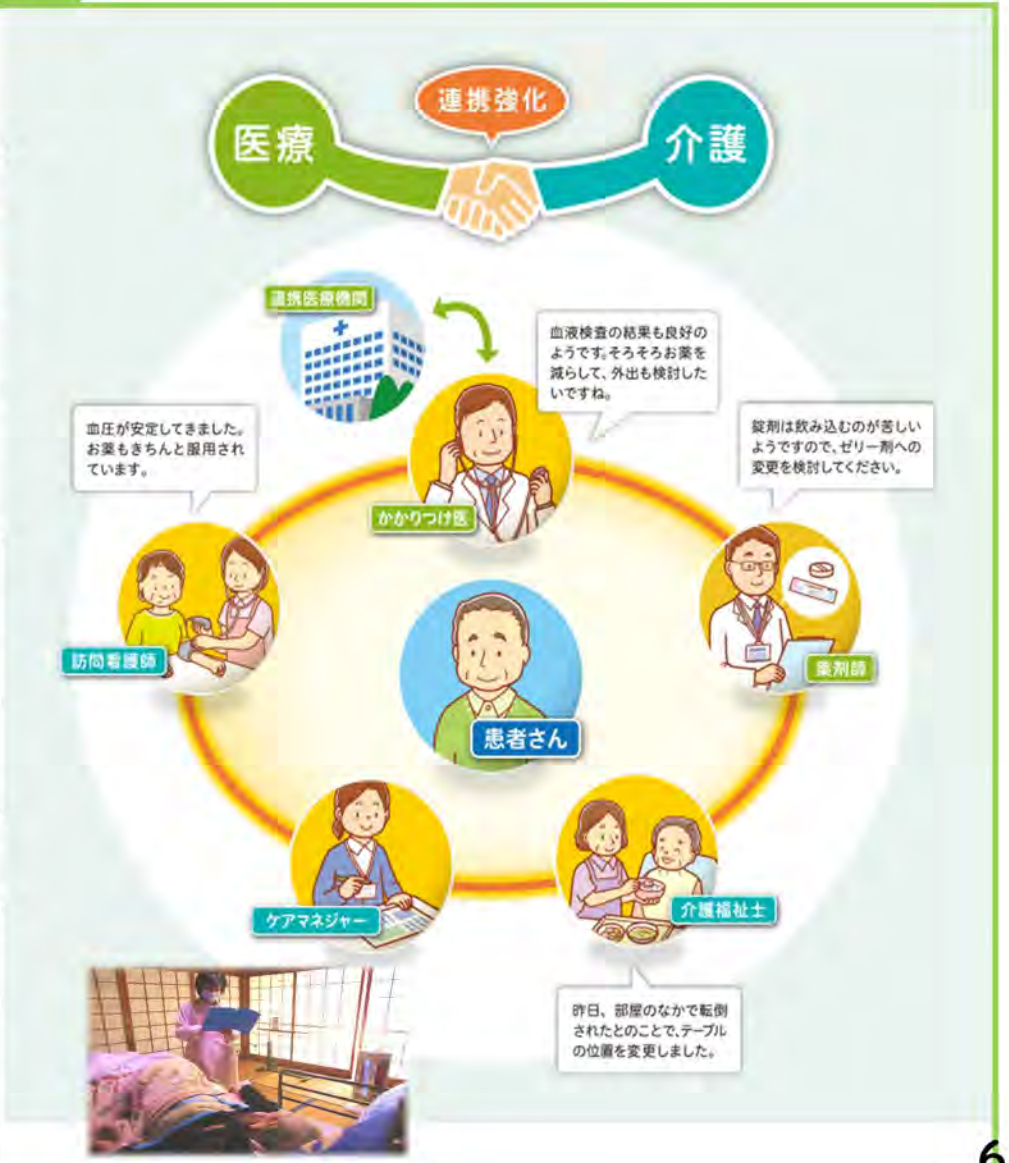
- 医療と介護の両方を必要とする高齢者等に対し、**在宅医療と介護サービスを一体的に提供**するため、医師と訪問看護師、ケアマネジャー、薬剤師等がタブレット等を使った**「在宅医療・介護連携ＩＣＴシステム」**を構築することで、多職種間の切れ目のない連携から**地域包括ケアシステム**を実現
- デジタル技術を活用することで、リアルタイムに情報共有ができ、往診及び服薬調整等が可能

【ＩＣＴシステムアカウント数】

年　度	実 績	内　訳
令和４年度	133件	たつの市94件、上郡町32件、佐用町7件
令和５年度	137件	たつの市95件、上郡町36件、佐用町6件
令和６年度（12月末時点）	153件	たつの市98件、上郡町49件、佐用町6件

【登録患者数】

年　度	実 績	内　訳
令和４年度	425人	たつの市339人、上郡町26人、佐用町60人
令和５年度	461人	たつの市375人、上郡町26人、佐用町60人
令和６年度（12月末時点）	542人	たつの市442人、上郡町40人、佐用町60人



定住自立圏共生ビジョンの取組状況について

福祉資格取得助成事業

■ 介護従事者が不足する中、福祉資格取得者の増加、良質な人材の確保・定着を図るため、圏域内福祉事業所に介護従事者として勤務する職員（勤務する予定の方を含む）に対して、介護職員初任者研修や実務者研修などの資格取得に係る経費を助成している。

【対象資格】

・介護職員初任者研修、実務者研修、介護福祉士、介護支援専門員
（受講料・受験料・教材料などに係る費用（2分の1以内）を助成（上限：5万円））

【新規資格取得者】

年　度	実 績	内　訳
令和４年度	22人	たつの市５人、宍粟市11人、上郡町２人、佐用町４人
令和５年度	34人	たつの市10人、宍粟市13人、上郡町３人、佐用町８人
令和６年度（12月末時点）	31人	たつの市12人、宍粟市16人、上郡町１人、佐用町２人

【資格別内訳】

年　度	介護職員初任者研修	実務者研修	介護福祉士	介護支援専門員
令和４年度	３人	１５人	０人	４人
令和５年度	６人	２０人	３人	５人
令和６年度（12月末時点）	３人	２３人	２人	３人

【今後に向けて】

➡更新経費も助成対象にできないかを分科会にて検討

定住自立圏共生ビジョンの取組状況について

病後児保育施設の相互利用

■ 児童が病気の「回復期」である場合（病後児対応型）又は「回復期に至らない場合」であり、かつ、当面の症状の急変が認められない場合（病児対応型）において、当該児童を病院・診療所、保育所等に付設された専用スペース又は本事業のための専用施設で一時的に保育し、保護者の就労を支援するとともに安心して子育てできる環境の充実を図る。

【実施施設】

たつの市：「まあや学園」（病後児保育型）
宍 粟 市：「宍粟市病児保育室　そらまめ」（病児・病後児保育施設）
上 郡 町：「陽光こども園」（病後児保育型）
佐 用 町：「佐用共立病院」（病児・病後児保育施設）

【利用者数】

年　度	実 績	内　訳
令和４年度	228人	たつの市84人、宍粟市141人、上郡町２人、佐用町１人 相互利用　17人（宍粟市）
令和５年度	508人	たつの市136人、宍粟市360人、上郡町８人、佐用町４人 相互利用　１人（宍粟市）
令和６年度 （12月末時点）	290人	たつの市99人、宍粟市182人、上郡町０人、佐用町９人

定住自立圏共生ビジョンの取組状況について

「電子図書館」サービスをはじめとした圏域図書館の利用促進

■ 図書館までの距離が遠い、移動が困難など図書館の利用が不便な方に対して、パソコンやスマートフォン、タブレット端末を使って24時間どこからでも利用できる電子書籍の貸出サービスを提供

【電子図書貸出冊数】

	実　績
令和４年度	2,831冊
令和５年度	5,596冊
令和６年度（12月末時点）	3,226冊

【所蔵タイトル数（蔵書数）】

	実　績
令和４年度	2,217点
令和５年度	2,312点
令和６年度（12月末時点）	2,390点

【令和７年度に向けて】　～圏域全中学校への利用拡大～　　事業費　８３２千円

「GIGAスクール構想」で導入したタブレットの有効活用やデジタル教育の推進に向け、
圏域内の全中学校を対象に利用者IDを付与
一般利用者の増加に加え、中学生の利用が大幅に増加することが見込まれることから、
➡中学生向け読み放題パックの導入及び蔵書の拡充

■ 図書館の利用促進のため、著名講師による読書講演会を実施

令和6年度（上郡町主催）　土井善晴氏
演題：「おうちごはん　一汁一菜でよいという提案」
来場者数　550名（うちアンケート回答の圏域住民　304名）

定住自立圏共生ビジョンの取組状況について

観光客誘致対策事業

■ 交流人口の増加、圏域経済を活性化すべく、広域観光パンフレットの作成や、観光ツアーにより圏域内外への情報発信及びプロモーション強化を図る。

【たつの市・佐用町】

～発酵の歴史と和紙の技術を学ぶ体験ツアー（3/16）～

※SNS（Instagram）にて情報発信力の高い方（インフルエンサー）をバスツアーに招待し効率よく魅力を発信し、波及効果を高める。

【全市町】

～ひょうごフィールドパビリオン体験型ツアー（3/8及び3/15）～

※２日間に分け、圏域内のフィールドパビリオンを体験するツアーを開催

【令和７年度に向けて】

～持続可能な観光地域づくりと観光誘客事業の展開～　　事業費 11,600千円

1　周遊型観光事業【謎解き宝探しゲーム】

圏域のフィールドパビリオンや歴史遺産、観光資源を舞台に地域を歩き、 住民と触れ合うなかで、地域愛を深め地域の宝を発見する謎解きイベントを開催

圏域内の小中学生へも参加を促すことで、魅力の再発見、シビックプライドの醸成に寄与する。

地域を周遊することで、滞在時間を向上させ地域内での消費活動を促進し、経済効果を高める。

2　テクノ圏域フォトコンテスト

SNS等を活用したフォトコンテストを開催、２市２町の観光写真をインスタグラム等で募集

3　インフルエンサー招聘

SNSにて情報発信力の高い方（インフルエンサー）に圏域を周遊いただきSNS等で効果的に圏域の魅力を発信

定住自立圏共生ビジョンの取組状況について

合同就職説明会及び無料職業紹介事業

■ 若者の就労を支援するための**合同就職説明会**を開催し、圏域内での雇用拡大を図るとともに、ハローワーク求人情報のオンライン提供を活用した**無料職業紹介所**を活用することで圏域独自の求人情報を提供し、就業機会の増加が期待される。

【たつの市】

就職フェアinたつの（10/18）
- 参加企業数　17社
- 参加者数　62名

オンライン合同就職説明会（3/19予定）
- 参加予定企業数　10社

【宍粟市】

JUMP UP SHISO（2/4）
- 参加企業数　33社
- 参加者数　163名

■ 無料職業紹介事業（宍粟わくわ～くステーション）」

ハローワーク（龍野）までの距離的な課題を解消するため、宍粟市役所内にハローワークの求人情報のオンライン提供を活用した無料職業紹介所を開設、広域利用を推進

	来所数	求人サイト閲覧数	就職者数
令和４年度	3,272名	22,729件	201名（宍粟182名、たつの２名、上郡０名、佐用２名、その他15名）
令和５年度	3,677名	19,190件	225名（宍粟215名、たつの１名、上郡０名、佐用３名、その他６名）
令和６年度（12月末）	2,856名	20,096件	156名（宍粟134名、たつの13名、上郡０名、佐用２名、その他７名）

定住自立圏共生ビジョンの取組状況について

地域公共交通ネットワークの充実

■ パーク&ライド助成相互利用促進事業

姫新線で通勤・通学される方の**駅周辺駐車場や駐輪場の使用料の全額又は一部を助成**

（令和5年度実績　助成人数：195人
助成額：2,243,000円）

【助成要件】
① 定住自立圏内に在住の方、又はたつの市内に通勤・通学されている方
② たつの市内の姫新線の駅を起点又は終点として、定期乗車券で姫新線を利用される方

【助成金額】
① 駐車場・・・2千円を限度に使用料の全額又は一部（ただし、たつの市内の方は、4千円を限度）
② 駐輪場・・・1千円を限度に使用料の全額又は一部

■ 圏域バス（愛称：てくてくバス）の運行

圏域の公共交通ネットワークの充実を図るため、西播磨総合リハビリテーションセンター等が所在する播磨科学公園都市を結節点とした圏域バスを運行（1日　5便　、1乗車200円）

【乗車実績】

年　度	実　績	前年比
令和4年度	2,991人　（10.2人／日）	+11%
令和5年度	3,547人　（12.1人／日）	+18%
令和6年度（12月末）	2,462人　（11.0人／日）	△14%

定住自立圏共生ビジョンの取組状況について

交流、定住促進について

■ 定住促進共同情報発信事業

圏域市町合同で県外移住相談会に出展し、圏域市町の魅力や移住施策を移住希望者に向けて積極的に情報発信することで、都市部から圏域への人の流れを創出する。

兵庫五国移住・交流フェアin大阪（兵庫県主催）

令和6年11月16日（土） 大阪難波御堂筋ホール

<相談件数> たつの市：7組11名、宍 粟 市：12組25名

上 郡 町 ：5組 6名、佐 用 町： 4組 4名

■ 婚活支援事業

圏域内の若者の成婚を促進するため、男女の出会いの場の創出成婚化に向けての各種施策を実施する。

【上郡町】 まつり婚 ～浴衣で恋して夏まつり～

・令和6年7月27日（土）開催

・参加者（男女各4名） カップル数 1組

【佐用町】 Christmas 謎解き婚活in 龍野クラシックアネックス

・令和6年12月1日（日）開催

・参加者（男女各12名） カップル数 7組

定住自立圏共生ビジョンの取組状況について

人材育成について

■ リーディングプロジェクト研修

広域的な視点から圏域全体が抱える複雑多様化する行政課題に対し、圏域職員が自発的に課題解決に挑戦し、組織にとらわれず横断的に、先駆的な政策を研究する機会を設けることで、柔軟な発想と行動力をもって対応できる職員を育成

【これまでの提案内容】

・DX 関連技術の有効活用～デジタル地域通貨の導入～
・カーボンニュートラルの推進に向けた林業の広域連携
・アフターコロナの観光戦略
・男性育休のススメ　　➡ 新規事業化に向け、分科会にて引き続き検討

■ 職場復帰支援者向け研修会の開催

メンタルヘルス不調等で休職した職員の職場復帰に係る環境づくりや本人との関わり方を学び、職場復帰支援への理解を深めることを目的として、圏域合同研修として開催予定

重要業績評価指標(KPI)進捗状況

：新型コロナウイルス感染症の影響により、事業中止又は大幅なマイナス影響を受けた事業

A 生活機能の強化に係る政策分野

政策分野	取組項目	取組内容
(1) 医療	医療圏域体制の充実	地域医療の充実・強化を図るため、医師・看護師等の医療従事者の養成・確保に努め、圏域住民が安心して生活できる地域医療体制を構築する。

取組内容		重要業績評価指標 (KPI)	基準値	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	速報値 (R6)	目標値 (R7)	R5末の進捗状況 (%)
1	医療従事者、看護師の養成・確保対策事業	奨学制度新規利用者数(医師)【累計】	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	5 人	0%
		奨学制度新規利用者数(看護師)【累計】	3 人	5 人	7 人	11 人	12 人	37 人	29.7%
2	医療職従事啓発事業	パンフレット配布数	0 部	0 部	0 部	0 部	0 部	3,000 部	0.0%
3	感染対策圏域連携事業	電話相談件数	22 件	10 件	11 件	20 件	23 件	30 件	66.6%
		出前講座実施件数	2 件	7 件	8 件	2 件	2 件	11 件	18.1%
4	新たな日常に対応した医療サービス推進事業	電話診療実施件数	1,063 件	1,202 件	1,081 件	273 件	0 件	1,120 件	24.3%
		オンライン診療実施件数(追加)	件	件	件	35 件	107 件	120 件	29.1%
		オンライン面会実施件数	55 件	259 件	217 件	26 件	6 件	205 件	12.6%

政策分野	取組項目	取組内容
(2) 福祉	1) 高齢者・障害者支援及び認知症対策体制の充実	高齢者や障害者が、暮らしやすい地域社会の実現に向け、福祉の充実・強化につながる取組を推進する。また、認知症に関する見守りネットワークの構築や相談体制の充実等、地域支援体制の充実を図る。

取組内容		重要業績評価指標 (KPI)	基準値	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	速報値 (R6)	目標値 (R7)	R5末の進捗状況 (%)
5	認知症初期集中支援連携事業	医療・介護サービスにつながった者の割合	60 %	66 %	76 %	82 %	78 %	65 %	126.1%
6	在宅医療・介護連携ICTシステム推進事業	ICTシステムアカウント数	117 件	123 件	133 件	137 件	153 件	144 件	95.1%
		登録患者数	276 人	354 人	425 人	461 人	542 人	306 人	150.6%
7	高齢者等SOSネットワーク構築事業	SOSネットワーク登録者数	288 人	356 人	433 人	487 人	527 人	474 人	102.7%
8	福祉資格取得助成事業	助成事業による新規資格取得者数【累計】	178 人	204 人	226 人	260 人	291 人	400 人	65.0%
9	生活支援サポーター養成事業	生活支援サポーター養成研修修了者数【累計】	49 人	55 人	55 人	62 人	81 人	100 人	62.0%

政策分野	取組項目	取組内容
(2) 福祉	2) 子育て支援体制の充実	圏域住民が安心して子どもを産み育てられる環境を整備するため、子育て支援体制の充実・強化につながる取組を推進する。

取組内容		重要業績評価指標 (KPI)	基準値	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	速報値 (R6)	目標値 (R7)	R5末の進捗状況 (%)
10	産後ケア連携事業	公立宍粟総合病院での圏域住民の出産数	175 人	151 人	152 人	164 人	83 人	180 人	91.1%
11	ファミリーサポートセンター広域実施事業	ファミリーサポートセンター登録会員数	1,119 人	1,118 人	1,120 人	1,105 人	1,103 人	1,184 人	93.3%
		ファミリーサポート養成講座の開催回数	11 回	7 回	10 回	10 回	10 回	12 回	83.3%
12	病後児保育施設の相互利用	利用者数	95 人	188 人	228 人	508 人	290 人	200 人	254.0%

政策分野	取組項目	取組内容
(3) 教育	学校教育･社会教育の充実	圏域住民が生涯を通して学べる機会の充実を図るため、社会教育･社会体育施設等の共同利用や、圏域や播磨科学公園都市の特性を生かした交流のほか、文化･スポーツ等、児童･生徒の交流等の取組を推進する。

取組内容		重要業績評価指標 (KPI)	基準値	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	速報値 (R6)	目標値 (R7)	R5末の進捗状況 (%)
13	播磨科学公園都市学習機会推進事業	播磨科学公園都市見学会の開催回数	0 回	0 回	18 回	0 回	0 回	4 回	0.0%
14	特別支援学校センター的機能を活用した教育相談事業	教育相談事業実施延回数	106 回	115 回	89 回	112 回	60 回	240 回	46.6%
15	資料館情報共有共同発信事業	ホームページ閲覧回数	12,835 回	25,714 回	28,142 回	26,908 回	18,943 回	14,200 回	189.4%
16	歴史的資料相互展示事業	巡回展示来館者数	1,816 人	1,249 人	1,198 人	1,174 人	121 人	2,500 人	46.9%
17	電子図書館事業	電子図書館年間貸出冊数	3,839 冊	2,717 冊	2,831 冊	5,596 冊	3,226 冊	4,375 冊	127.9%
18	図書館読書活動推進事業	読書活動推進講演会の来場者数	400 人	592 人	1,047 人	499 人	740 人	518 人	96.3%
19	圏域図書館連絡便事業	圏域図書館連絡便利用冊数	1,611 冊	1,821 冊	2,471 冊	2,489 冊	2,029 冊	1,750 冊	142.2%
20	体育教育施設の相互利用及び各種スポーツ大会連携事業	スポーツ大会連携事業交流参加者数	10,750 人	0 人	4,500 人	4,000 人	6,000 人	10,750 人	37.2%

政策分野	取組項目	取組内容
(4) 産業振興	1) 農林畜産業の振興	圏域内の農林畜産業の担い手や雇用を促進するため、就業及び就学を支援する取組を行い、圏域の人材育成と定住者の増加を図り、農林畜産業の振興を推進する。

取組内容		重要業績評価指標 (KPI)	基準値	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	目標値 (R7)	R5末の進捗状況 (%)
21	農林畜産業従事者雇用促進対策事業	【事業検討中】							

政策分野	取組項目	取組内容
(4) 産業振興	2) 圏域観光の推進	圏域における広域観光を推進するため、広域観光体制を充実･強化し、観光資源の磨き上げとネットワーク化による観光事業の充実並びに観光情報の発信及びセールスプロモーションの強化を図る。

取組内容		重要業績評価指標 (KPI)	基準値	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	速報値 (R6)	目標値 (R7)	R5末の進捗状況 (%)
22	道の駅連携事業	道の駅利用者数	794,572 人	783,987 人	763,040 人	728,519 人	370,899 人	912,000 人	79.8%
23	観光客誘致対策事業	観光客入込数	2,557,999 人	2,860,283 人	3,360,080 人	3,355,411 人	1,609,629 人	4,516,000 人	74.3%

政策分野	取組項目	取組内容
(4) 産業振興	3) 雇用･企業等誘致の推進	播磨科学公園都市のほか、圏域内の工業団地や低･未利用地、その他空き工場等への企業立地を促進するとともに、ビジネスマッチングや既存企業の育成等による地域産業の活性化と雇用機会の増大を図る。また、播磨科学公園都市内に政府関係機関の誘致を推進する。

取組内容		重要業績評価指標 (KPI)	基準値	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	速報値 (R6)	目標値 (R7)	R5末の進捗状況 (%)
24	ビジネスマッチングフェア開催事業	ビジネスマッチングフェア参加企業数	34 社	20 社	0 社	10 社	10 社	34 社	29.4%
25	合同就職説明会及び無料職業紹介事業	合同就職面接会参加人数	171 人	282 人	204 人	186 人	225 人	270 人	68.8%
26	地域経済循環調査事業	研修会実施回数【累計】	(新規) 回	1 回	1 回	1 回	1 回	5 回	20.0%
27	企業等立地支援事業	奨励金等による新規雇用創出人数	24 人	17 人	41 人	43 人	28 人	7 人	614.2%

政策分野	取組項目	取組内容
(4) 産業振興	4) 地産地消の推進	圏域における地産地消を推進するため、地産地消のネットワークの構築及び地産地消に関する事業を行う。

取組内容		重要業績評価指標 (KPI)	基準値	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	速報値 (R6)	目標値 (R7)	R5末の進捗状況 (%)
28	地産地消体験活動推進事業	【事業検討中】							
29	地場産品普及事業	イベント出展回数	2 回	0 回	1 回	3 回	3 回	4 回	75.0%

政策分野	取組項目	取組内容
(5) 環境	環境への負荷の少ない持続可能な社会の構築	圏域環境への負荷の少ない持続可能な社会を実現するため、低炭素社会、循環型社会、自然共生社会づくりの取組を推進する。

取組内容		重要業績評価指標 (KPI)	基準値	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	速報値 (R6)	目標値 (R7)	R5末の進捗状況 (%)
30	電気自動車普及促進事業	急速充電器利用回数	4,562 回	6,057 回	4,075 回	2,742 回	1,238 回	5,180 回	52.9%
31	環境美化啓発看板設置事業	不法投棄物処理量	6.55 t	8.09 t	2.94 t	2.32 t	5.08 t	9.30 t	400.8%
32	食べきり運動応援事業	食べきり運動協力店登録数	46 店	45 店	45 店	40 店	46 店	71 店	56.3%
33	環境保全･ごみ減量化啓発事業	家庭系普通ごみ排出量	29,591 t	29,027 t	23,341 t	24,167 t	15,223 t	24,859 t	102.8%
34	家庭不用品交換事業	家庭不用品交換数	91 件	71 件	79 件	49 件	26 件	103 件	47.5%
35	木質バイオマス利活用推進事業	搬出木材重量	223,870 kg	117,740 kg	178,970 kg	94,130 kg	124,830 kg	503,935 kg	18.6%

政策分野	取組項目	取組内容
(6) 消防防災	圏域内防災体制の強化	圏域住民の安全を確保するため、圏域内の防災体制の強化、防災意識の向上に向けた取組を推進する。

取組内容		重要業績評価指標 (KPI)	基準値	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	速報値 (R6)	目標値 (R7)	R5末の進捗状況 (%)
36	防災リーダー養成事業	フォローアップ研修受講者数	33 人	18 人	32 人	23 人	― 人	40 人	57.5%
37	災害備蓄資機材整備･避難者受入対策事業	圏域内広域避難所用資機材備蓄率	56.6 %	72.4 %	96.1 %	103.9 %	127.6 %	100 %	103.9%
38	防災パンフレット等啓発資料作成事業	防災パンフレット配布数	2,000 部	0 部	0 部	0 部	0 部	4,000 部	0.0%

政策分野	取組項目	取組内容
B 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野		

政策分野	取組項目	取組内容
(1) 地域公共交通	地域公共交通ネットワークの充実	圏域内移動の利便性を向上させるため、姫新線、山陽本線、路線バス等の利用促進のほか、地域公共交通の充実に向けた取組を推進する。

取組内容		重要業績評価指標 (KPI)	基準値	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	目標値 (R7)	R5末の進捗状況 (%)
39	コミュニティバス・路線バス等利用促進事業	コミュニティバス・路線バス等利用者数（1日あたり）	2,025 人	1,809 人	1,869 人	1,964 人	1,954 人	2,323 人	84.5%
40	姫新線・山陽本線利用促進事業	圏域内鉄道駅乗車人数（1日あたり）	7,354 人	7,701 人	8,360 人	8,023 人	8,023 人	9,638 人	83.2%
41	パーク＆ライド助成相互利用促進事業	定期乗車券新規購入者による利用助成申請数	130 件	143 件	153 件	195 件	185 件	130 件	150.0%

政策分野	取組項目	取組内容
(2) 道路等交通インフラ	効率的な交通機能のネットワークの形成	効率的な交通機能のネットワーク形成を図るため、圏域内外を結ぶ主要幹線道路や生活道路の整備を推進する。

取組内容	
42	交通インフラ整備推進事業

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	速報値 (R6)	目標値 (R7)	R5末の進捗状況 (%)
道路整備計画路線の整備率	21 %	26 %	44 %	62 %	81 %	100 %	62.0%

政策分野	取組項目	取組内容
(3) 交流・定住促進	地域資源の活用による交流・定住促進	圏域内の人口減少を抑制するため、圏域内外の交流人口の増大を図るほか、移住・定住支援を推進する。

取組内容		重要業績評価指標 (KPI)	基準値	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	速報値 (R6)	目標値 (R7)	R5末の進捗状況 (%)
43	空き家等情報バンク制度連携事業	空き家バンク制度新規登録数	335 件	499 件	528 件	474 件	403 件	385 件	123.1%
44	定住促進共同情報発信事業	定住自立圏域の社会減少率	△0.5 %	△0.5 %	△0.3 %	△0.45 %	― %	△1.0 %	222.2%
45	婚活支援事業	婚活イベント実施回数	3 回	8 回	6 回	5 回	4 回	8 回	62.5%
		カップル成立組数	18 組	19 組	26 組	17 組	13 組	27 組	62.9%

C 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

政策分野	取組項目	取組内容
(1) 人材育成	地域をけん引する人材の育成及び人事交流の実施	圏域のマネジメント能力の強化を図るため、職員の合同研修会の開催のほか、外部の専門的な人材の活用と人事交流を推進する。

取組内容	
46	圏域内市町職員交流事業
47	外部人材招へい事業
48	地域おこし企業人交流プログラム活用事業

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	速報値 (R6)	目標値 (R7)	R5末の進捗状況 (%)
職員研修受講人数	56 人	67 人	87 人	12 人	40 人	70 人	17.1%
調査研修職員参集回数	（新規）回	1 回	6 回	10 回	0 回	12 回	83.3%

3　定住自立圏共生ビジョンの改定について

定住自立圏共生ビジョンの改定について

	掲載ページ	改定内容
1	【Ｐ10～Ｐ13】 ・総生産、所得 ・観光客数 ・圏域内病院一覧 ・圏域医師・歯科医師・薬剤師の状況 ・公共施設等の状況	統計データ等の更新
2	【Ｐ24～Ｐ58】 ・事業費	令和５年度事業費の実績確定に伴う修正
3	【Ｐ59～Ｐ64】 ・重要業績評価指標（ＫＰＩ）	令和５年度実績値の追記
4	【Ｐ66】 ・協議経過	令和６年度の会議内容等を追記
5	【Ｐ67】 ・懇談会委員名簿	令和７年２月現在に修正

定住自立圏共生ビジョンの改定について（比較表）

No.	掲載ページ	改定内容	改定前	改定後	摘　要	出　典
1	10	総生産･所得	令和2年度末現在	令和3年度末現在	総生産、市町民所得の推移	兵庫県市町民経済計算
2	11	観光客数	令和3年度末現在	令和4年度末現在	総入込客数	兵庫県観光客動態調査報告書
3	12	圏域内病院一覧	令和5年4月現在	令和6年4月現在		兵庫県病院名簿
4	12	圏域医師･歯科医師･薬剤師の状況	令和2年末現在	令和4年末現在		兵庫県医師･歯科医師･薬剤師統計及び兵庫県内看護師等業務従事者届
5	13	公共施設等の状況	令和5年3月現在	令和6年3月現在		兵庫県市町要覧
6	24～58	事業費（単位：千円）	令和5年度（見込額）	令和5年度（実績額）		
7	59～64	重要業績評価指標（KPI）		令和5年度実績値追記		
8	66	協議経過	―	令和6年度経過の追加		
9	67	懇談会委員名簿	令和6年3月現在	令和7年2月現在		

1　総生産･所得等の改定

掲載ページ	改　定	改定前	改定後
10	1　圏域の構成市町の概況 （4）　産業経済･市民生活 ②　総生産･所得	（本文） 令和2年度の本圏域の市町内総生産額（5,821　億円）は、兵庫県内の総生産総額 21 兆 7,358 億円の 2.6%となっています。 また、令和2年度の本圏域の市町民所得額（3,515　億円）は、兵庫県内の市町民所得総額 15 兆 7,750 億円の 2.2%となっています。 さらに、令和2年度の本圏域の 1 人当たり市町民所得（2,478　千円）は、兵庫県の 1 人当たり市町民所得（2,887 千円）と比較すると 409 千円の差となっています。 【圏域市町別の総生産･市町民所得の推移】 （単位：市町内総生産･市町民所得：百万円 1 人当たり市町民所得：千円）	（本文） 令和3年度の本圏域の市町内総生産額（5,822　億円）は、兵庫県内の総生産総額 22 兆 5,062 億円の 2.6%となっています。 また、令和3年度の本圏域の市町民所得額（3,580　億円）は、兵庫県内の市町民所得総額 16 兆 2,798 億円の 2.2%となっています。 さらに、令和3年度の本圏域の 1 人当たり市町民所得（2,536　千円）は、兵庫県の 1 人当たり市町民所得（2,997 千円）と比較すると 461 千円の差となっています。 【圏域市町別の総生産･市町民所得の推移】 （単位：市町内総生産･市町民所得：百万円 1 人当たり市町民所得：千円）

改定前

市町名	区　分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度
たつの市	市町内総生産	350,752	357,710	347,699	348,616	341,914
	市町民所得	209,733	217,358	214,301	207,572	193,100
	1人当たり市町民所得	2,731	2,855	2,843	2,780	2,598
宍粟市	市町内総生産	120,199	119,905	123,166	120,665	111,832
	市町民所得	91,284	90,436	89,715	90,280	86,736
	1人当たり市町民所得	2,462	2,478	2,501	2,561	2,491
上郡町	市町内総生産	52,383	51,436	51,541	50,484	48,645
	市町民所得	37,786	37,339	35,707	35,259	33,715
	1人当たり市町民所得	2,531	2,554	2,495	2,506	2,429
佐用町	市町内総生産	58,786	59,999	60,844	59,777	53,949
	市町民所得	40,810	40,818	40,133	39,875	37,983
	1人当たり市町民所得	2,389	2,436	2,445	2,476	2,394
圏域合計	市町内総生産	582,120	589,050	583,250	579,542	556,340
	市町民所得	379,613	385,951	379,856	372,986	351,534
	1人当たり市町民所得	2,528	2,581	2,571	2,581	2,478
兵庫県1人当たり市町民所得		2,976	3,040	3,061	3,059	2,887

（出典：令和2年度兵庫県市町民経済計算）

改定後

市町名	区　分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
たつの市	市町内総生産	358,412	349,051	350,510	343,415	351,446
	市町民所得	216,911	213,901	207,061	193,109	200,123
	1人当たり市町民所得	2,843	2,829	2,762	2,598	2,723
宍粟市	市町内総生産	117,997	120,017	116,030	108,550	114,220
	市町民所得	90,009	89,485	90,080	86,917	87,091
	1人当たり市町民所得	2,461	2,478	2,546	2,496	2,550
上郡町	市町内総生産	50,810	50,510	48,815	48,298	53,402
	市町民所得	37,188	35,585	35,133	33,685	33,648
	1人当たり市町民所得	2,539	2,479	2,487	2,427	2,466
佐用町	市町内総生産	61,149	63,220	63,101	58,819	63,228
	市町民所得	40,659	40,063	39,830	38,132	37,235
	1人当たり市町民所得	2,422	2,433	2,464	2,404	2,405
圏域合計	市町内総生産	588,368	582,798	578,456	559,082	582,296
	市町民所得	384,767	379,034	372,104	351,843	358,097
	1人当たり市町民所得	2,566	2,555	2,565	2,481	2,536
兵庫県1人当たり市町民所得		3,025	3,044	3,039	2,889	2,997

（出典：令和3年度兵庫県市町民経済計算）

<table>
<tr>
<td>11</td>
<td>1 圏域の構成市町の概況
（4） 産業経済・市民生活
③ 観光客数</td>
<td>（本文）
令和 3 年度の本圏域への総入込客数は、2,832 千人で、内訳として、日帰り客 2,695 千人、宿泊客 137 千人となっています。
主要観光地への入込数は、道の駅みつ（たつの市）297 千人、道の駅みなみ波賀（宍粟市）157 千人、播磨光都サッカー場（上郡町）127 千人、道の駅宿場町平福（佐用町）84 千人、ちくさ高原スキー場（宍粟市）75 千人、となっています。
【圏域市町別観光客数】
（単位：千人）
<table>
<tr><th colspan="2">項　目</th><th>たつの市</th><th>宍粟市</th><th>上郡町</th><th>佐用町</th><th>圏域合計</th></tr>
<tr><td colspan="2">総入込客数</td><td>1,278</td><td>834</td><td>209</td><td>511</td><td>2,832</td></tr>
<tr><td rowspan="2">内訳</td><td>日帰り客</td><td>1,249</td><td>770</td><td>205</td><td>471</td><td>2,695</td></tr>
<tr><td>宿泊客</td><td>29</td><td>64</td><td>4</td><td>40</td><td>137</td></tr>
</table>
（出典：令和 3 年度兵庫県観光客動態調査報告書）</td>
<td>（本文）
令和4年度の本圏域への総入込客数は、3,320 千人で、内訳として、日帰り客 3,156 千人、宿泊客 164 千人となっています。
主要観光地への入込数は、道の駅みつ（たつの市）287 千人、播磨光都サッカー場（上郡町）143 千人、道の駅みなみ波賀（宍粟市）139 千人、道の駅宿場町平福（佐用町）87 千人~~、ちくさ高原スキー場（宍粟市）75 千人、~~となっています。
【圏域市町別観光客数】
（単位：千人）
<table>
<tr><th colspan="2">項　目</th><th>たつの市</th><th>宍粟市</th><th>上郡町</th><th>佐用町</th><th>圏域合計</th></tr>
<tr><td colspan="2">総入込客数</td><td>1,693</td><td>857</td><td>218</td><td>552</td><td>3,320</td></tr>
<tr><td rowspan="2">内訳</td><td>日帰り客</td><td>1,654</td><td>791</td><td>213</td><td>498</td><td>3,156</td></tr>
<tr><td>宿泊客</td><td>39</td><td>66</td><td>5</td><td>54</td><td>164</td></tr>
</table>
（出典：令和 4 年度兵庫県観光客動態調査報告書）</td>
</tr>
<tr>
<td>11</td>
<td>1 圏域の構成市町の概況
（4） 産業経済・市民生活
④ 医療</td>
<td>（本文）
本圏域における医療施設数は、病院 13 施設、一般診療所 97 施設、歯科診療所 52 施設となっており、病床数は 1,591 床となっています。（令和 4 年兵庫県医療施設調査）
また、本圏域の医師数は、令和 2 年 12 月末現在で 191 名となっており、10 年前の平成 22 年 12 月末から 1 名減少しています。看護師については、1,089 名で 173 名増加しているものの、准看護師は、427 名で 114 名減少しています。（令和 2 年兵庫県医師・歯科医師・薬剤師統計及び令和 2 年末兵庫県内看護師等業務従事者届）</td>
<td>（本文）
本圏域における医療施設数は、病院 13 施設、一般診療所 97 施設、歯科診療所 52 施設となっており、病床数は 1,591 床となっています。（令和 4 年兵庫県医療施設調査）
また、本圏域の医師数は、令和 4 年 12 月末現在で 197 名となっており、12 年前の平成 22 年 12 月末から 5 名増加しています。看護師については、1,151 名で 235 名増加しているものの、准看護師は、387 名で 154 名減少しています。（令和 4 年兵庫県医師・歯科医師・薬剤師統計及び令和 4 年末兵庫県内看護師等業務従事者届）</td>
</tr>
</table>

12	1 圏域の構成市町の概況 （4） 産業経済・市民生活 ④ 医療

【圏域内病院一覧】

（病床数順）

病院名	所在地	許可病床数					
		一般	療養	精神	結核	感染	計
医療法人古橋会揖保川病院	たつの市			330			330
公立宍粟総合病院	宍粟市	199					199
医療法人聖医会佐用中央病院	佐用町	104	53				157
たつの市民病院	たつの市	120					120
とくなが病院	たつの市	56	53				109
医療法人社団景珠会八重垣病院	たつの市	37	71				108
兵庫県立ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ西播磨病院	たつの市	100					100
信原病院	たつの市	60					60
医療法人社団緑風会龍野中央病院	たつの市	39	60				99
医療法人社団一葉会佐用共立病院	佐用町	90					90
尾崎病院	佐用町		76				76
兵庫県立粒子線医療センター	たつの市	50					50
医療法人社団栗原会栗原病院	たつの市	36					36
圏域合計		891	313	330			1,534

（出典：兵庫県医務課資料「令和５年兵庫県病院名簿」）

【圏域医師・歯科医師・薬剤師の状況】

区分	平成22年	令和2年	差引（R2-H22）
医師	192	191	△1
歯科医師	73	81	8
薬剤師	229	254	25
看護師	916	1,089	173
准看護師	541	427	△114
保健師	65	80	15
助産師	12	11	△1
圏域合計	2,028	2,133	105

（出典：令和２年兵庫県医師・歯科医師・薬剤師統計及び令和２年末兵庫県内看護師等業務従事者届）

【圏域内病院一覧】

（病床数順）

病院名	所在地	許可病床数					
		一般	療養	精神	結核	感染	計
医療法人古橋会揖保川病院	たつの市			330			330
公立宍粟総合病院	宍粟市	199					199
医療法人聖医会佐用中央病院	佐用町	104	53				157
たつの市民病院	たつの市	120					120
とくなが病院	たつの市	56	53				109
医療法人社団景珠会八重垣病院	たつの市	37	71				108
兵庫県立ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ西播磨病院	たつの市	100					100
医療法人社団緑風会龍野中央病院	たつの市	39	60				99
医療法人社団一葉会佐用共立病院	佐用町	90					90
尾崎病院	佐用町		76				76
信原病院	たつの市	60					60
兵庫県立粒子線医療センター	たつの市	50					50
医療法人社団栗原会栗原病院	たつの市	36					36
圏域合計		891	313	330			1,534

（出典：兵庫県医務課資料「令和６年兵庫県病院名簿」）

【圏域医師・歯科医師・薬剤師の状況】

区分	平成22年	令和4年	差引（R4-H22）
医師	192	197	5
歯科医師	73	78	5
薬剤師	229	254	25
看護師	916	1,151	235
准看護師	541	387	△154
保健師	65	85	20
助産師	12	13	1
圏域合計	2,028	2,165	137

（出典：令和４年兵庫県医師・歯科医師・薬剤師統計及び令和４年末兵庫県内看護師等業務従事者届）

2 公共施設等の状況

掲載ページ	改定	改定前	改定後
13	1 圏域の構成市町の概況 （5）公共施設等の状況		

改定前

項　　目	たつの市	宍粟市	上郡町	佐用町	圏域合計
幼稚園	2	6	0	1	9
小学校	17	11	3	4	35
中学校	6	7	2	4	19
高等学校	2	3	2	1	8
特別支援学校	2	0	0	0	2
保育所	8	10	1	5	24
認定こども園	19	5	3	0	27
病院	9	1	0	3	13
公民館	5	0	7	0	12
体育館	4	4	2	8	18
図書館	4	1	1	1	7
都市公園	60	9	28	0	97
地域包括支援センター	1	1	1	1	4
特別養護老人ホーム	8	6	2	5	21
養護老人ホーム	1	1	0	1	3
ケアハウス	2	1	0	0	3
介護老人保健施設	4	1	1	2	8
通所介護事業所	19	10	5	5	39
道路改良率	69.50%	60.60%	52.10%	40.00%	
道路舗装率	95.80%	87.00%	78.90%	58.10%	
上水道等普及率	99.93%	99.05%	98.68%	99.09%	
生活排水処理率	99.90%	100.00%	98.80%	99.40%	

（出典：兵庫県市町要覧（令和5年3月発行）

改定後

項　　目	たつの市	宍粟市	上郡町	佐用町	圏域合計
幼稚園	0	4	0	1	5
小学校	17	11	3	4	35
中学校	6	7	2	4	19
高等学校	2	3	2	1	8
特別支援学校	2	0	0	0	2
保育所	8	9	1	5	23
認定こども園	19	6	3	0	28
病院	9	1	0	3	13
公民館	5	0	7	0	12
体育館	4	4	2	8	18
図書館	4	1	1	1	7
都市公園	60	9	28	0	97
地域包括支援センター	1	1	1	1	4
特別養護老人ホーム	8	6	2	6	22
養護老人ホーム	1	1	0	1	3
ケアハウス	2	1	0	0	3
介護老人保健施設	4	1	1	2	8
通所介護事業所	19	10	5	4	38
道路改良率	69.60%	60.60%	52.10%	40.00%	
道路舗装率	95.80%	87.00%	78.90%	58.10%	
上水道等普及率	99.93%	99.11%	98.69%	99.33%	
生活排水処理率	99.90%	100.00%	98.90%	99.80%	

（出典：兵庫県市町要覧（令和6年3月発行）

3　具体的な取組内容の改定（令和5年度事業費）　対照表

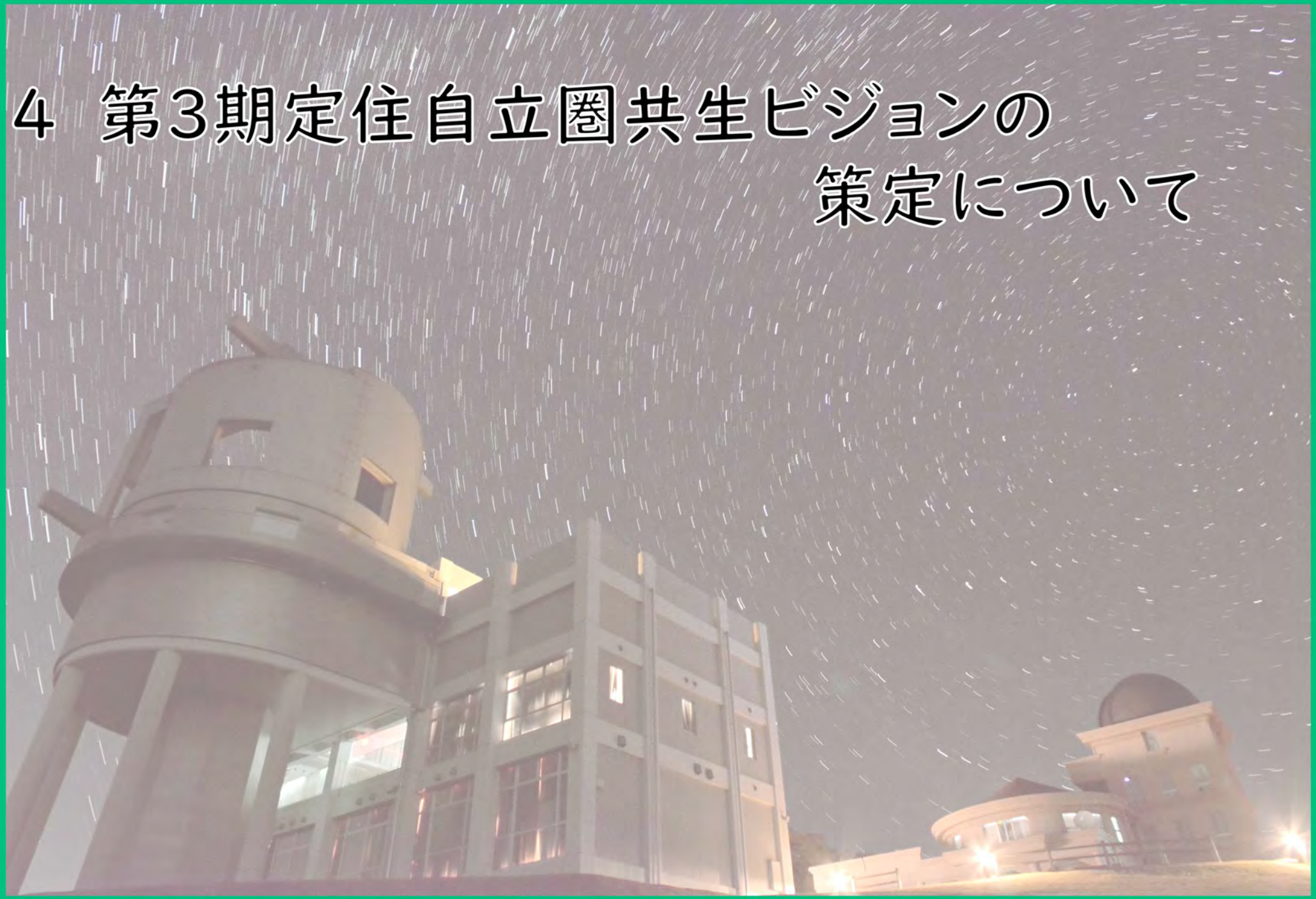
掲載ページ	連携事業名	改定前	改定後
24	医療従事者、看護師の養成・確保対策事業	事業費（単位：千円）：令和５年度 26,800	事業費（単位：千円）：令和５年度 14,406
25	医療職従事啓発事業	事業費（単位：千円）：令和５年度 350	事業費（単位：千円）：令和５年度 0
25	感染症対策圏域連携事業	事業費（単位：千円）：令和５年度 16	事業費（単位：千円）：令和５年度 0
26	新たな日常に対応した医療サービス推進事業	事業費（単位：千円）：令和５年度 2,000	事業費（単位：千円）：令和５年度 0
27	認知症初期集中支援連携事業	事業費（単位：千円）：令和５年度 30	事業費（単位：千円）：令和５年度 0
28	在宅医療・介護連携ICTシステム推進事業	事業費（単位：千円）：令和５年度 1,122	事業費（単位：千円）：令和５年度 1,089
28	高齢者等SOSネットワーク構築事業	事業費（単位：千円）：令和５年度 0、令和６年度 0、令和７年度 0	事業費（単位：千円）：令和５年度 69、令和６年度 0、令和７年度 528
29	福祉資格取得助成事業	事業費（単位：千円）：令和５年度 3,100	事業費（単位：千円）：令和５年度 1,406
29	生活支援サポーター養成事業	事業費（単位：千円）：令和５年度 154	事業費（単位：千円）：令和５年度 109
30	産後ケア連携事業	事業費（単位：千円）：令和５年度 2,348	事業費（単位：千円）：令和５年度 1,381
31	ファミリーサポートセンター広域実施事業	事業費（単位：千円）：令和５年度 9,066	事業費（単位：千円）：令和５年度 9,534

31	病後児保育施設の相互利用	事業費（単位：千円）：令和５年度 28,173	事業費（単位：千円）：令和５年度 30,212
32	播磨科学公園都市学習機会推進事業	事業費（単位：千円）：令和５年度 200	事業費（単位：千円）：令和５年度 0
33	特別支援学校センター的機能を活用した教育相談事業	事業費（単位：千円）：令和５年度 580	事業費（単位：千円）：令和５年度 74
34	歴史的資料相互展示事業	事業費（単位：千円）：令和５年度 820	事業費（単位：千円）：令和５年度 240
34	電子図書館事業	事業費（単位：千円）：令和５年度 5,032	事業費（単位：千円）：令和５年度 2,729
35	図書館読書活動推進事業	事業費（単位：千円）：令和５年度 4,200	事業費（単位：千円）：令和５年度 1,753
35	圏域図書館連絡便事業	事業費（単位：千円）：令和５年度 321	事業費（単位：千円）：令和５年度 316
36	体育教育施設の相互利用及び各種スポーツ大会連携事業	事業費（単位：千円）：令和５年度 7,200	事業費（単位：千円）：令和５年度 2,000
39	観光客誘致対策事業	事業費（単位：千円）：令和５年度 4,600、令和６年度 10,100、令和７年度 4,600	事業費（単位：千円）：令和５年度 4,559、令和６年度 10,100、令和７年度 11,600
40	ビジネスマッチングフェア開催事業	事業費（単位：千円）：令和５年度 500	事業費（単位：千円）：令和５年度 200
41	合同就職説明会及び無料職業紹介事業	事業費（単位：千円）：令和５年度 19,700	事業費（単位：千円）：令和５年度 19,723
41	地域経済循環調査事業	事業費（単位：千円）：令和５年度 100	事業費（単位：千円）：令和５年度 0

42	企業等立地支援事業	事業費（単位：千円）	令和５年度 130,600	事業費（単位：千円）	令和５年度 150,068
44	地場産品普及事業	事業費（単位：千円）	令和５年度 593	事業費（単位：千円）	令和５年度 184
45	電気自動車普及促進事業	事業費（単位：千円）	令和５年度 10	事業費（単位：千円）	令和５年度 577
46	環境美化啓発看板設置事業	事業費（単位：千円）	令和５年度 470	事業費（単位：千円）	令和５年度 554
46	食べきり運動応援事業	事業費（単位：千円）	令和５年度 52	事業費（単位：千円）	令和５年度 32
47	環境保全・ごみ減量化啓発事業	事業費（単位：千円）	令和５年度 1,140	事業費（単位：千円）	令和５年度 1,017
48	木質バイオマス利活用推進事業	事業費（単位：千円）	令和５年度 2,500	事業費（単位：千円）	令和５年度 983
49	防災リーダー養成事業	事業費（単位：千円）	令和５年度 212	事業費（単位：千円）	令和５年度 68
50	災害備蓄資機材整備・避難者受入対策事業	事業費（単位：千円）	令和５年度 1,914	事業費（単位：千円）	令和５年度 990
50	防災パンフレット等啓発資料作成事業	事業費（単位：千円）	令和５年度 50	事業費（単位：千円）	令和５年度 0
51	コミュニティバス・路線バス等利用促進事業	事業費（単位：千円）	令和５年度 29,842	事業費（単位：千円）	令和５年度 31,411
52	姫新線・山陽本線利用促進事業	事業費（単位：千円）	令和５年度 5,053	事業費（単位：千円）	令和５年度 1,642

52	パーク＆ライド助成相互利用促進事業	事業費（単位：千円） 令和５年度 2,472	事業費（単位：千円） 令和５年度 2,243
54	交通インフラ整備推進事業	事業費（単位：千円） 令和５年度 966,928	事業費（単位：千円） 令和５年度 887,627
55	空き家等情報バンク制度連携事業	事業費（単位：千円） 令和５年度 4,900	事業費（単位：千円） 令和５年度 5,224
56	定住促進共同情報発信事業	事業費（単位：千円） 令和５年度 2,849	事業費（単位：千円） 令和５年度 1,623
56	婚活支援事業	事業費（単位：千円） 令和５年度 3,600	事業費（単位：千円） 令和５年度 2,068
57	圏域内市町職員交流事業	事業費（単位：千円） 令和５年度 560	事業費（単位：千円） 令和５年度 320
58	外部人材招へい事業	事業費（単位：千円） 令和５年度 200	事業費（単位：千円） 令和５年度 0

4　第3期定住自立圏共生ビジョンの策定について



『第３期定住自立圏共生ビジョン』の策定について

１ ビジョンの目的

○本ビジョンは、生活に必要な機能を確保・充実させるとともに、中心市と近隣市町が互いに連携・協力・補完し、安心で快適に暮らせる魅力あふれる圏域の形成を図るため、圏域が目指す将来像を定めるとともに、その実現に向けて必要な具体的な取組みを示すものであり、5年を一区切りとして策定

○令和7年度が第2期ビジョンの最終年度となることから、新たな第3期ビジョンの策定に当たっては、これまでの効果検証と、今後の新たな時代潮流を踏まえ必要な見直しを行う。

２ ビジョンの基本事項

○計画（ビジョン）の位置づけ

計画の策定又は変更に当たっては、民間や地域の関係者を構成員として中心市が開催する協議・懇談の場である「ビジョン懇談会」における検討を経て、各近隣市町と当該市町に関連する部分について協議を行うものとする。

○計画期間

2026年（令和8年度）～2030年（令和12年度） 5年間　※毎年度所要の見直しを実施

○圏域の将来像

「～西播磨の未来を拓く連携と共生のまちづくりを目指して～」

圏域人口（国勢調査）	実績値（令和2年）	目標値（令和7年）	目標値（令和12年）
	138,877人	133,000人	125,000人

『第３期定住自立圏共生ビジョン』の策定について

３ 今後の展望「定住自立圏構想推進要綱（R7.1.23一部改正）から抜粋」

○定住自立圏の形成は、広域的な産業政策、観光振興、災害対策など、比較的連携しやすい取組から実績が積み上げられているが、今後は、人口構造の変化等に伴うインフラの老朽化や人手不足といった様々な資源制約に直面する中で取組を推進していく必要がある。

「生活機能の強化」「結びつきやネットワークの強化」「資源制約に対応するための圏域マネジメント等」による活力ある社会経済を維持するための拠点の形成・維持を図っていくためには、それぞれが有する資源を融通し合い、共同で活用していく視点が不可欠であり、公共施設の集約化や専門人材の共同確保など、合意形成が容易ではない課題にも積極的に対応し、取組の内容を深化させていくことが必要である。このためには、連携する市町村において将来のビジョンを共有した上で、各市町村が連携事業に積極的に関与し、それぞれの意見を十分に踏まえた丁寧な合意形成を行うことが重要である。

４ 第3期ビジョンの方向性

（1）地方圏における定住の受け皿としての取組
圏域全体で必要な生活機能を確保すべく
医療・福祉・教育等の更なる充実

（2）人口減少対策に対する取組
婚活・結婚支援、若者の雇用環境整備
経済的支援等の取組、子育て支援

（3）魅力ある圏域づくりに対する取組
地域産業の活性化、脱炭素社会の実現
大阪・関西万博を契機とする観光施策

【将来推計人口】

	平成27年（2015年）	令和2年（2020年）	令和12年（2030年）	令和32年（2050年）	差引増減（R32-R2）	
					増減数	増減率
たつの市	77,419	74,316	66,902	50,721	△23,595	△31.7
宍粟市	37,773	34,819	28,763	18,235	△16,584	△47.6
上郡町	15,224	13,879	11,319	6,622	△7,257	△52.3
佐用町	17,510	15,863	12,491	7,284	△8,579	△54.1
合　計	147,926	138,877	119,475	82,862	△56,015	△40.3

『第３期定住自立圏共生ビジョン』の策定について

5 策定体制

・分科会（各市町担当者会議）において効果検証、新たな事業立案を検討し、企画担当者会議において検討状況を総合調整、ワーキング会議（課長会議）にてとりまとめる。ビジョン懇談会において策定（案）の意見聴取

【体制図】

6 令和７年度スケジュール（案）

4月	5月～7月	8月	9月～11月	12月	1～3月	4月
ワーキング会議 庁内検討会		ビジョン懇談会 ワーキング会議		ワーキング会議 庁内検討会	ビジョン懇談会 市町長会議	第３期始動
企画担当者会議 分科会	・現ビジョンの効果検証 ・次期ビジョンの具体的事業検討	・素案の作成（意見聴取）	・素案の修正 ・具体的事業の再検討	・最終案の作成	・最終案の意見聴取	

改定案

第２期播磨科学公園都市圏域
定住自立圏共生ビジョン

（令和３年度～令和７年度）

たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町

令和７年　月　日改定版

Contents －目 次－

第１章　共生ビジョンの概要

1　定住自立圏の名称 …… 1
2　定住自立圏の構成市町 …… 1
3　共生ビジョンの目的・役割 …… 1
4　共生ビジョンの期間 …… 1

第２章　圏域の概況

1　圏域の構成市町の概況
(1) 構成市町の地勢・沿革 …… 2
(2) 人口の推移 …… 6
(3) 通勤・通学状況 …… 8
(4) 産業経済・市民生活 …… 9
(5) 公共施設等の状況 …… 13
(6) 播磨科学公園都市における主な都市機能の集積状況 …… 14

第３章　圏域の将来像

1　圏域の将来像 …… 15

第４章　定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的な取組内容

● 具体的な取組内容の全体像 …… 16
● 生活機能の強化に係る具体的取組 …… 24
● 結びつきやネットワークの強化に係る具体的取組 …… 51
● 圏域マネジメント能力の強化に係る具体的取組 …… 57

第５章　資料編

1　播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョン成果指標及び進捗状況一覧…… 59
2　播磨科学公園都市圏域定住自立圏協議経過 …… 65
3　播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会委員名簿 …… 67

第１章　共生ビジョンの概要

1 定住自立圏の名称

播磨科学公園都市圏域定住自立圏

2 定住自立圏の構成市町

たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町

定住自立圏		令和２年国勢調査		平成27年国調	差引増減（R2-H27）	
		人口	面積	人口		
中心市	たつの市	74,316 人	210.87 ㎢	77,419 人	△ 3,103 人	△ 4.01 %
近隣市町	宍粟市	34,819 人	658.54 ㎢	37,773 人	△ 2,954 人	△ 7.82 %
	上郡町	13,879 人	150.26 ㎢	15,224 人	△ 1,345 人	△ 8.83 %
	佐用町	15,863 人	307.44 ㎢	17,510 人	△ 1,647 人	△ 9.41 %
計		138,877 人	1,327.11 ㎢	147,926 人	△ 9,049 人	△ 6.12 %

3 共生ビジョンの目的・役割

本ビジョンは、定住自立圏形成協定に基づき、生活に必要な機能を確保・充実させるとともに、中心市と近隣市町が互いに連携・協力・補完し、安心で快適に暮らせる魅力あふれる圏域の形成を図るため、中・長期的な観点から本圏域が目指す将来像を定めるとともに、その実現に向けて必要な具体的な取組みを示すものです。

4 共生ビジョンの期間

本ビジョンの計画期間は、令和３年度から令和７年度までの５年間とし、毎年度所要の見直しを行います。

第 2 章　圏域の概況

1 圏域の構成市町の概況

(1) 構成市町の地勢・沿革

	たつの市	人口：74,316 人 面積：210.87 ㎢ (R2 国勢調査)	【市花】桜　　【市木】梅
たつの市は、兵庫県の南西部に位置し、平成 17 年 10 月に龍野市・揖保郡新宮町・揖保川町・御津町が合併して誕生しました。 市内に清流揖保川が流れ、瀬戸内海に面する水運に恵まれ、山陽道、美作道、筑紫大道、因幡街道などの交通の要衝、陸路、海路の交易点として、人々の往来が盛んであり、豊かな歴史が育まれ、今に伝えています。 手延素麺や醤油醸造、皮革産業といった多様な地場産業があり、市北西部に位置する播磨科学公園都市では、世界最高性能の大型放射光施設 SPring-8 を中心とした先端科学技術が集積しています。 国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された龍野地区には、武家屋敷や町屋など城下町の佇まいが多く残るほか、江戸時代に宿場町として栄華を迎えた室津地区には、北前船関連で日本遺産の認定を受けた町並みと文化財が残るなど、古代からの近世にかけて歴史的資源が多数あります。			【特産品】 ・醤油 ・素麺 ・皮革 ・牡蠣 ・醤油まんじゅう ・揖保川トマト ・成山新田野菜 【観光名所】 ・龍野城 ・龍野地区（重要伝統的建造物群保存地区） ・新宮宮内遺跡 ・東山公園 ・コスモス畑 ・永富家住宅 ・室津地区(日本遺産認定（北前船関連）の町並み・文化財) ・新舞子浜 ・綾部山梅林
【主な産業・経済等】 市内を流れる清流揖保川の恵みをうけ、昔から手延素麺、醤油醸造、皮革産業など全国シェアトップクラスの地場産業が盛んです。			

龍野城

清流揖保川

コスモス畑

室津港

	宍粟市	人口：34,819 人 面積：658.54 ㎢ （R2 国勢調査）	【市花】ささゆり　【市木】ブナ

宍粟市は、兵庫県の中西部に位置し、平成 17 年 4 月に宍粟郡山崎町・一宮町・波賀町・千種町が合併して誕生しました。

京阪神と中国地方を結ぶ中国自動車道と、山陽と山陰を結ぶ国道 29 号が地域内で交差する西播磨内陸の交通の要衝となっています。

兵庫県下最高峰の氷ノ山、第二峰の三室山、第三峰の後山という、1,000m を超える山々がそびえ、兵庫県下を代表する一級河川揖保川や日本名水百選の千種川をはじめ、福知渓谷、赤西渓谷、音水渓谷等の景勝地、日本の滝百選の原不動滝、かおり風景百選の千年藤、最上山公園（もみじ山）など、豊かで美しい自然資源や風景が、四季折々の風情を織りなしています。

古くから森林資源を利用した木材・木工製品・家具等の生産が地場産業として栄え、豊かな自然を活用した観光農林業を振興する地域を有することにより、商工業と農林業が融和した特色ある地域へと発展を遂げています。

【特産品】

- 地酒（日本酒）
- 宍粟牛
- 自然薯
- ブルーベリー
- りんご
- 鮎

【観光名所】

- 日本の滝百選「原不動滝」
- 最上山公園（もみじ山）
- かおり風景百選「千年藤」
- 兵庫県立国見の森公園
- ばんしゅう戸倉スキー場
- ちくさ高原スキー場
- 家原遺跡公園
- 福知渓谷
- 天児屋鉄山跡
- 赤西・音水渓谷
- 音水湖（カヌー）
- 氷ノ山
- 庭田神社（日本酒発祥の地）

【主な産業・経済等】

地場産業（手延素麺・食品加工）
木材・木製品製造業・皮革製品製造業
林業、農業、機械・部品等の製造業

音水渓谷

最上山公園（もみじ山）

	上郡町	人口：13,879 人 面積：150.26 ㎢ （R2 国勢調査）	【町花】ダリア　【町木】ツバキ

上郡町は、兵庫県の南西部に位置し、町域の大半が山地、丘陵地で占められ、海抜 300mから 400mの山地が連なり、町の中央部を南北に清流千種川が流れ、さらに町全体が「水の郷」に指定されています。

町の南部をＪＲ山陽本線が東西に通過し、ＪＲ山陽本線と智頭線の分岐点となる上郡駅があり、京阪神地域や山陽、山陰地域など広域的な交通の要衝地となっています。また、北東部の丘陵地にある播磨科学公園都市は、先端科学技術拠点が集積しており、日本の「ものづくり」産業の振興に大きな役割を果たしています。

古代山陽道や赤松氏等の多数の歴史資源があるほか、西播磨ツーリズム認定のかみごおりさくら園では、河津桜や大寒桜をはじめとした 10 種類、約 1,000 本の美しい桜を４月下旬まで長く楽しむことができます。

【特産品】

・モロヘイヤ
・円心モロどん
・ぶどう
・千種川の鮎

【観光名所】

・白旗城跡
・駒山城跡
・宝林寺と円心館
・法雲寺のビャクシン
・松雲寺
・山陽道野磨駅家跡
・いきいき交流ふるさと館
・萬勝院
・井の端遺跡公園とかみごおりさくら園
・平家塚

【主な産業・経済等】

清流千種川の恵みを受け、農業を中心に、播磨臨海工業地帯のベッドタウン的役割も果たしながら、平成９年には播磨科学公園都市のまちびらきを経て、先端科学都市としての性格も併せ持つようになっています。

清流千種川

かみごおりさくら園

	佐用町	人口：15,863 人 面積：307.44 ㎢ （R2 国勢調査）

【町花】ひまわり　【町木】いちょう

佐用町は、兵庫県の西部に位置し、平成 17 年 10 月に佐用郡佐用町・上月町・南光町・三日月町が合併して誕生しました。

氷ノ山・後山・那岐山国定公園の一角に位置し、「全国名水百選」に選ばれた清流「千種川」やその支流の佐用川などが南北に流れています。

かつては東西に出雲と大和を結ぶ出雲街道と、南北に吉備と因幡・但馬を結ぶ因幡街道が交差する交通の要衝でした。因幡街道きっての宿場町「平福」には、川沿いに古くからの土蔵や川座敷が立ち並んでいます。この平福にある国史跡「利神城跡」をはじめ佐用平野をとりまく山々には、上月城跡、仁位山城跡、高倉山城、三日月藩乃井野陣屋跡など歴史的遺産が各地域に存在しています。

また「日本の棚田百選」に選定されている乙大木谷の棚田、「全国農村景観百選」に選定されている南光地域のひまわり畑など、美しい田園景観が広がります。

さらに世界最高性能の大型放射光施設 SPring-8 や公開用としては世界最大級の望遠鏡「なゆた」を備えた兵庫県立大学西はりま天文台があり、国際的な科学研究の地にもなっています。

【特産品】

- ひまわり油
- 佐用もち大豆製品
- そば
- ホルモン焼きうどん
- 自然薯
- 三日月高原ぶどう

【観光名所】

- 南光ひまわり畑
- 宿場町 平福
- 佐用の大イチョウ
- 飛龍の滝
- 大イトザクラ
- 三日月の大ムク
- カタクリの花
- ルピナス
- 西新宿花しょうぶ園
- 播州平福しゃくなげの里
- 兵庫県立大学西はりま天文台
- 大撫山の朝霧
- 乙大木谷・田和の棚田

【主な産業・経済等】

佐用もち大豆、ひまわり油、そばなどの地域ブランドを生かした農業

精密機械、電気工具などの製造業

南光ひまわり畑

宿場町平福

(2) 人口の推移

① 人口

本圏域の人口は、平成 12 年に 169,423 人でしたが、20 年後の令和 2 年には、138,877 人と 14 万人を割り込み、30,546 人（△18.0%）減少しています。

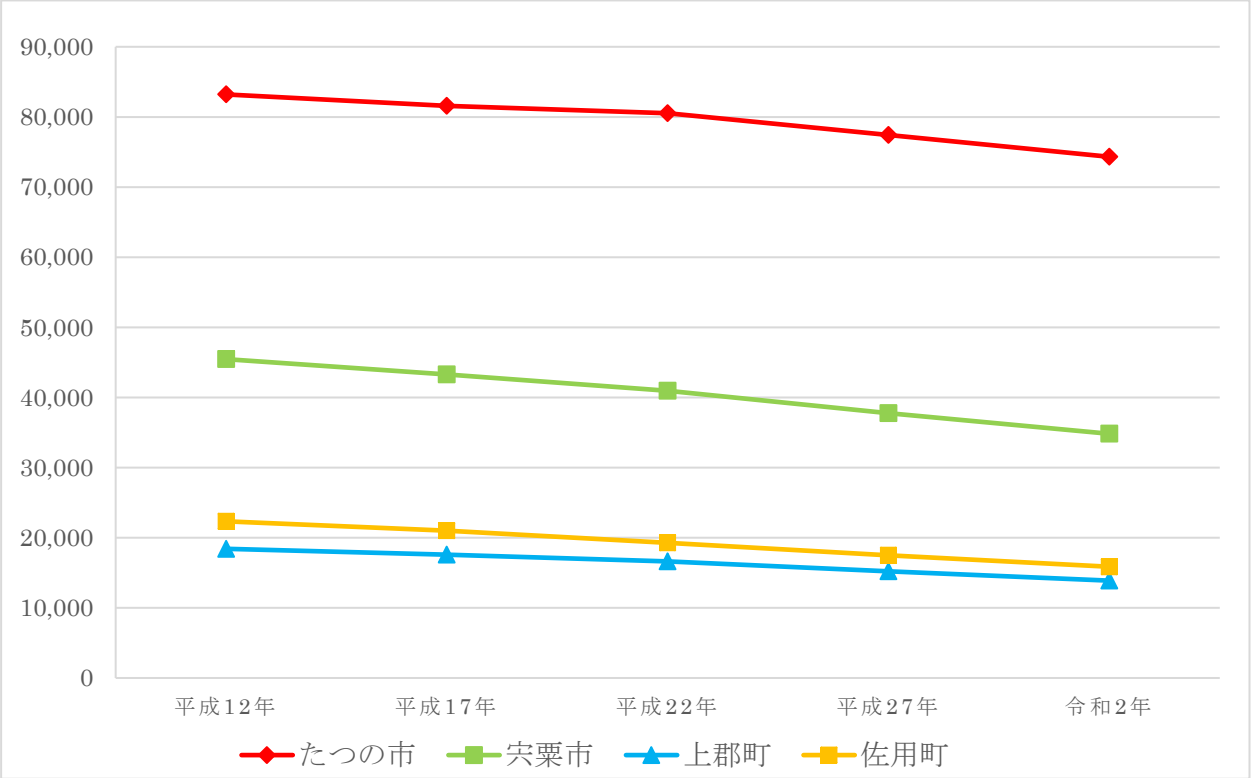
市町別の推移としては、たつの市は年々減少しているものの、かろうじて 1 桁の減少率を維持していますが、たつの市以外の 1 市 2 町は、大幅に減少しており、今後も減少傾向が続くことが予測されます。

【人口の推移】

（単位：人・%）

市町名	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	令和 2 年	差引増減（R2-H12）	
						減少数	減少率
たつの市	83,207	81,561	80,518	77,419	74,316	△ 8,891	△ 10.7
宍 粟 市	45,460	43,302	40,938	37,773	34,819	△10,641	△ 23.4
上 郡 町	18,419	17,603	16,636	15,224	13,879	△ 4,540	△ 24.6
佐 用 町	22,337	21,012	19,265	17,510	15,863	△ 6,474	△ 29.0
圏域合計	169,423	163,478	157,357	147,926	138,877	△30,546	△ 18.0

（出典：国勢調査）



② 年齢3区分別人口及び将来推計人口の推移

本圏域の年齢3区分別人口は、全国的な傾向と同様に15歳未満の年少人口の割合が減る中、65歳以上の老年人口の割合が増加しています。また、15歳以上64歳未満の生産年齢人口の割合も団塊の世代の高齢化に伴い減少傾向にあります。

さらに、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、令和32年（2050年）には、圏域全体で40.3%の人口減少が発生することが予想され、人口減少及び高齢化に対応したまちづくりが喫緊の課題となっています。

【年少人口（15 歳未満）の推移】

（単位：人・%）

市町名	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	差引増減（R2-H12）	
						増減数	増減率
たつの市	12,934	11,840	11,253	10,195	8,995	△ 3,939	△ 30.5
宍 粟 市	7,481	6,394	5,726	4,829	4,000	△ 3,481	△ 46.5
上 郡 町	2,766	2,359	2,017	1,686	1,239	△ 1,527	△ 55.2
佐 用 町	3,189	2,650	2,160	1,787	1,462	△ 1,727	△ 54.2
圏域合計	26,370	23,243	21,156	18,497	15,696	△10,674	△ 40.5

（出典：国勢調査）

【生産年齢人口（15～64 歳）の推移】

（単位：人・%）

市町名	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	差引増減（R2-H12）	
						増減数	増減率
たつの市	54,971	52,606	49,966	45,279	40,382	△14,589	△ 26.5
宍 粟 市	27,373	25,776	23,842	20,819	18,121	△ 9,252	△ 33.8
上 郡 町	11,675	10,983	9,908	8,302	6,882	△ 4,793	△ 41.1
佐 用 町	12,631	11,700	10,556	9,026	7,533	△ 5,098	△ 40.4
圏域合計	106,650	101,065	94,272	83,426	72,918	△33,732	△ 31.6

（出典：国勢調査）

【老年人口（65 歳以上）の推移】

（単位：人・%）

市町名	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	差引増減（R2-H12）	
						増減数	増減率
たつの市	15,302	16,823	19,223	21,945	22,963	7,661	50.1
宍 粟 市	10,606	11,132	11,369	12,125	12,648	2,042	19.3
上 郡 町	3,978	4,261	4,710	5,236	5,454	1,476	37.1
佐 用 町	6,517	6,662	6,544	6,697	6,853	336	5.2
圏域合計	36,403	38,878	41,846	46,003	47,918	11,515	31.6

（出典：国勢調査）

【将来推計人口の推移】

（単位：人・%）

市町名	平成22年（2010年）	令和2年（2020年）	令和12年（2030年）	令和22年（2040年）	令和32年（2050年）	差引増減（R32-R2）	
						増減数	増減率
たつの市	80,518	74,316	66,902	58,871	50,721	△ 23,595	△ 31.7
宍粟市	40,938	34,819	28,763	23,317	18,235	△ 16,584	△ 47.6
上郡町	16,636	13,879	11,319	8,846	6,622	△ 7,257	△ 52.3
佐用町	19,265	15,863	12,491	9,746	7,284	△ 8,579	△ 54.1
圏域合計	157,357	138,877	119,475	100,780	82,862	△ 56,015	△ 40.3

（出典：国立社会保障・人口問題研究所推計資料）

(3) 通勤・通学状況

① 就業者・通学者数

令和2年国勢調査において、各市町に常住する就業者・通学者が、圏域内のどの市町に通勤・通学しているのかを見ると、たつの市へ通勤・通学する人数が2,779人と最も多くなっています。また、たつの市への通勤・通学割合は、宍粟市が7.4%、上郡町が8.1%、佐用町が9.9%となっています。

一方、たつの市に常住する就業者・通学者の通勤・通学先は、上郡町が803人と最も多くなっています。

市町名	常住就業者通学者数（人）	就業者・通学者数（人）				たつの市への通勤・通学割合（%）
		たつの市	宍粟市	上郡町	佐用町	
たつの市	40,787		737	803	589	—
宍粟市	19,224	1,425		96	319	7.4
上郡町	7,199	581	32		331	8.1
佐用町	7,771	773	249	300		9.9
圏域合計	74,981	2,779	1,018	1,199	1,239	8.1

（出典：国勢調査）

(4) 産業経済・市民生活

① 産業別就業人口

本圏域の産業別就業人口は、人口の流出や少子高齢化などにより、平成 12 年から令和 2 年までの 20 年間に約 15,000 人減少しています。特に第 1 次産業の従業人口が減少しており、農林水産業の担い手不足が深刻な問題となっています。

また、圏域における就業人口の割合を見ると、全体的には、産業構造等の変化により全国的な傾向と同じく、第 3 次産業の就業者の割合が高く、令和 2 年には、第 3 次産業の就業者割合が約 60%を占めています。

【産業就業人口の推移】　（単位：人）

市町名	産業区分	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	令和 2 年
たつの市	第 1 次産業	1,411	1,473	1,007	1,023	1,077
	第 2 次産業	16,957	15,259	13,603	12,844	12,161
	第 3 次産業	20,460	20,831	20,775	20,653	20,371
	計	38,828	37,563	35,385	34,520	33,609
宍 粟 市	第 1 次産業	1,147	1,147	992	857	777
	第 2 次産業	9,799	9,122	7,741	7,273	6,770
	第 3 次産業	11,185	11,252	10,660	10,405	9,898
	計	22,131	21,521	19,393	18,535	17,445
上 郡 町	第 1 次産業	465	346	368	332	283
	第 2 次産業	3,048	2,708	2,202	1,966	1,752
	第 3 次産業	5,069	4,918	4,782	4,492	4,184
	計	8,582	7,972	7,352	6,790	6,219
佐 用 町	第 1 次産業	1,392	1,165	647	707	542
	第 2 次産業	3,489	3,126	2,609	2,337	2,025
	第 3 次産業	5,760	5,590	5,340	4,957	4,714
	計	10,641	9,881	8,596	8,001	7,281
圏域合計	第 1 次産業	4,415	4,131	3,014	2,919	2,679
	第 2 次産業	33,293	30,215	26,155	24,420	22,708
	第 3 次産業	42,474	42,591	41,557	40,507	39,167
	合　計	80,182	76,937	70,726	67,846	64,554

（出典：国勢調査）

② 総生産・所得

令和 3 年度の本圏域の市町内総生産額（5,822 億円）は、兵庫県内の総生産総額 22 兆 5,062 億円の 2.6%となっています。

また、令和 3 年度の本圏域の市町民所得額（3,580 億円）は、兵庫県内の市町民所得総額 16 兆 2,798 億円の 2.2%となっています。

さらに、令和 3 年度の本圏域の 1 人当たり市町民所得（2,536 千円）は、兵庫県の 1 人当たり市町民所得（2,997 千円）と比較すると 461 千円の差となっています。

（単位：市町内総生産・市町民所得：百万円
1 人当たり市町民所得：千円）

【圏域市町別の総生産・市町民所得の推移】

市町名	区　分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
たつの市	市町内総生産	358,412	349,051	350,510	343,415	351,446
	市町民所得	216,911	213,901	207,061	193,109	200,123
	1 人当たり市町民所得	2,843	2,829	2,762	2,598	2,723
宍粟市	市町内総生産	117,997	120,017	116,030	108,550	114,220
	市町民所得	90,009	89,485	90,080	86,917	87,091
	1 人当たり市町民所得	2,461	2,478	2,546	2,496	2,550
上郡町	市町内総生産	50,810	50,510	48,815	48,298	53,402
	市町民所得	37,188	35,585	35,133	33,685	33,648
	1 人当たり市町民所得	2,539	2,479	2,487	2,427	2,466
佐用町	市町内総生産	61,149	63,220	63,101	58,819	63,228
	市町民所得	40,659	40,063	39,830	38,132	37,235
	1 人当たり市町民所得	2,422	2,433	2,464	2,404	2,405
圏域合計	市町内総生産	588,368	582,798	578,456	559,082	582,296
	市町民所得	384,767	379,034	372,104	351,843	358,097
	1 人当たり市町民所得	2,566	2,555	2,565	2,481	2,536
兵庫県 1 人当たり市町民所得		3,025	3,044	3,039	2,889	2,997

（出典：令和 3 年度兵庫県市町民経済計算）

◆ 市町内総生産

市町内総生産とは、一定期間（通常 1 年間）に市町内の生産活動によって、新たに生み出された価値（付加価値）の総額であり、産出額（※）から中間投入額（※）を差し引いたものです。

（※）産出額とは、生産された財貨・サービスの総価額のことである。中間投入額は、生産の過程で原材料・光熱燃料・間接費等として投入された非耐久財及びサービスをいう。

◆ 市町民所得（分配）

生産活動で生み出された付加価値が、市町の居住者にどのように分配されたか把握したもので、雇用者報酬、財産所得、企業所得から構成されます。

◆ 1 人当たり市町民所得

市町民所得（分配）を総人口で割ったものであり、従って、1 人当たり市町民所得は、私たち個人の所得（給与）水準を表すものではなく、企業の利潤なども含む県民経済全体の水準を表します。

③ 観光客数

令和 4 年度の本圏域への総入込客数は、3,320 千人で、内訳として、日帰り客 3,156 千人、宿泊客 164 千人となっています。

主要観光地への入込数は、道の駅みつ（たつの市）287 千人、播磨光都サッカー場（上郡町）143 千人、道の駅みなみ波賀（宍粟市）139 千人、道の駅宿場町平福（佐用町）87 千人となっています。

【圏域市町別観光客数】　（単位：千人）

項　目		たつの市	宍 粟 市	上 郡 町	佐 用 町	圏域合計
総入込客数		1,693	857	218	552	3,320
内訳	日 帰 り 客	1,654	791	213	498	3,156
	宿　泊　客	39	66	5	54	164

（出典：令和 4 年度兵庫県観光客動態調査報告書）

④ 医療

本圏域における医療施設数は、病院 13 施設、一般診療所 97 施設、歯科診療所 52 施設となっており、病床数は 1,591 床となっています。（令和 4 年兵庫県医療施設調査）

また、本圏域の医師数は、令和 4 年 12 月末現在で 197 名となっており、12 年前の平成 22 年 12 月末から 5 名増加しています。看護師については、1,151 名で 235 名増加しているものの、准看護師は、387 名で 154 名減少しています。（令和 4 年兵庫県医師・歯科医師・薬剤師統計及び令和 4 年末兵庫県内看護師等業務従事者届）

【圏域内病院一覧】　　（病床数順）

病　院　名	所在地	許　可　病　床　数					
		一般	療養	精神	結核	感染	計
医療法人古橋会揖保川病院	たつの市			330			330
公立宍粟総合病院	宍 粟 市	199					199
医療法人聖医会佐用中央病院	佐 用 町	104	53				157
たつの市民病院	たつの市	120					120
医療法人社団仁徳会とくなが病院	たつの市	56	53				109
医療法人社団景珠会八重垣病院	たつの市	37	71				108
兵庫県立ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ西播磨病院	たつの市	100					100
医療法人社団緑風会龍野中央病院	たつの市	39	60				99
医療法人社団一葉会佐用共立病院	佐 用 町	90					90
尾﨑病院	佐 用 町		76				76
信原病院	たつの市	60					60
兵庫県立粒子線医療センター	たつの市	50					50
医療法人社団栗原会栗原病院	たつの市	36					36
圏　域　合　計		891	313	330			1,534

（出典：兵庫県医務課資料「令和6年兵庫県病院名簿」）
※圏域外の病院は除く

【圏域内医療施設の状況】

区　分	平成22年	令和4年	差引（R4-H22）
病　院	15	13	△2
一般診療所	107	97	△10
歯科診療所	57	52	△5
圏域合計	179	162	△17
病床数	1,736	1,591	△145

（出典：令和4年兵庫県医療施設調査）

【圏域医師・歯科医師・薬剤師の状況】

区　分	平成22年	令和4年	差引（R4-H22）
医　師	192	197	5
歯科医師	73	78	5
薬剤師	229	254	25
看護師	916	1,151	235
准看護師	541	387	△154
保健師	65	85	20
助産師	12	13	1
圏域合計	2,028	2,165	137

（出典：令和4年兵庫県医師・歯科医師・薬剤師統計及び
令和4年末兵庫県内看護師等業務従事者届）

(5) 公共施設等の状況

圏域内の公共施設等の箇所数等は、以下のとおりです。

項　　目	たつの市	宍 粟 市	上 郡 町	佐 用 町	圏域合計
幼稚園	0	4	0	1	5
小学校	17	11	3	4	35
中学校	6	7	2	4	19
高等学校	2	3	2	1	8
特別支援学校	2	0	0	0	2
保育所	8	9	1	5	23
認定こども園	19	6	3	0	28
病院	9	1	0	3	13
公民館	5	0	7	0	12
体育館	4	4	2	8	18
図書館	4	1	1	1	7
都市公園	60	9	28	0	97
地域包括支援センター	1	1	1	1	4
特別養護老人ホーム	8	6	2	6	22
養護老人ホーム	1	1	0	1	3
ケアハウス	2	1	0	0	3
介護老人保健施設	4	1	1	2	8
通所介護事業所	19	10	5	4	38
道路改良率	69.6%	60.6%	52.1%	40.0%	
道路舗装率	95.8%	87.0%	78.9%	58.1%	
上水道等普及率	99.93	99.11%	98.69%	99.33%	
生活排水処理率	99.9%	100.0%	98.9%	99.8%	

（出典： 兵庫県市町要覧（令和6年3月発行））

(6) 播磨科学公園都市における主な都市機能の集積状況

「播磨科学公園都市」は、豊かな自然環境のなか、21 世紀の科学技術の発展を支える学術研究機関と「ものづくり」産業が集積するとともに、快適な居住環境や余暇機能などを総合的に備えた「人と自然と科学が調和する高次元機能都市」です。

主な都市機能	主　な　施　設
研　究　施　設	SPring-8（世界最高性能の大型放射光施設）
	SACLA（X線自由電子レーザー施設）
	ニュースバル（中型放射光施設）
医　療　施　設	兵庫県立粒子線医療センター
	兵庫県立西播磨総合リハビリテーションセンター
教　育　施　設	兵庫県立大学理学部・大学院
	兵庫県立大学附属高等学校
	兵庫県立大学附属中学校
	播磨高原東中学校
	播磨高原東小学校
	兵庫県立西はりま特別支援学校
行　政　施　設	兵庫県西播磨総合庁舎
	播磨高原広域事務組合

【SPring-8・SACLA・ニュースバル】

第３章　圏域の将来像

1 圏域の将来像

たつの市、宍粟市、上郡町、佐用町で形成する「播磨科学公園都市圏域定住自立圏」は、「清流　揖保川・千種川」、「宍粟 50 名山」、「瀬戸内海国立公園」に象徴されるように、豊かな自然に恵まれた地域であり、さらに、悠久の歴史に培われた多彩な文化が薫る魅力あふれる地域資源を有しています。さらに、圏域のほぼ中央に位置する「播磨科学公園都市」は、世界的な科学技術や高度医療施設、教育施設に加え、ものづくり産業の集積、美しい街並みの居住環境等の都市機能が集積しています。

さて、我が国は既に人口減少局面を迎えており、国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、今後、人口減少はさらに加速すると見込まれています。

国においては第２期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の方向性として、第１期の基本目標を維持しつつ、活力ある地域社会の実現と東京圏の人口一極集中の是正を目指し、１．稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働ける、２．地方とのつながりを築き、地方への新しい人の流れをつくる、３．結婚・出産・子育ての希望をかなえる、４．安心して暮らすことができる魅力的な地域づくりの４つの視点が示され、定住自立圏においては圏域全体で必要な生活機能、結びつきやネットワーク、圏域マネジメント能力を強化する取組みの深化が期待されているところです。

今般の新型コロナウイルスの感染拡大は、人口集中によるリスクや従来の社会システムからの変革、デジタル技術の可能性を広く認識させる契機となりました。国においては、ポストコロナ時代の「新たな日常」の実現に向けて、原動力となるデジタル化への環境整備等を強力に推進するとともに、地方創生の推進、人材育成・技術革新へ投資、包摂的社会の実現を図ることが示されたところです。

他方、当圏域を取り巻く環境では、兵庫県地域医療構想に基づき、今後の医療需要の変化に柔軟に対応し、将来にわたって公的医療機関としての役割が果たせるよう、たつの市民病院の地方独立行政法人化や公立宍粟総合病院の建替えによる新病院建設計画が進められています。

これら社会の動向や圏域の環境変化を追い風にして、「播磨科学公園都市圏域定住自立圏」として、各市町の主体性を尊重しつつ、圏域思考に基づく相互連携を一層強化して人口流出に立ち向かい、持続可能な圏域の形成を推し進めることが肝要です。

このような認識の下、第２期共生ビジョンでは、第１期共生ビジョンを深化させつつ、構成市町が実施する地方創生事業との相乗効果を発揮し、圏域住民が安全・安心かつ快適に住み続けたいと実感できる、「西播磨の未来を拓く連携と共生のまちづくり」を目指します。

播磨科学公園都市圏域定住自立圏域の基本目標（将来像）

～ 西播磨の未来を拓く連携と共生のまちづくりを目指して ～

	実績値 （令和２年）	目標値 （令和７年）	目標値 （令和 12 年）
圏域人口 （国勢調査）	138,877 人	133,000 人	125,000 人

第４章　定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的な取組内容

1 具体的な取組内容の全体像

平成 28 年 3 月 30 日に締結しました定住自立圏形成協定を踏まえ、生活機能、結びつきやネットワーク及び圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野において、今後推進していく取組内容の全体像を下記のとおり掲載します。

Ａ 生活機能の強化に係る政策分野

① 医療

①－1 医療圏域体制の充実

【取組内容】

地域医療の充実・強化を図るため、医師・看護師等の医療従事者の養成・確保に努め、圏域住民が安心して生活できる地域医療体制を構築する。

(1) 医療従事者、看護師の養成・確保対策事業

(2) 医療職従事啓発事業

(3) 感染対策圏域連携事業

(4) 新たな日常に対応した医療サービス推進事業

② 福祉

②－1 高齢者・障害者支援及び認知症対策体制の充実

【取組内容】

高齢者や障害者が、暮らしやすい地域社会の実現に向け、福祉の充実・強化につながる取組を推進する。また、認知症に関する見守りネットワークの構築や相談体制の充実等、地域支援体制の充実を図る。

(5) 認知症初期集中支援連携事業

(6) 在宅医療・介護連携ＩＣＴシステム推進事業

(7) 高齢者等ＳＯＳネットワーク構築事業

(8) 福祉資格取得助成事業

(9) 生活支援サポーター養成事業

②－2 子育て支援体制の充実

【取組内容】

圏域住民が安心して子どもを産み育てられる環境を整備するため、子育て支援体制の充実・強化につながる取組を推進する。

(10) 産後ケア連携事業

(11) ファミリーサポートセンター広域実施事業

(12) 病後児保育施設の相互利用

③ 教育

③－1 学校教育・社会教育の充実

【取組内容】

圏域住民が生涯を通して学べる機会の充実を図るため、社会教育・社会体育施設等の共同利用や、圏域や播磨科学公園都市の特性を生かした交流のほか、文化・スポーツ等、児童・生徒の交流等の取組を推進する。

（13）播磨科学公園都市学習機会推進事業

（14）特別支援学校センター的機能を活用した教育相談事業

（15）資料館情報共有共同発信事業

（16）歴史的資料相互展示事業

（17）電子図書館事業

（18）図書館読書活動推進事業

（19）圏域図書館連絡便事業

（20）体育教育施設の相互利用及び各種スポーツ大会連携事業

④ 産業振興

④－1 農林畜産業の振興

【取組内容】
圏域内の農林畜産業の担い手や雇用を促進するため、就業及び就学を支援する取組を行い、圏域の人材育成と定住者の増加を図り、農林畜産業の振興を推進する。

(21) 農林畜産業従事者雇用促進対策事業

④－2 圏域観光の推進

【取組内容】
圏域における広域観光を推進するため、広域観光体制を充実・強化し、観光資源の磨き上げとネットワーク化による観光事業の充実並びに観光情報の発信及びセールスプロモーションの強化を図る。

(22) 道の駅連携事業

(23) 観光客誘致対策事業

④－3 雇用・企業等誘致の推進

【取組内容】
播磨科学公園都市のほか、圏域内の工業団地や低・未利用地、その他空き工場等への企業立地を促進するとともに、ビジネスマッチングや既存企業の育成等による地域産業の活性化と雇用機会の増大を図る。また、播磨科学公園都市内に政府関係機関の誘致を推進する。

(24) ビジネスマッチングフェア開催事業

(25) 合同就職説明会及び無料職業紹介事業

（26）地域経済循環調査事業

（27）企業等立地支援事業

④－4 地産地消の推進

【取組内容】
圏域における地産地消を推進するため、地産地消のネットワークの構築及び地産地消に関する事業を行う。

（28）地産地消体験活動推進事業

（29）地場産品普及事業

⑤ 環境

⑤－1 環境への負荷の少ない持続可能な社会の構築

【取組内容】
圏域環境への負荷の少ない持続可能な社会を実現するため、低炭素社会、循環型社会、自然共生社会づくりの取組を推進する。

（30）電気自動車普及促進事業

（31）環境美化啓発看板設置事業

（32）食べきり運動応援事業

（33）環境保全・ごみ減量化啓発事業

(34) 家庭不用品交換事業

(35) 木質バイオマス利活用推進事業

⑥ 消防防災

⑥－1 圏域内防災体制の強化

【取組内容】
圏域住民の安全を確保するため、圏域内の防災体制の強化、防災意識の向上に向けた取組を推進する。

(36) 防災リーダー養成事業

(37) 災害備蓄資機材整備・避難者受入対策事業

(38) 防災パンフレット等啓発資料作成事業

B 結びつきやネットワークの強化

① 地域公共交通

①－1 地域公共交通ネットワークの充実

【取組内容】
圏域内移動の利便性を向上させるため、姫新線、山陽本線、路線バス等の利用促進のほか、地域公共交通の充実に向けた取組を推進する。

(39) コミュニティバス・路線バス等利用促進事業

(40) 姫新線・山陽本線利用促進事業

(41) パーク＆ライド助成相互利用促進事業

② 道路等交通インフラ

②－1 効率的な交通機能のネットワークの形成

【取組内容】
効率的な交通機能のネットワーク形成を図るため、圏域内外を結ぶ主要幹線道路や生活道路の整備を推進する。

(42) 交通インフラ整備推進事業

③ 交流・定住促進

③－1 地域資源の活用による交流・定住促進

【取組内容】
圏域内の人口減少を抑制するため、圏域内外の交流人口の増大を図るほか、移住・定住支援を推進する。

(43) 空き家等情報バンク制度連携事業

(44) 定住促進共同情報発信事業

（45）婚活支援事業

C 圏域マネジメント能力の強化

① 人材育成

①－1 地域をけん引する人材の育成及び人事交流の実施

【取組内容】

圏域のマネジメント能力の強化を図るため、合同研修会の開催、地域おこし協力隊等外部の専門人材の活用、人事交流を実施する。

（46）圏域内市町職員交流事業

（47）外部人材招へい事業

（48）地域おこし企業人交流プログラム活用事業

2 生活機能の強化に係る具体的取組

(1) 医療

① 医療圏域体制の充実

【形成協定の内容】

取　組　内　容	地域医療の充実・強化を図るため、医師・看護師等の医療従事者の養成・確保に努め、圏域住民が安心して生活できる地域医療体制を構築する。
たつの市（甲）の役割	甲は、医師・看護師等の医療従事者の養成・確保に努めるとともに、乙の情報を活用しながら将来的な圏域内医療従事者の増加に向けた取組を行う。また、中核的な医療機能を有する公立２病院（たつの市民病院・宍粟総合病院）の連携体制を一層強化し、圏域が有する医療資源が効率的に運用される地域医療体制の構築を図り、圏域住民が安心して生活できるよう支援を行う。
関係市町（乙）の役割	乙は、甲と連携し、医師・看護師等の医療従事者の養成・確保に努めるとともに、圏域への定住に向けた取組に協力する。また、圏域が有する医療資源を生かし、圏域住民が安心して生活できるよう支援を行う。

【具体的な取組内容】

連携事業名	医療従事者、看護師の養成・確保対策事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	地域医療の充実を図るために、医師・看護師・助産師を目指す学生を支援する。				
期待される効果	圏域内医療機関への就労促進と定着が期待され、医師・看護師・助産師の確保とともに、その適正配置が図れる。				
事業計画	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	→	→	→	→	→
事業費（単位：千円）	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	20,256	16,950	14,406	26,800	26,800
役割分担 たつの市 宍粟市	医療従事者、看護師の募集活動を行い、各奨学金支援制度を実施する。				
役割分担 上郡町 佐用町	医療従事者、看護師の募集活動に協力し、各奨学金支援制度を周知する。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、令和６年度以降は見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R2）	目標値（R7）
奨学制度新規利用者数（医師）【累計】	０人	５人
奨学制度新規利用者数（看護師）【累計】	３人	37 人

【具体的な取組内容】

連携事業名	医療職従事啓発事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	圏域内病院の医療従事者が、職務内容を紹介するパンフレットを協働作成し、圏域内の中学校・高等学校に配布する。				
期待される効果	医療従事者を目指す若者の増加が期待される。				
事業計画	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	0	0	0	350	350
役割分担 たつの市 宍粟市	パンフレットを作成し、市内中学校・高等学校に配布する。				
役割分担 上郡町 佐用町	パンフレットを町内中学校・高等学校に配布する。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、令和６年度以降は見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R2）	目標値（R7）
パンフレット配布数	0 部	3,000 部

【具体的な取組内容】

連携事業名	感染対策圏域連携事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	たつの市民病院及び宍粟総合病院の感染対策担当者が、圏域内の医療・介護機関等に対し、感染対策のアドバイスを行う				
期待される効果	圏域医療・介護機関等の感染対策の強化が期待される。				
事業計画	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	21	3	0	16	16
役割分担 たつの市 宍粟市	たつの市民病院及び宍粟総合病院に勤務する感染対策担当者が圏域内機関からの相談に対応する。				
役割分担 上郡町 佐用町	制度周知について、中心市と連携して行う。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、令和６年度以降は見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R2）	目標値（R7）
電話相談件数	22 件	30 件
出前講座実施件数	2 件	11 件

【具体的な取組内容】

連携事業名	新たな日常に対応した医療サービス推進事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	ポストコロナ時代の「新たな日常」に対応した医療体制を構築するため、ＩＣＴを活用し、非接触・非対面型の医療サービスを提供する。				
期待される効果	医療機関への往来が抑制されることから、感染症拡大等のリスク低減が期待される。				
事業計画	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	116	100	0	2,000	2,000
役割分担 たつの市 宍粟市	ＩＣＴ技術の活用について情報を共有し、公立病院のデジタル化を推進する。				
役割分担 上郡町 佐用町	制度周知について、中心市と連携して行う。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、令和６年度以降は見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R2）	目標値（R7）
電話診療実施件数	1,063 件	1,120 件
オンライン診療実施件数	新規	120 件
オンライン面会実施件数	54 件	205 件

(2) 福祉

① 高齢者・障害者支援及び認知症対策体制の充実

【形成協定の内容】

取　組　内　容	高齢者や障害者が、暮らしやすい地域社会の実現に向け、福祉の充実・強化につながる取組を推進する。また、認知症に関する見守りネットワークの構築や相談体制の充実等、地域支援体制の充実を図る。
たつの市（甲）の役割	甲は、乙及び圏域の関係機関と連携し、高齢者や障害者等が安心して暮らせるまちづくりを推進するとともに、取組の調整を図る。
関係市町（乙）の役割	乙は、甲及び乙の区域の関係機関と連携し、高齢者や障害者等が安心して暮らせるまちづくりを推進する。

【具体的な取組内容】

連携事業名	認知症初期集中支援連携事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	認知症または認知症が疑われる人のもとへ訪問し、早期診断及び対応に向けた支援を行う「認知症初期集中支援チーム」の更なる支援体制の強化を図るため、資質向上研修を実施する。				
期待される効果	早期発見及び早期に医療機関等につなげることにより、本人及びその家族の不安が軽減されることが期待される。				
事業計画	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	→	→	→	→	→
事業費（単位：千円）	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	0	0	0	30	30
役割分担　中心市	関係市町と連携・協力し、資質向上を目的とした研修会等を企画し実施する。				
役割分担　関係市町	中心市と連携・協力し、資質向上を目的とした研修会等を企画し実施する。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、令和６年度以降は見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R2）	目標値（R7）
医療・介護サービスにつながった者の割合	60%	65%

【具体的な取組内容】

連携事業名	在宅医療・介護連携ＩＣＴシステム推進事業				
連携市町名	たつの市・上郡町・佐用町				
事業内容	医療と介護の両方を必要とする高齢者に対し、在宅医療と介護サービスを一体的に提供するため、広域連携システムの運用を推進する。				
期待される効果	圏域内の医療機関や介護保険事業所を利用する場合において、日常の情報共有から緊急対応まで、迅速かつスムーズに連携でき、医療福祉サービスの向上が期待される。				
事業計画	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	1,089	1,089	1,089	1,122	1,122
役割分担 中心市	医師会と連携し、ＩＣＴシステム推進に係る会議等を開催する。 関係市町とのＩＣＴシステム推進に係る連絡会議を開催する。				
役割分担 関係市町	医師会と連携し、ＩＣＴシステム推進に係る会議等を開催する。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、令和６年度以降は見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R2）	目標値（R7）
ＩＣＴシステムアカウント数	117 件	144 件
登録患者数	276 人	306 人

【具体的な取組内容】

連携事業名	高齢者等ＳＯＳネットワーク構築事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	高齢者等のはいかい対策として、共通のはいかい対策グッズの支給や、取り組み状況・ネットワーク体制等の情報共有を図る。				
期待される効果	認知症高齢者等の行方不明者を早期に発見・保護することより、本人及びその家族や地域住民が安心して暮らせるまちづくりが推進される。				
事業計画	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	0	894	69	0	528
役割分担 中心市	高齢者等のはいかい対策として、取り組み状況やネットワーク体制等の情報共有を図る。				
役割分担 関係市町	高齢者等のはいかい対策として、取り組み状況やネットワーク体制等の情報共有を図る。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、令和６年度以降は見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R2）	目標値（R7）
ＳＯＳネットワーク登録者数	288 人	474 人

【具体的な取組内容】

連携事業名	福祉資格取得助成事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	圏域内福祉事業所等に勤務する職員又は勤務する予定の方に対して、資質向上、スキルアップを図るために資格取得に係る経費を助成する。				
期待される効果	各事業所を利用する高齢者等に対する職員の資質向上や各事業所の人員不足の解消が期待される。				
事業計画	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	1,195	945	1,406	3,100	3,100
役割分担 中心市	圏域内福祉事業所等に勤務する職員又は勤務する予定の方に事業を周知するとともに、助成を行う。				
役割分担 関係市町	圏域内福祉事業所等に勤務する職員又は勤務する予定の方に事業を周知するとともに、助成を行う。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、令和６年度以降は見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R2）	目標値（R7）
助成事業による新規資格取得者数【累計】	178 人	400 人

【具体的な取組内容】

連携事業名	生活支援サポーター養成事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	「介護予防・日常生活支援総合事業」において、「緩和した基準による訪問型サービス」に従事する方を養成する研修会を開催する。研修受講者は、圏域内の「緩和した基準による訪問型サービス」で位置づけている一定の研修受講者とする。				
期待される効果	圏域内で不足している福祉サービス従事者の養成が図れる。				
事業計画	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	66	0	109	154	154
役割分担 中心市	「緩和した基準による訪問型サービス」に従事する方を養成する研修会を開催する。年１回開催し、担当は輪番とする。				
役割分担 関係市町	「緩和した基準による訪問型サービス」に従事する方を養成する研修会を開催する。年１回開催し、担当は輪番とする。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、令和６年度以降は見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R2）	目標値（R7）
生活支援サポーター養成研修修了者数【累計】	49 人	100 人

(2) 福祉

② 子育て支援体制の充実

【形成協定の内容】

取　組　内　容	圏域住民が安心して子どもを産み育てられる環境を整備するため、子育て支援体制の充実・強化につながる取組を推進する。
たつの市（甲）の役割	甲は、圏域内の子育て環境の充実を図るため、甲が実施する事業について、圏域内の住民が利用できるようにするともに、利用に関する調整を図る。
関係市町（乙）の役割	乙は、圏域内の子育て環境の充実を図るため、乙が実施する事業について、圏域内の住民が利用できるようにする。

【具体的な取組内容】

連携事業名	産後ケア連携事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	安心して子育てできる環境を圏域内で整備するため、出産された母親及び乳児に対し、心身のケアや育児のサポート等を行う。				
期待される効果	子育ての支援者がいない産婦、育児不安を抱える産婦が、産後ケア事業を利用する事で、育児不安の解消が期待される。				
事業計画	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	390	249	1,381	2,348	2,348
役割分担　たつの市 宍粟市	宍粟総合病院との事業連携の推進に向け、共通課題における協議・調整を行う。				
役割分担　上郡町 佐用町	宍粟総合病院との事業連携の推進における共通課題に対して、中心市と共に協議を行う。				
活用を想定する補助制度等	母子保健衛生費国庫補助金				

※事業費については、令和６年度以降は見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R2）	目標値（R7）
公立宍粟総合病院での圏域住民の出産数	175 人	180 人

【具体的な取組内容】

連携事業名	ファミリーサポートセンター広域実施事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	圏域内の子育て支援の充実を図るため、登録会員の確保に資する講習会を実施するとともに、広域連携を図る。				
期待される効果	圏域全体として、安心して子育てができる支援体制の充実が期待される。				
事業計画	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	8,694	9,055	9,534	9,066	9,066
役割分担 中心市	圏域住民が参加できるファミリーサポートセンター講習会を実施し、関係市町や住民への周知及び事業の調整を行う。				
役割分担 関係市町	圏域住民が参加できるファミリーサポートセンター講習会を実施し、関係市町や住民への周知及び事業の調整を行う。				
活用を想定する補助制度等	子ども・子育て支援交付金、ファミリー・サポート・センター事業補助金				

※事業費については、令和６年度以降は見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R2）	目標値（R7）
ファミリーサポートセンター登録会員数	1,119 人	1,184 人
ファミリーサポート養成講座の開催回数	11 回	12 回

【具体的な取組内容】

連携事業名	病後児保育施設の相互利用				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	圏域内の子育て環境の充実を図るため、圏域内に設置されている病後児保育施設について、圏域住民を対象に事業を展開する。				
期待される効果	圏域全体として、保護者の就労を支援するとともに、安心して子育てできる環境の充実が期待される。				
事業計画	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	28,857	30,029	30,212	28,173	28,173
役割分担 中心市	圏域内の病後児保育施設を相互利用できるようにするとともに、取組みの調整を図る。				
役割分担 関係市町	圏域内の病後児保育施設を相互利用できるようにするとともに、取組みの調整を図る。				
活用を想定する補助制度等	子ども・子育て支援交付金、病児・病後児保育推進事業補助金				

※事業費については、令和６年度以降は見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R2）	目標値（R7）
利用者数	95 人	200 人

(3) 教育

① 学校教育・社会教育の充実

【形成協定の内容】

取　組　内　容	圏域住民が生涯を通して学べる機会の充実を図るため、社会教育・社会体育施設等の共同利用や、圏域や播磨科学公園都市の特性を生かした交流のほか、文化・スポーツ等、児童・生徒の交流等の取組を推進する。
たつの市（甲）の役割	甲は、圏域内の住民がより多様な学習機会を得られるよう、社会教育・社会体育施設等の相互利用及び圏域や播磨科学公園都市の特性を生かした交流や児童・生徒の交流、各種イベント開催等の調整を図る。
関係市町（乙）の役割	乙は、甲と連携し、圏域内の住民がより多様な学習機会を得られるよう、社会教育・社会体育教育施設等の相互利用及び圏域や播磨科学公園都市の特性を生かした交流や児童・生徒の交流、各種イベント開催等の調整を図る。

【具体的な取組内容】

連携事業名	播磨科学公園都市学習機会推進事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	播磨科学公園都市を学習拠点として、圏域内の小学生を対象とした施設見学会を各自治体で実施する。				
期待される効果	未来を担う子どもたちに当圏域の魅力を伝え、科学や先端技術への関心を高め、創造性豊かな人材育成が図れる。				
事業計画	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	0	0	0	200	200
役割分担　中心市	播磨科学公園都市見学会（SPring-8・環境体験館等）を実施する。				
役割分担　関係市町	播磨科学公園都市見学会（SPring-8・環境体験館等）を実施する。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、令和６年度以降は見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R2）	目標値（R7）
播磨科学公園都市見学会の開催回数	０回	４回

【具体的な取組内容】

連携事業名	特別支援学校センター的機能を活用した教育相談事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	圏域内小中学校の支援を必要とする児童生徒に対する教育相談を充実するため、西はりま特別支援学校及び播磨特別支援学校を軸としたセンター的機能を活用し実施する。				
期待される効果	圏域内に在籍する支援を必要とする児童生徒に対し、教育的ニーズに応じた適切な教育の提供及び教育相談体制の充実が期待される。				
事業計画	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	463	81	74	580	580
役割分担 中心市	関係市町及び特別支援学校等と協議・調整し、教育相談事業を実施する。				
役割分担 関係市町	中心市と連携し、各市町における教育相談事業を実施する。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、令和６年度以降は見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R2）	目標値（R7）
教育相談事業実施延回数	106 回	240 回

【具体的な取組内容】

連携事業名	資料館情報共有共同発信事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	圏域住民の利便性向上を図るため、圏域市町の資料館の情報を定住自立圏専用ホームページ等で共同発信する。				
期待される効果	圏域の魅力を再発見でき、圏域住民の郷土意識の向上が図れるとともに、圏域内の交流人口の増加が期待できる。				
事業計画	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	0	0	0	0	0
役割分担 中心市	圏域市町資料館の情報を集約し、情報を発信する。				
役割分担 関係市町	圏域関係市町資料館の情報等を提供する。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、令和６年度以降は見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R2）	目標値（R7）
ホームページ閲覧回数	12,835 回	14,200 回

【具体的な取組内容】

連携事業名	歴史的資料相互展示事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	圏域市町が所蔵する文化的・歴史的資料の巡回展示、資料館等をめぐるスタンプラリー等を実施する。				
期待される効果	圏域全体で文化的・歴史的な魅力の共有により、圏域住民の郷土意識の向上が図れるとともに、圏域外へも情報発信することで、圏域内外の交流人口を増加が期待される。				
事業計画	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	→	→	→	→	→
事業費（単位：千円）	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	430	183	240	820	820
役割分担 中心市	関係市町と連携して、巡回展等の催事企画を行うとともに、各種印刷物等を作成する。				
役割分担 関係市町	中心市と連携して、関係市町資料館の情報等を提供及び催事への協力を行う。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、令和６年度以降は見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R1）	目標値（R7）
巡回展示来館者数	1,816 人	2,500 人

【具体的な取組内容】

連携事業名	電子図書館事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	圏域住民を対象とする電子図書館（インターネット上で電子書籍を利用できるシステム）の運営を行う。				
期待される効果	非来館型のサービスとして、図書館への来館に支障のある方や、視覚に障害のある方に対しても図書館サービスを提供でき、圏域住民の学びの機会の充実が図れる。また、デジタル化した郷土資料等を所蔵することで、圏域内の一体感の醸成や文化交流も期待される。				
事業計画	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	→	→	→	→	→
事業費（単位：千円）	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	1,781	1,726	2,729	1,832	1,832
役割分担 中心市	電子図書館を運営し、利用者登録やタブレット端末を使用した利用案内、広報活動及び郷土資料等の作成・収集について実施する。				
役割分担 関係市町	利用者登録やタブレット端末を使用した利用案内、広報活動及び郷土資料等の作成・収集について実施する。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、令和６年度以降は見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R2）	目標値（R7）
電子図書館年間貸出冊数	3,839 冊	4,375 冊

【具体的な取組内容】

連携事業名	図書館読書活動推進事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	圏域内図書館に著名講師の講演会等を開催し、読書活動を推進する。				
期待される効果	著名講師の講演会等を開催することにより、圏域住民が読書への関心を持ってもらうとともに、圏域住民への図書館周知と利用促進が図れる。				
事業計画	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	2,913	2,295	1,753	4,200	4,200
役割分担 中心市	講演会の計画に協力し周知する。				
役割分担 関係市町	上郡町及び佐用町が、講演会を企画・実施し、宍粟市は講演会の計画に協力し周知する。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、令和６年度以降は見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R1）	目標値（R7）
読書活動推進講演会の来場者数	400 人	518 人

【具体的な取組内容】

連携事業名	圏域図書館連絡便事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	圏域内の図書館で借りた本であれば、圏域内のどの図書館でも返却できるように、圏域市町間に本の連絡便を運行する。				
期待される効果	利用者の返却時の負担を軽減することで、既に実施している図書館の広域利用が更に活性化でき、利便性の向上が図れる。				
事業計画	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	266	306	316	321	321
役割分担 中心市	連絡便の運行管理及び関係市町間の連絡調整を行う。				
役割分担 関係市町	利用者からの返却本を適切に管理し、確実な配送を行う。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、令和６年度以降は見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R2）	目標値（R7）
圏域図書館連絡便利用冊数	1,611 冊	1,750 冊

【具体的な取組内容】

連携事業名	体育教育施設の相互利用及び各種スポーツ大会連携事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	圏域住民の心身における健康の増進を図るため、施設の相互利用及びスポーツ大会や教室等を開催する。				
期待される効果	社会体育施設の適正な維持管理や運営事業等、相互利用・協力により、圏域住民の交流及び健康増進の充実が期待される。				
事業計画	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	0	9,575	2,000	7,200	7,200
役割分担 中心市	社会体育施設の相互利用及び各種イベント開催等を企画し実施する。				
役割分担 関係市町	社会体育施設の相互利用及び各種イベント開催等の計画に協力し周知する。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、令和６年度以降は見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R1）	目標値（R7）
スポーツ大会連携事業交流参加者数	10,750 人	10,750 人

(4) 産業振興

① 農林畜産業の振興

【形成協定の内容】

取　組　内　容	圏域内の農林畜産業の担い手や雇用を促進するため、就業及び就学を支援する取組を行い、圏域の人材育成と定住者の増加を図り、農林畜産業の振興を推進する。
たつの市（甲）の役割	甲は、乙及び関係団体と連携し、圏域内の農林畜産業従事者の雇用の促進及び就業支援を行い、農林畜産業を振興するとともに、取組の調整を図る。
関係市町（乙）の役割	乙は、甲と情報を共有し、圏域内の農林畜産業従事者の雇用の促進及び就業支援を行い、農林畜産業を振興するとともに、乙の区域の関係機関との連携を図る。

【具体的な取組内容】

連携事業名		農林畜産業従事者雇用促進対策事業				
連携市町名		たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容		農林畜産業の担い手確保への支援及びスマート化を促進する。				
期待される効果		農林畜産業従事者への就労と定住が期待されるほか、生産工程のスマート化による生産性の向上や省力化による担い手の確保につながることが期待される。				
事業計画		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
		→	→	→	→	→
事業費（単位：千円）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
		※事業化に向け検討し、事業化する場合は、各年度において事業費を予算計上				
役割分担	中心市	関係市町及び関係団体と連携し、就労及びスマート化への支援制度を調整し、実施する。				
	関係市町	中心市及び関係団体と連携し、就労及びスマート化への支援制度を実施する。				
活用を想定する補助制度等		新規事業体育成支援事業、畜産・酪農収益力強化整備対策事業				

(4) 産業振興

② 圏域観光の推進

【形成協定の内容】

取　組　内　容	圏域における広域観光を推進するため、広域観光体制を充実・強化し、観光資源の磨き上げとネットワーク化による観光事業の充実並びに観光情報の発信及びセールスプロモーションの強化を図る。
たつの市（甲）の役割	甲は、乙及び関係団体と連携し、観光資源の磨き上げを行い、観光情報の発信及び宣伝活動等のセールスプロモーションの強化を行う。
関係市町（乙）の役割	乙は、甲及び関係団体と連携し、観光資源の磨き上げを行い、観光情報の発信及び宣伝活動等のセールスプロモーションの強化を行う。

【具体的な取組内容】

連携事業名		道の駅連携事業				
連携市町名		たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容		圏域内の道の駅（たつの市②宍粟市④佐用町①）が連携し、観光 PR コーナーの設置や観光物産展等の実施により、圏域全体で活用できる地域資源を広く発信し、相互の集客力を高める。				
期待される効果		圏域内の道の駅が連携することにより、情報発信力、集客力を高めることが期待できる。				
事業計画		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
		→	→	→	→	→
事業費（単位：千円）		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
		0	0	0	0	0
役割分担	中心市	関係市町と連携し、圏域内の道の駅による連携体制を調整し、連携事業を推進する。				
	関係市町	中心市と連携し、圏域内の道の駅（上郡町は観光案内所等）の連携体制づくりに協力し、連携事業を推進する。				
活用を想定する補助制度等						

※事業費については、令和 6 年度以降は見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R2）	目標値（R7）
道の駅利用者数	794,572 人	912,000 人

【道の駅みつ】

【具体的な取組内容】

連携事業名	観光客誘致対策事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	圏域観光パンフレット・ガイドブック等の作成や観光キャンペーン・観光ツアー（マイクロツーリズム）等を行い、圏域外への情報発信及びセールスプロモーションの強化を図るとともに、着地型・滞在型の観光商品の開発強化等を行い、観光事業の充実を図る。				
期待される効果	観光キャンペーン及び観光ツアーを実施することにより、圏域内の交流人口増加を図り、圏域経済の活性化が期待される。				
事業計画	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	→	→	→	→	→
事業費（単位：千円）	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	897	4,586	4,559	10,100	11,600
役割分担 中心市	関係市町や各種団体と協力し、圏域観光パンフレットの作成や広域観光の推進を図る観光ツアー等を企画・実施する。				
役割分担 関係市町	中心市や各種団体と協力し、圏域観光パンフレットの作成や広域観光の推進を図る観光ツアー等を企画・実施する。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、令和６年度以降は見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R2）	目標値（R7）
観光客入込数	2,557,999 人	4,516,000 人

【龍野納涼花火大会（たつの市）】

【ふじ祭り（宍粟市）】

【白旗城まつり（上郡町）】

【ひまわり祭り（佐用町）】

(4) 産業振興

③ 雇用・企業等誘致の推進

【形成協定の内容】

取　組　内　容	播磨科学公園都市のほか、圏域内の工業団地や低・未利用地、その他空き工場等への企業立地を促進するとともに、ビジネスマッチングや既存企業の育成等による地域産業の活性化と雇用機会の増大を図る。また、播磨科学公園都市内に政府関係機関の誘致を推進する。
たつの市（甲）の役割	甲は、乙及び関係団体と連携し、企業及び政府関係機関の誘致等に必要な情報を集約するとともに、圏域内企業と協力し、雇用創出を推進する。
関係市町（乙）の役割	乙は、甲から提供のあった情報を活用し、圏域への雇用・企業誘致等を推進する。

【具体的な取組内容】

連携事業名		ビジネスマッチングフェア開催事業				
連携市町名		たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容		ブース出展やオンラインによる圏域内の企業紹介を行い、出展企業間の交流及び学生などの来場者と企業とのマッチングを行う。				
期待される効果		圏域企業間の交流と活発化が図られ、地域産品の販路拡大や新たな雇用創出が期待される。				
事業計画		令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
		→				
事業費（単位：千円）		令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
		124	36	200	500	500
役割分担	中心市	関係市町、金融機関及び商工団体と連携を図りながら、事業を実施する。				
	関係市町	中心市、金融機関及び商工団体と連携を図りながら、事業を実施する。				
活用を想定する補助制度等						

※事業費については、令和６年度以降は見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（H30）	目標値（R7）
ビジネスマッチングフェア参加企業数	34 社	34 社

【合同就職説明会（たつの市）】

【具体的な取組内容】

連携事業名	合同就職説明会及び無料職業紹介事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	若者の就労を支援するための合同就職説明会を合同で開催し、圏域内での雇用拡大を図るとともに、ハローワーク求人情報のオンライン提供を活用した圏域独自の求人情報を提供する。				
期待される効果	参加企業の範囲が広がることで、求職者にとって選択肢が広がり、就業機会が増えることが期待される。				
事業計画	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	19,873	21,319	19,723	19,700	19,700
役割分担 中心市	関係市町、商工団体及びハローワークと連携を図りながら、事業を実施する。				
役割分担 関係市町	中心市、商工団体及びハローワークと連携を図りながら、事業を実施する。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、令和６年度以降は見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（H30）	目標値（R7）
合同就職面接会参加人数	171 人	270 人

【具体的な取組内容】

連携事業名	地域経済循環調査事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	限られた経営資源を有効活用していくため、地域内経済循環等に関する研修会を実施し、関係団体（県、経済団体等）と連携した事業展開につなげる。				
期待される効果	ビックデータの活用スキルを向上させることにより、職員の資質向上とともに、資料分析に基づく政策立案の推進及び圏域内の地域経済の活性化に寄与することが期待される。				
事業計画	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	0	0	0	100	100
役割分担 中心市	関係市町と連携し、調査等の実施・協力する。				
役割分担 関係市町	中心市と連携し、調査等の実施・協力する。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、令和６年度以降は見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値	目標値（R7）
研修会実施回数【累計】	（新規）	５回

【具体的な取組内容】

連携事業名	企業等立地支援事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	中国横断自動車道姫路鳥取線の全線開通（令和 3 年度予定）による、播磨科学公園都市をはじめ圏域市町への企業立地等を更に促進するため、現行の優遇制度の運用及び同制度の拡充や新設を検討する。また、政府関係機関等の誘致を推進する。				
期待される効果	播磨科学公園都市等への企業立地及び留置等が進むことにより、圏域の経済活性化や雇用状況の改善が期待される。				
事業計画	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
	93,559	12,614	150,068	130,600	130,600
役割分担 中心市	関係市町及び兵庫県と連携し、播磨科学公園都市等への企業立地に関する情報交換や優遇制度の新設・拡充を行い、企業等の立地を支援する。				
役割分担 関係市町	中心市及び兵庫県と連携し、播磨科学公園都市等への企業立地に関する情報交換や優遇制度の新設・拡充を行い、企業等の立地を支援する。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、令和 6 年度以降は見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R2）	目標値（R7）
奨励金等による新規雇用創出人数	24 人	7 人

(4) 産業振興

④ 地産地消の推進

【形成協定の内容】

取　組　内　容	圏域における地産地消を推進するため、地産地消のネットワークの構築及び地産地消に関する事業を行う。
たつの市（甲）の役割	甲は、特産品等を活用した地産地消に関する特産品の販路拡大、イベント等を企画し、地産地消の取組に関する情報発信等を行う。
関係市町（乙）の役割	乙は、甲と協力し、特産品等を活用した地産地消に関する特産品の販路拡大、イベント等を企画し、地産地消の取組に関する情報発信等を行う。

【具体的な取組内容】

連携事業名		地産地消体験活動推進事業				
連携市町名		たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容		圏域内の農畜水産物の消費拡大を図るため、圏域の学生との協働による圏域食材を使用したレシピ開発や食育授業、農林漁業体験等の実施により推進する。				
期待される効果		圏域内の農畜水産物への理解が深まりとともに、消費拡大による生産者の所得向上及び販路拡大が期待される。				
事業計画		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
		→				
事業費（単位：千円）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
		※事業化に向け検討し、事業化する場合は、各年度において事業費を予算計上				
役割分担	中心市	関係市町及び関係団体と連携し、圏域農畜水産物の地産地消に係る事業の企画・調整を行う。				
	関係市町	中心市及び関係団体と連携し、圏域農畜水産物の地産地消に係る事業への情報提供、調整を行う。				
活用を想定する補助制度等						

【具体的な取組内容】

連携事業名	地場産品普及事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	地場産品を広くＰＲするため、各市町が出展する各種イベントにおいて圏域内の地場産品を展示・販売する。				
期待される効果	圏域外の住民や観光客等に地場産品をＰＲすることにより、知名度の向上や販路拡大が期待される。				
事業計画	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	0	128	184	593	593
役割分担 中心市	関係市町から物品提供などの協力を受け、姉妹都市で開催されるイベント等に参加し、圏域内地場産品に関するＰＲを行う。				
役割分担 関係市町	中心市及び他の連携市町の協力のもとイベントに参加し、圏域内地場産品のＰＲを行う。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、令和６年度以降は見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R1）	目標値（R7）
イベント出展回数	２回	４回

【室津産牡蠣（たつの市）】

【木工製品（宍粟市）】

【ぶどう（上郡町）】

【ひまわり油（佐用町）】

(5) 環境

① 環境への負荷の少ない持続可能な社会の構築

【形成協定の内容】

取　組　内　容	圏域環境への負荷の少ない持続可能な社会を実現するため、低炭素社会、循環型社会、自然共生社会づくりの取組を推進する。
たつの市（甲）の役割	甲は、乙と連携して、低炭素社会、循環型社会、自然共生社会づくりに取り組むとともに、その調整を図る。
関係市町（乙）の役割	乙は、甲と連携して、低炭素社会、循環型社会、自然共生社会づくりに取り組む。

【具体的な取組内容】

連携事業名	電気自動車普及促進事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	二酸化炭素等の排出を削減するため、電気自動車の普及促進及び急速充電器の整備を行う。				
期待される効果	圏域内の電気自動車の普及促進により、二酸化炭素の排出抑制、省エネへの貢献だけでなく、災害時等における電気自動車の非常用電源としての活用が期待される。また、移動経路における充電の需要に応えることにより、観光入込客数等の増加も期待される。				
事業計画	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	1,261	1,205	577	10	10
役割分担　中心市	電気自動車の普及促進に努め、急速充電器の設置及び利用を促進する。				
役割分担　関係市町	電気自動車の普及促進に努め、急速充電器の設置及び利用を促進する。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、令和６年度以降は見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R2）	目標値（R7）
急速充電器利用回数	4,562 回	5,180 回

【西播磨県民局内急速充電器】

【具体的な取組内容】

連携事業名	環境美化啓発看板設置事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	圏域共通の不法投棄禁止看板及び犬等のフン放置禁止看板を製作し、不法投棄等が繰り返される場所に設置することにより、圏域全体で不法投棄等の撲滅に向けた活動や啓発を行う。				
期待される効果	圏域の市町及び関係機関（警察または兵庫県動物愛護センター）との連名で看板を製作することで、不法投棄等に対する抑止効果の高まりが期待される。				
事業計画	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	484	531	554	532	470
役割分担 中心市	不法投棄禁止、犬等のフン放置禁止看板を製作し、圏域全体に環境美化を啓発する。				
役割分担 関係市町	不法投棄、犬等のフン放置が繰り返される場所に看板を設置し、圏域全体に環境美化を啓発する。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、令和６年度以降は見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R2）	目標値（R7）
不法投棄物処理量	6.55ｔ	9.3ｔ

【具体的な取組内容】

連携事業名	食べきり運動応援事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	圏域内の飲食店や宿泊施設を対象に「食べきり運動※協力店」を募集・登録し、表示ステッカー・ポスターを配布するとともに、ＷＥＢ上でマップを作成するなど広く周知する。 ※ハーフサイズや小盛りなど、食べ残しが出ない工夫をしたメニューの設定、持ち帰りが出来るメニュー、持ち帰り用パックの提供、客への意識啓発等、食べ残しを減らす取組に協力する店				
期待される効果	圏域内の飲食店や宿泊施設から出る食品廃棄物を削減するとともに、消費者も「残さず食べる」ことを意識するようになり、家庭における買いすぎ、作りすぎの抑制、生ごみ減量化も期待される。				
事業計画	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	26	36	32	52	52
役割分担 中心市	食べきり運動協力店の募集活動・登録事務を行い、ポスター・ステッカーを製作する。				
役割分担 関係市町	食べきり運動協力店の募集・登録に協力し、ポスター・ステッカーを圏域内の協力店に配布する。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、令和６年度以降は見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R2）	目標値（R7）
食べきり運動協力店登録数	46 店	71 店

【具体的な取組内容】

連携事業名	環境保全・ごみ減量化啓発事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	環境保全・ごみ減量化の啓発を目的とした講座・講習会・イベント等を開催する。				
期待される効果	圏域住民の環境保全・ごみ減量化の意識向上が期待される。				
事業計画	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	778	371	1,017	1,140	1,140
役割分担 中心市	環境保全・ごみ減量化啓発を目的とした講座、講習会、イベント等を開催し、圏域全体に周知する。				
役割分担 関係市町	環境保全・ごみ減量化啓発を目的とした講座、講習会、イベント等の情報を周知し、参集に協力する。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、令和６年度以降は見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R2）	目標値（R7）
家庭系普通ごみ排出量	29,591ｔ	24,859ｔ

【具体的な取組内容】

連携事業名	家庭不用品交換事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	家庭で使わなくなった品物を有効活用し、ごみの減量化を図るため、「譲りたいもの」「譲ってほしいもの」を登録し、圏域住民に情報提供する。				
期待される効果	「リユース（再利用）」を促進することで、ものを大切にする「もったいない」の心を育て、圏域内の資源の有効利用、ごみの減量化が期待される。				
事業計画	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	0	0	0	0	0
役割分担 中心市	圏域住民から「譲りたいもの」「譲ってほしいもの」の情報を募集登録し、関係市町と情報共有するとともに、住民周知用掲示板を整備する。				
役割分担 関係市町	「譲りたいもの」「譲ってほしいもの」の情報を掲示板や広報誌等で周知する。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、令和６年度以降は見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R2）	目標値（R7）
家庭不用品交換数	91 件	103 件

【具体的な取組内容】

連携事業名	木質バイオマス利活用推進事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	二酸化炭素の吸収源である森林に恵まれた圏域の特色を活かした地域ごとの木質バイオマスの取り組みについて広く紹介し普及啓発を行う。				
期待される効果	環境に優しい木質バイオマスの利用を推進することにより、圏域の森林資源の有効利用が図れる。				
事業計画	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	1,041	840	983	2,500	2,500
役割分担 中心市	関係市町及び森林組合等と連携・協力し、木質バイオマス利用促進の普及活動を行う。				
役割分担 関係市町	中心市及び森林組合等と連携・協力し、木質バイオマス利用促進の普及活動を行う。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、令和６年度以降は見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R2）	目標値（R7）
搬出木材重量	223,870kg	503,935kg

【千種中学校ペレットストーブ火入れ式】

【木質ペレット】

(6) 消防防災

① 圏域内防災体制の強化

【形成協定の内容】

取　組　内　容	圏域住民の安全を確保するため、圏域内の防災体制の強化、防災意識の向上に向けた取組を推進する。
たつの市（甲）の役割	甲は、関係団体と連携を図りながら乙と連携して情報の共有化に努めるとともに、災害発生時に備え減災対策を図る。
関係市町（乙）の役割	乙は、関係団体と連携を図りながら甲と連携して情報の共有化に努めるとともに、災害発生時に備え減災対策を図る。

【具体的な取組内容】

連携事業名		防災リーダー養成事業				
連携市町名		たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容		圏域での災害初動期対応の柱となる地域防災力向上を推進するため、自主防災組織活動の指導や地域住民へのアドバイス等、地域の防災活動に対して指導を行うことができる人材を養成する。				
期待される効果		圏域内の消防防災・災害対応体制の維持・確保が図れ、圏域住民の安全・安心な生活の確保につながることが期待される。				
事業計画		令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
		→				
事業費（単位：千円）		令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
		75	35	68	212	212
役割分担	中心市	関係市町と連携・協力し、講習会・研修等を企画し実施する。				
	関係市町	中心市と連携・協力し、講習会・研修等を企画し実施する。				
活用を想定する補助制度等						

※事業費については、令和６年度以降は見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値(過年度準拠)	目標値（R7）
フォローアップ研修受講者数	33 人	40 人

【揖保川水系総合水防演習】

【具体的な取組内容】

連携事業名	災害備蓄資機材整備・避難者受入対策事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	圏域の災害時避難施設等において共用できる備蓄資機材を整備するとともに、圏域内において避難者の一時受け入れや避難所運営についての具体的な対策を整備する。				
期待される効果	備蓄品の情報を共有することにより、圏域内で効率的な備蓄体制が整備でき、大規模災害時を想定した避難者の一時滞在について、迅速に対応できることが期待される。				
事業計画	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	990	990	990	1,914	1,914
役割分担 中心市	関係市町と連携・協力し、圏域内で共用できる備蓄資機材を整備するとともに、避難者の一時受け入れや避難所運営についての具体的な対策を講じる。				
役割分担 関係市町	中心市と協力し、広域備蓄資機材の検討や難者の一時受け入れや避難所運営についての具体的な対策を講じる。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、令和６年度以降は見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R2）	目標値（R7）
圏域内広域避難所用資機材備蓄率	56%	103%

【具体的な取組内容】

連携事業名	防災パンフレット等啓発資料作成事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	圏域住民に減災対策の啓発を行うため、防災パンフレットを作成し配布するとともに、災害別の防災ビデオを作成し、自主防災の訓練時等に活用する。				
期待される効果	圏域住民の安全で安心な生活の確保につながることが期待される。				
事業計画	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	0	0	0	50	50
役割分担 中心市	関係市町、国及び県と協力し、防災パンフレット等を作成し、圏域住民に啓発する。				
役割分担 関係市町	中心市、国及び県と協力し、防災パンフレット等を作成し、圏域住民に啓発する。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、令和６年度以降は見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	現状値（R2）	目標値（R7）
防災パンフレット配布数	2,000 部	4,000 部

3 結びつきやネットワークの強化に係る具体的取組

(1) 地域公共交通

① 地域公共交通ネットワークの充実

【形成協定の内容】

取　組　内　容	圏域内移動の利便性を向上させるため、姫新線、山陽本線、路線バス等の利用促進のほか、地域公共交通の充実に向けた取組を推進する。
たつの市（甲）の役割	甲は、乙及び関係機関等と連携して、公共交通の結節点となる鉄道駅等の機能強化を図るとともに、鉄道と路線バス、コミュニティバス等の接続性の向上のほか、圏域内移動に関する公共交通ネットワークの強化に向けた調整や取組の実施を図る。また、関係機関等への働きかけや、利用促進のための普及・啓発活動を行う。
関係市町（乙）の役割	乙は、甲及び関係機関等と連携して、圏域内移動に関する公共交通ネットワークの強化に関する取組を実施する。また、甲と協力して関係機関等への働きかけや、利用促進のための普及・啓発活動を行う。

【具体的な取組内容】

連携事業名	コミュニティバス・路線バス等利用促進事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	広域連携公共ネットワークの構築を目指し、圏域バスの運行、MM（モビリティマネジメント）教室の開催等を実施する。				
期待される効果	圏域内人口の流出に歯止めをかけ、圏域内交流人口を増加させるとともに、公共交通利用者の増加に伴う交通渋滞の緩和と CO2 排出量の削減が期待される。				
事業計画	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
	→	→	→	→	→
事業費（単位：千円）	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
	29,635	30,103	31,411	29,842	29,842
役割分担　中心市	関係市町と連携して、広域連携公共ネットワークの構築を目指し、各種事業を実施する。				
役割分担　関係市町	中心市と連携して、広域連携公共ネットワークの構築を目指し、各種事業を実施する。				
活用を想定する補助制度等	地域公共交通確保維持改善事業				

※事業費については、令和 6 年度以降は見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R2）	目標値（R7）
コミュニティバス・路線バス等利用者数（１日あたり）	2,025 人	2,323 人

【具体的な取組内容】

連携事業名	姫新線・山陽本線利用促進事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	広域乗継ガイドの作成・配布と ICOCA の普及や駅周辺の環境整備等を推進し、姫新線・山陽本線の利用を促進する。姫新線については姫新線利用促進・活性化同盟会と、山陽本線については山陽本線沿線市町連絡会と連携し、各種利用促進策を展開する。				
期待される効果	圏域内人口の流出に歯止めをかけ、圏域内交流人口を増加させるとともに、公共交通利用者の増加に伴う交通渋滞の緩和と CO2 排出量の削減が期待される。				
事業計画	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	1,653	1,228	1,642	5,053	5,053
役割分担 中心市	関係市町と連携して、広域乗継ガイドやたつの市おでかけ時刻表等の作成・配布と ICOCA の普及や駅周辺の環境整備等を推進し、姫新線・山陽本線の利用を促進する。				
役割分担 関係市町	中心市と連携して、広域乗継ガイドの配布と ICOCA の普及や駅周辺の環境整備等に努め、姫新線・山陽本線の利用を促進する。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、令和６年度以降は見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R2）	目標値（R7）
圏域内鉄道駅乗車人数（1 日あたり）	7,354 人	9,638 人

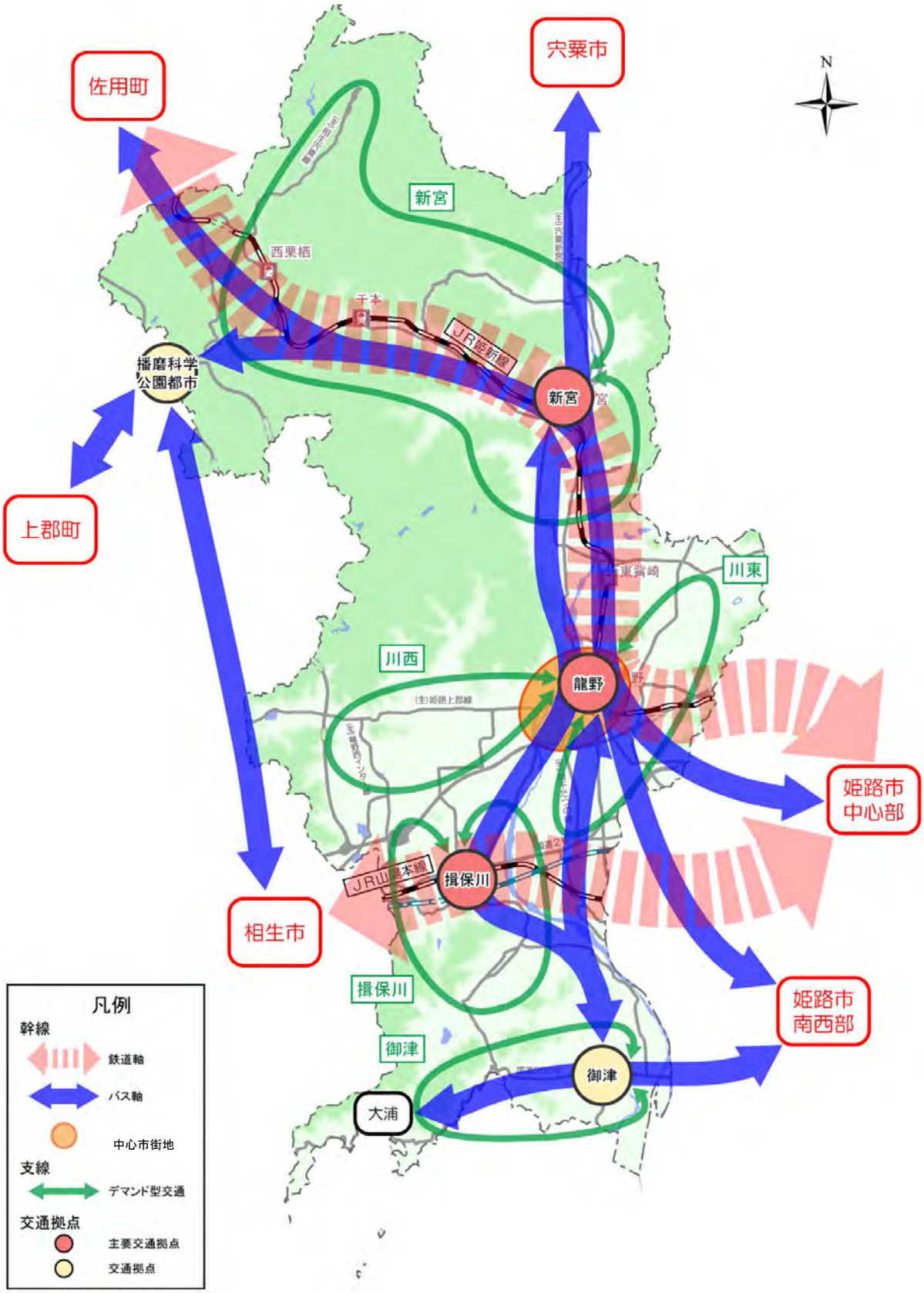
【具体的な取組内容】

連携事業名	パーク＆ライド助成相互利用促進事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	圏域内住民が、新規に定期乗車券を購入した場合、駐車場等の利用料金の助成を行うことで鉄道及び路線バスの利用を促進する。				
期待される効果	圏域内人口の流出に歯止めをかけ、圏域内交流人口を増加させるとともに、公共交通利用者の増加に伴う交通渋滞の緩和と CO2 排出量の削減が図れる。				
事業計画	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	1,664	1,777	2,243	2,472	2,472
役割分担 中心市	関係市町と連携して、定期乗車券の新規購入者に対する駐車場等の利用料金の助成を行う。				
役割分担 関係市町	中心市と連携して、定期乗車券の新規購入者に対する駐車場等の利用料金の助成制度の周知を行う。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、令和６年度以降は見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R2）	目標値（R7）
定期乗車券新規購入者による利用助成申請数	130 件	130 件

あるべき公共交通の姿


佐用町
宍粟市
N
新宮
西粟栖
千本
JR姫新線
播磨科学公園都市
新宮
上郡町
東觜崎
川東
川西
龍野
姫路市中心部
JR山陽本線
揖保川
相生市
揖保川
姫路市南西部
御津
御津
大浦
凡例
幹線
鉄道軸
バス軸
中心市街地
支線
デマンド型交通
交通拠点
主要交通拠点
交通拠点

(2) 道路等交通インフラ

① 効率的な交通機能のネットワークの形成

【形成協定の内容】

取　組　内　容	効率的な交通機能のネットワーク形成を図るため、圏域内外を結ぶ主要幹線道路や生活道路の整備を推進する。
たつの市（甲）の役割	甲は、乙と連携し、圏域の交通インフラ整備を推進する上で、中心的な役割を担い、関係機関への働きかけや早期実現に向けた活動を展開する。
関係市町（乙）の役割	乙は、甲と連携し、交通インフラの整備促進に係る関係機関への働きかけや早期実現に向けた活動を展開する。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R2）	目標値（R7）
道路整備計画路線の整備率	21%	100%

【具体的な取組内容】

連携事業名		交通インフラ整備推進事業				
連携市町名		たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容		主要幹線道路の整備促進を図り、主要幹線道路に接続する地域を結ぶ幹線道路及び生活に密着した一般道路の整備を進める。				
期待される効果		道路整備により交通ネットワークを強化し、市民生活の利便性向上、圏域の活性化及び生活環境の改善が図られる。				
事業計画		令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
		→	→	→	→	→
事業費（単位：千円）		令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
		1,080,917	806,304	887,627	745,232	438,950
役割分担	中心市	圏域内主要拠点や周辺地域を結ぶ主要幹線道路について、交通処理機能の強化のための道路整備を促進するほか、連携する市道などの一般道路と主要幹線道路との円滑な接続と道路機能の充実を推進する。				
	関係市町	中心地域と連携する主要幹線道路と一般道路との円滑な接続と道路機能の充実を図る。				
活用を想定する補助制度等		社会資本整備総合交付金、防災・安全交付金、過疎地域自立促進事業、道路メンテナンス事業				

※事業費については、令和６年度以降は見込額です。

【参考：事業路線・事業箇所】

龍野新大橋・矢ノ原橋・十文字川２号橋・大谷川橋・学童橋・(仮称)新宮中央線・片山末政線・沢田８号線・片島土師線・竜野駅前南線ほか１路線・竜野駅前北線・山田下広瀬線・宇原橋・加賀須橋・宮ノ前橋・平萱橋・円通庵橋・十明橋・向イ市場２号橋・木坂橋・大森橋・下田橋・神河橋・西小坂橋・宮寺橋・富士野７号橋・奥林橋・大渡瀬橋・打呑橋・原大橋・柳平橋・平野橋・クラブ橋・中島橋・二つ橋・小坂橋・乗取２号橋・水谷橋・常観橋・千保橋・有賀カンカケ５号橋・坂ノ谷橋・坂の谷桟道橋・三谷３号１号橋・山の神橋・与位 15 号２号橋・小部橋・明延１号橋・築谷橋・富士野５号橋・ヒナ山橋・赤西音水１号橋・荒神橋・左雲橋・猿毛橋・土居橋・頃谷橋・若杉橋・阿舎利橋・富士野１号橋・広路４号橋・広路５号橋・荒尾橋・茶園川橋・堂所２号橋・猶原橋・町道中野与井線（馬場第参踏切拡幅）・町道中野与井線・湯ノ脇橋・新丑谷橋・薬師橋・石戸橋・正福寺下橋・第三本谷橋・黒石橋・名尻橋・大酒橋・中垣内橋・西守橋・渡瀬橋・第一前田橋・岡ノ堂橋・杉尾橋・大橋橋・柳川橋・才原橋・秀林橋・与井橋・太山寺橋・西方寺橋・久保橋・第二国光橋・樫ヶ峠下橋・天神橋・井ノ口橋・金華橋・岩崎橋・⑦橋・飛永橋・方張橋・隈見橋・中之原橋・坂田橋・米田橋・家内橋・小山橋・大下り橋・白石橋・東徳久橋・下上月橋・大倉橋・神羽橋・笹谷橋・鷹ノ巣橋・鋳物師谷口橋・竹ノ口橋・上ノ滝橋・曽婦谷竹ノ奥橋・中尾上橋・宮橋・高雄山跨高速道路橋・中山跨道橋・石井橋・二ノ谷橋・才金前田橋・谷橋・板垣橋・平谷橋・中渡橋・見土路橋・丑谷橋・力万向河原橋・久保大橋・睦橋・城下橋・福原橋・中橋・長田橋・町道末広久崎線他舗装修繕工事・町道三河旧道線舗装修繕工事・町道中学校前線道路改良工事・町道林崎東徳久線道路改良工事・町道小山安川線道路改良工事・大日山鍛冶屋橋・峠橋

(3) 交流・定住促進

① 地域資源の活用による交流・定住促進

【形成協定の内容】

取　組　内　容	圏域内の人口減少を抑制するため、圏域内外の交流人口の増大を図るほか、移住・定住支援を推進する。
たつの市（甲）の役割	甲は、甲と乙がそれぞれ実施する移住・定住施策や交流事業等の連携や情報収集を図るとともに、圏域外の住民に対して、圏域への移住施策に関する情報を発信する。
関係市町（乙）の役割	乙は、甲が行う移住・定住施策や交流事業等の連携や情報収集に協力するとともに、圏域外の住民に対して、圏域への移住施策に関する情報を発信する。

【具体的な取組内容】

連携事業名		空き家等情報バンク制度連携事業				
連携市町名		たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容		圏域の空き家情報を相互利用するため、各市町のホームページに空き家情報を掲載する。また、一般社団法人兵庫県宅地建物取引業協会西播磨支部との連携を図り、空き家情報の集約及び円滑な仲介体制を維持する。				
期待される効果		空き家等の有効活用等による住環境の整備・促進から、ＵＩＪターン者の促進及び交流人口の増加を図ることにより、集落機能の維持、圏域の活性化が期待される。				
事業計画		令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
		→	→	→	→	→
事業費（単位：千円）		令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
		4,900	5,188	5,224	4,900	4,900
役割分担	中心市	空き家バンク等の移住施策と関係市町の行う空き家バンク等の移住施策との連携を図り、圏域外の住民に対して、移住施策に関する情報を発信する。				
	関係市町	圏域外の住民に対して、空き家バンク等の移住施策に関する情報を発信する。				
活用を想定する補助制度等						

※事業費については、令和６年度以降は見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（過年度準拠）	目標値（R7）
空き家バンク制度新規登録数	335 件	385 件

【具体的な取組内容】

連携事業名	定住促進共同情報発信事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	圏域市町合同で定住相談会に出展し、圏域市町の魅力や移住施策を移住希望者に向けて積極的に情報発信する。				
期待される効果	圏域の魅力ある地域資源を積極的に活用し、都市部から圏域への人の流れを創出することにより、定住人口や交流人口の増加が期待される。				
事業計画	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	946	2,584	1,623	2,849	2,849
役割分担 中心市	関係市町及び関係機関と協力し、圏域のＰＲ項目や空き家情報等の提供・選定を行うとともに、都市圏で開催される移住相談会への参加等、関係市町を含めた移住定住プロモーションを展開する。				
役割分担 関係市町	中心市及び関係機関と協力し、圏域のＰＲ項目や空き家情報等の提供・選定を行うとともに、都市圏で開催される移住相談会への参加等、関係市町を含めた移住定住プロモーションを展開する。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、令和６年度以降は見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R2）	目標値（R7）
定住自立圏域の社会減少率（対前年比）	△0.5%	△1.0%

【具体的な取組内容】

連携事業名	婚活支援事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	圏域内の若者の成婚を促進するため、男女の出会いの場の創出、成婚化に向けての各種方策を実施する。				
期待される効果	圏域全体での婚活事業の展開が可能となり、出会いの機会の増加、及び成婚率の向上が期待できる。				
事業計画	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	2,407	2,352	2,068	3,600	3,600
役割分担 中心市	関係市町と連携し、圏域住民が相互に参加できるよう情報提供するなどの調整を図り、効果的な事業運営に努める。				
役割分担 関係市町	中心市と連携し、圏域住民が相互に参加できるよう情報提供するなどの調整を図り、効果的な事業企画・運営に努める。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、令和６年度以降は見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R2）	目標値（R7）
婚活イベント実施回数	3 回	8 回
カップル成立組数	18 組	27 組

4 圏域マネジメント能力の強化に係る具体的取組

(1) 人材育成

① 地域をけん引する人材の育成及び人事交流の実施

【形成協定の内容】

取　組　内　容	圏域のマネジメント能力の強化を図るため、職員の合同研修会の開催のほか、外部の専門的な人材の活用と人事交流を推進する。
たつの市（甲）の役割	甲は、関係職員の能力向上に向けた研修等を実施するとともに、各政策分野に応じた専門的な人材を確保し活用する。
関係市町（乙）の役割	乙は、甲が開催する関係職員の能力向上に向けた研修等に参加するとともに、各政策分野に応じた専門的な人材を確保し活用する。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R1）	目標値（R7）
職員研修受講人数	56 人	70 人
調査研修職員参集回数	（新規）	12 回

【具体的な取組内容】

連携事業名	圏域内市町職員交流事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	圏域内における職員の能力及び資質の向上を図るため、合同研修会及び職種や業務単位での担当者会議を開催する。 また、外部人材を招き、圏域内の共通課題解決を目指す職員らの協同研究を行う。				
期待される効果	圏域全体の職員の資質向上に寄与し、圏域市町間における職員の連携強化が図れる。				
事業計画	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
	→	→	→	→	→
事業費（単位：千円）	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
	0	372	320	560	560
役割分担 中心市	圏域で実施することが効果的な合同研修会を開催するとともに、圏域共通課題の解決に向けた協同研究に関する調整、実施を行う。				
役割分担 関係市町	中心市が実施する研修や担当者会議等に参加する。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、令和 6 年度以降は見込額です。

【具体的な取組内容】

連携事業名	外部人材招へい事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	連携事業を実施・検討していく中で生まれる課題に対して、専門的な知識を有する人材を招き、講演会等を開催するなど、地域での取組みを後押しする。				
期待される効果	専門的な見解からのアドバイス等をもらうことにより、圏域住民の地域活動に対する意欲の高揚や圏内自治体職員の育成を図るとともに、協働事業への展開も期待される。				
事業計画	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	→	→	→	→	→
事業費（単位：千円）	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	0	0	0	200	200
役割分担 中心市	関係市町と連携し、圏域の課題整理や圏域施策を企画・立案する外部人材を招へいする。				
役割分担 関係市町	中心市と連携し、圏域の課題整理や圏域施策を企画・立案する外部人材の招へいに協力する。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、令和６年度以降は見込額です。

【具体的な取組内容】

連携事業名	地域おこし企業人交流プログラム活用事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	連携事業を実施・検討していく中で生まれる課題に対して、企業等が有するノウハウや知見によるアドバイス等を受けるとともに、地域おこし協力隊等外部人材を活用し、効果的な連携事業の推進を図る。				
期待される効果	圏域自治体それぞれの特長を生かした観光分野のほか、ＩＣＴ分野での事業推進が期待される。				
事業計画	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	→	→	→	→	→
事業費（単位：千円）	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	0	0	0	0	0
役割分担 中心市	関係市町と連携し、圏域の課題整理や圏域施策を企画・立案する地域おこし企業人を招へいする。				
役割分担 関係市町	関係市町と連携し、圏域の課題整理や圏域施策を企画・立案する地域おこし企業人の招へいに協力する。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、令和６年度以降は見込額です。

第５章　資料編

１ 播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョン成果指標及び進捗状況一覧

生活機能の強化に係る政策分野

① 医療　　医療圏域体制の充実

成果指標	基準値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R7 目標値
（１）医療従事者、看護師の養成・確保対策事業（累計）							
奨学制度新規利用者数（医師）	０人	０人	０人	０人			５人
奨学制度新規利用者数（看護師）	３人	５人	７人	11 人			37 人
（２）医療職従事啓発事業							
パンフレット配布数	０部	０部	０部	０部			3,000 部
（３）感染対策圏域連携事業							
電話相談件数	22 件	10 件	11 件	20 件			30 件
出前講座実施件数	2 件	7 件	8 件	2 件			11 件
（４）新たな日常に対応した医療サービス推進事業							
電話診療実施件数	1,063 件	1,202 件	1,081 件	273 件			1,120 件
オンライン診療実施件数	－	－	－	35 件			120 件
オンライン面会実施件数	54 件	259 件	217 件	26 件			205 件

② 福祉　　1）高齢者・障害者支援及び認知症対策体制の充実

成果指標	基準値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R7 目標値
（５）認知症初期集中支援連携事業							
医療・介護サービスにつながった者の割合	60%	66%	76%	82%			65%
（６）在宅医療・介護連携ＩＣＴシステム推進事業							
ＩＣＴシステムアカウント数	117 件	123 件	133 件	137 件			144 件
登録患者数	276 人	354 人	425 人	461 人			306 人
（７）高齢者等ＳＯＳネットワーク構築事業							
ＳＯＳネットワーク登録者数	288 人	356 人	433 人	487 人			474 人

成果指標	基準値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R7 目標値
（８）福祉資格取得助成事業（累計）							
助成事業による新規資格取得者数	178 人	204 人	226 人	260 人			400 人
（９）生活支援サポーター養成事業（累計）							
生活支援サポーター養成研修修了者数	49 人	55 人	0 人	62 人			100 人

② 福祉　　2）子育て支援体制の充実

成果指標	基準値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R7 目標値
（10）産後ケア連携事業							
公立宍粟総合病院での圏域住民出産数	175 人	151 人	152 人	164 人			180 人
（11）ファミリーサポートセンター広域実施事業							
ファミリーサポートセンター登録会員数	1,119 人	1,118 人	1,120 人	1,105 人			1,184 人
ファミリーサポート養成講座の開催回数	11 回	7 回	10 回	10 回			12 回
（12）病後児保育施設の相互利用							
利用者数	95 人	188 人	228 人	508 人			200 人

③ 教育　　学校教育・社会教育の充実

成果指標	基準値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R7 目標値
（13）播磨科学公園都市学習機会推進事業							
播磨科学公園都市見学会の開催回数	0 回	0 回	18 回	0 回			4 回
（14）特別支援学校センター的機能を活用した教育相談事業							
教育相談事業実施延回数	106 回	115 回	89 回	112 回			240 回
（15）資料館情報共有共同発信事業							
ホームページ閲覧回数	12,835 回	25,714 回	28,142 回	26,908 回			14,200 回
（16）歴史的資料相互展示事業							
巡回展来館者数	1,816 人	1,249 人	1,198 人	1,174 人			2,500 人

成果指標	基準値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R7 目標値
（17）電子図書館事業							
電子図書館貸出冊数	3,839 冊	2,717 冊	2,831 冊	5,596 冊			4,375 冊
（18）図書館読書活動推進事業							
読書活動推進講演会の来場者数	400 人	592 人	1,047 人	499 人			518 人
（19）圏域図書館連絡便事業							
圏域図書館連絡便年間利用冊数	1,611 冊	1,821 冊	2,471 冊	2,489 冊			1,750 冊
（20）体育教育施設の相互利用及び各種スポーツ大会連携事業							
スポーツ大会連携事業交流参加者数	10,750 人	0 人	4,500 人	4,000 人			10,750 人

④ 産業振興　　1）農林畜産業の振興

成果指標	基準値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R7 目標値
（21）農林畜産業従事者雇用促進対策事業							
【事業検討中】	—	—	—	—			—

④ 産業振興　　2）圏域観光の推進

成果指標	基準値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R7 目標値
（22）道の駅連携事業							
道の駅利用者数	794,572 人	783,987 人	763,040 人	728,519 人			912,000 人
（23）観光客誘致対策事業							
観光客入込数	2,557,999 人	2,860,283 人	3,360,080 人	3,355,411 人			4,516,000 人

④ 産業振興　　3）雇用・企業等誘致の推進

成果指標	基準値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R7 目標値
（24）ビジネスマッチングフェア開催事業							
ビジネスマッチングフェア参加企業数	34 社	20 社	0 社	10 社			34 社

成果指標	基準値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R7 目標値
（25）合同就職説明会及び無料職業紹介事業							
合同就職面接会参加者数	171 人	282 人	204 人	186 人			270 人
（26）地域経済循環調査事業（累計）							
研修会実施回数	（新規）	1 件	1 件	1 件			5 件
（27）企業等立地支援事業							
奨励金等による新規雇用創出人数	24 人	17 人	41 人	43 人			7 人

④ 産業振興　　4）地産地消の推進

成果指標	基準値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R7 目標値
（28）地産地消体験活動推進事業							
【事業検討中】	―	―	―	―			―
（29）地場産品普及事業							
イベント出展回数	2 回	0 回	1 回	3 回			4 回

⑤ 環境　　環境への負荷の少ない持続可能な社会の構築

成果指標	基準値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R7 目標値
（30）電気自動車普及促進事業							
急速充電器利用回数	4, 562 回	6, 057 回	4, 075 回	2, 742 回			5, 180 回
（31）環境美化啓発看板設置事業							
不法投棄物処理量	6. 55 t	8. 09 t	2. 94 t	2. 32 t			9. 3 t
（32）食べきり運動応援事業							
食べきり運動協力店登録数	46 店	45 店	45 店	40 店			71 店
（33）環境保全・ごみ減量化啓発事業							
家庭系普通ごみ排出量	29, 591 t	29, 027 t	23, 341 t	24, 167 t			24, 859 t
（34）環境保全・ごみ減量化啓発事業							
家庭不用品交換数	91 件	71 件	79 件	49 件			103 件

成果指標	基準値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R7 目標値
（35）木質バイオマス利活用推進事業							
搬出木材重量	223,870kg	117,740kg	178,970kg	94,130kg			503,935kg

⑥ 消防防災　　圏域内防災体制の強化

成果指標	基準値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R7 目標値
（36）防災リーダー養成事業							
フォローアップ研修受講者数	33 人	18 人	32 人	23 人			40 人
（37）災害備蓄資機材整備・避難者受入対策事業							
圏域内広域避難所用資機材備蓄率	56%	72%	96%	103.9%			100%
（38）防災パンフレット等啓発資料作成事業							
防災パンフレット配布数	2,000 部	0 部	0 部	0 部			4,000 部

結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

① 地域公共交通　　地域公共交通ネットワークの充実

成果指標	基準値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R7 目標値
（39）コミュニティバス・路線バス等利用促進事業							
コミュニティバス・路線バス等利用者数（1 日あたり）	2,025 人	1,809 人	1,869 人	1,964 人			2,323 人
（40）姫新線・山陽本線利用促進事業							
圏域内鉄道駅乗車人数（1 日あたり）	7,354 人	7,701 人	8,360 人	8,023 人			9,638 人
（41）パーク＆ライド助成相互利用促進事業							
定期乗車券新規購入者による利用助成申請数	130 件	143 件	153 件	195 件			130 件

② 道路等交通インフラ　　効率的な交通機能のネットワークの形成

成果指標	基準値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R7 目標値
（42）交通インフラ整備推進事業							
道路整備計画路線の整備率	21%	26%	44%	62%			100%

③ 交流・定住促進　地域資源の活用による交流・定住促進

成果指標	基準値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R7 目標値
（43）空き家等情報バンク制度連携事業							
空き家バンク制度新規登録数	335 件	499 件	528 件	474 件			385 件
（44）定住促進共同情報発信事業							
定住自立圏域の社会減少率	-0.5%	-0.5%	-0.3%	-0.5%			-1.0%
（45）婚活支援事業							
婚活イベント実施回数	３回	８回	６回	５回			８回
カップル成立組数	18 組	19 組	26 組	17 組			27 組

圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

① 人材育成　地域をけん引する人材の育成及び人事交流の実施

成果指標	基準値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R7 目標値
職員研修受講者数	56 人	67 人	87 人	12 人			70 人
調査研修延実施回数	（新規）	１回	６回	10 回			12 回
（46）圏域内市町職員交流事業							
（47）外部人材招へい事業							
（48）地域おこし企業人交流プログラム活用事業							

2 播磨科学公園都市圏域定住自立圏協議経過

年　月　日	協　議　経　過　内　容
平成 27 年 5 月～	定住自立圏構想協議開始（趣意書作成・講演会開催）
平成 27 年 6 月 29 日	第 1 回定住自立圏構想ワーキンググループ会議の開催
平成 27 年 7 月 16 日	第 2 回定住自立圏構想ワーキンググループ会議の開催
平成 27 年 8 月 26 日	第 3 回定住自立圏構想ワーキンググループ会議の開催
平成 27 年 9 月 25 日	定住自立圏構想中心市宣言（たつの市） 定住自立圏構想中心市宣言式の開催
平成 27 年 11 月 18 日	第 4 回定住自立圏構想ワーキンググループ会議の開催
平成 27 年 12 月～	連携事業各市町事務担当者協議開始（15 分科会）
平成 27 年 12 月 22 日	第 5 回定住自立圏構想ワーキンググループ会議の開催
平成 28 年 1 月 29 日	第 6 回定住自立圏構想ワーキンググループ会議の開催
平成 28 年 3 月	各市町議会における定住自立圏形成協定の締結に関する議案の議決 たつの市：3 月 24 日　　宍粟市：3 月 25 日 上郡町　：3 月 11 日　　佐用町：3 月 14 日
平成 28 年 3 月 30 日	定住自立圏形成協定調印式（協定書締結）
平成 28 年 4 月 22 日	第 7 回定住自立圏構想ワーキンググループ会議の開催
平成 28 年 6 月 23 日	第 1 回播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会の開催 （委員委嘱・定住自立圏構想・共生ビジョン案の検討　等）
平成 28 年 7 月 4 日	第 8 回定住自立圏構想ワーキンググループ会議の開催
平成 28 年 7 月 7 日	連携市町長会議の開催
平成 28 年 7 月 25 日～ 平成 28 年 8 月 25 日	共生ビジョンパブリックコメントの実施
平成 28 年 8 月 4 日	第 9 回定住自立圏構想ワーキンググループ会議の開催
平成 28 年 9 月 20 日	第 10 回定住自立圏構想ワーキンググループ会議の開催
平成 28 年 9 月 27 日	第 2 回播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会の開催 （共生ビジョン案の検討　等）
平成 28 年 9 月 27 日	播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョンの策定
平成 28 年 12 月 20 日	第 11 回定住自立圏構想ワーキンググループ会議の開催
平成 29 年 4 月 26 日	第 12 回定住自立圏構想ワーキンググループ会議の開催
平成 29 年 6 月 27 日	第 13 回定住自立圏構想ワーキンググループ会議の開催
平成 29 年 7 月 28 日	連携市町長会議の開催

平成 29 年 9 月 11 日	第 14 回定住自立圏構想ワーキンググループ会議の開催
平成 29 年 9 月 27 日	第 3 回播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会の開催
平成 29 年 9 月 27 日	播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョンの改定
平成 30 年 2 月 22 日	連携市町長会議の開催
平成 30 年 11 月 16 日	第 15 回定住自立圏構想ワーキンググループ会議の開催
平成 31 年 2 月 19 日	第 4 回播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会の開催
平成 31 年 2 月 19 日	播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョンの改定
平成 31 年 3 月 14 日	連携市町長会議の開催
令和元年 7 月 9 日	第 16 回定住自立圏構想ワーキンググループ会議の開催
令和 2 年 2 月 20 日	第 5 回播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会の開催
令和 2 年 7 月 22 日	第 17 回定住自立圏構想ワーキンググループ会議の開催【書面審議】
令和 2 年 10 月 26 日	第 18 回定住自立圏構想ワーキンググループ会議の開催
令和 2 年 12 月 21 日	連携市町長会議の開催
令和 3 年 3 月 30 日	第 6 回播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会の開催【書面審議】
令和 3 年 3 月 30 日	第 2 期　播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョンの策定
令和 3 年 5 月 13 日	第 19 回定住自立圏構想ワーキンググループ会議の開催
令和 4 年 2 月 18 日	第 7 回播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会の開催【書面審議】
令和 4 年 5 月 25 日	第 20 回定住自立圏構想ワーキンググループ会議の開催
令和 4 年 6 月 21 日	連携市町長会議の開催
令和 4 年 12 月 26 日	連携市町長会議の開催
令和 5 年 2 月 24 日	第 8 回播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会の開催
令和 5 年 5 月 9 日	第 21 回定住自立圏構想ワーキンググループ会議の開催
令和 6 年 1 月 31 日	連携市町長会議の開催
令和 6 年 3 月 7 日	第 9 回播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会の開催
令和 6 年 6 月 18 日	第 22 回定住自立圏構想ワーキンググループ会議の開催
令和 7 年 2 月 21 日	第 10 回播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会の開催
令和 7 年 3 月 3 日（予定）	連携市町長会議の開催

3 播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会委員名簿

分　野	氏　名	所属・団体名・役職等	摘要
教育・人材育成・環境	草薙　真一	兵庫県公立大学法人兵庫県立大学副学長	
医療	上田　　治	地方独立行政法人たつの市民病院機構法人事務局長	
医療	菅原　　誠	公立宍粟総合病院副院長兼事務部長	
医療・福祉	佐野　一成	たつの市・揖保郡医師会会長	
福祉	横田　京悟	たつの市社会福祉協議会会長	
福祉	岸本　年生	宍粟市社会福祉協議会会長	
福祉	末政　貴広	上郡町社会福祉協議会理事長	
福祉	井上　洋文	佐用町社会福祉協議会会長	
産業振興	頃安　雅樹	龍野商工会議所会頭	
産業振興	木津　眞人	たつの市商工会会長	
産業振興	長田　　博	宍粟市商工会会長	
産業振興	大崎　基弘	上郡町商工会会長	
産業振興	井口　　覚	佐用町商工会会長	
産業振興	桑垣　喜一	西兵庫信用金庫理事長	
消防防災	栗岡　耕治	西はりま消防組合消防長	
地域公共交通	池内　康二	株式会社ウイング神姫代表取締役	
交流・定住促進	井口　明則	一般社団法人兵庫県宅地建物取引業協会西播磨支部幹事	
交流・定住促進	真田　忠敏	住民代表（たつの市連合自治会副会長）	
交流・定住促進	野村　和男	住民代表（宍粟市連合自治会会長）	
交流・定住促進	西山　武彦	住民代表（上郡町連合自治会会長）	
交流・定住促進	加藤　政男	住民代表（佐用町地域づくり協議会代表センター長）	

播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョン

【第１期】

平成 28 年 9 月 27 日　策定
平成 29 年 9 月 27 日　改定
平成 31 年 2 月 19 日　改定
令和 2 年 2 月 20 日　改定
令和 3 年 3 月 30 日　改定

【第２期】

令和 3 年 3 月 30 日　策定
令和 4 年 2 月 18 日　改定
令和 5 年 2 月 24 日　改定
令和 6 年 3 月　7 日　改定
令和 7 年　月　　日　改定

◆発行：たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町

◆編集：たつの市企画財政部企画課

〒679-4192　たつの市龍野町富永 1005 番地 1

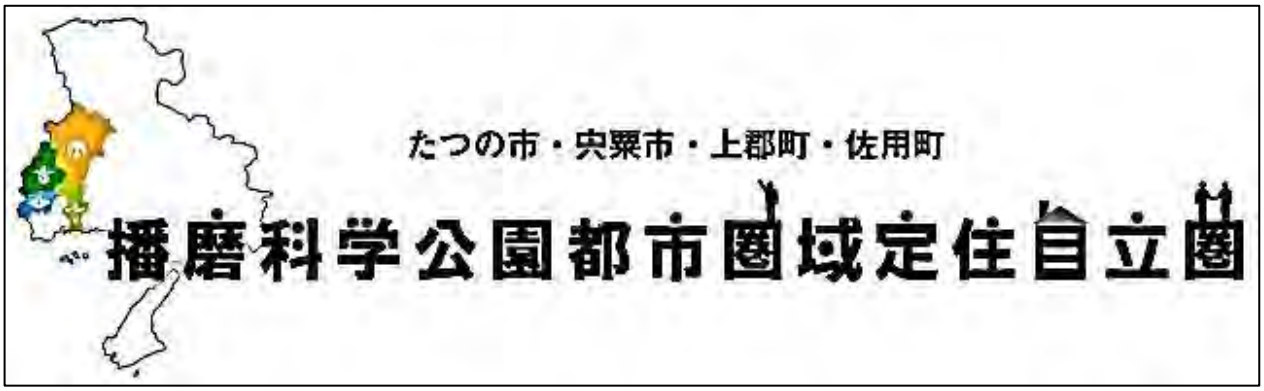
TEL：0791-64-3031　　FAX：0791-63-3786

E ﾒｰﾙ：kikaku@city.tatsuno.lg.jp

◆播磨科学公園都市圏域定住自立圏専用ホームページ

(https://www.city.tatsuno.lg.jp/teijyujiritsuken/index.html)

「播磨科学公園都市定住自立圏」　検　索



第１０回　播磨科学公園都市圏域
定住自立圏共生ビジョン懇談会

【当日配付資料】

たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町
播磨科学公園都市圏域定住自立圏

播磨科学公園都市の概況

令和７年２月２１日(金)
県企業庁播磨科学公園都市まちづくり事務所

１　都市内の状況（令和６年４月１日現在）

① 都市内の人口

昼間人口　約 5,500 人、夜間人口　約 1,200 人

② 分譲状況（第１工区）

区　分	分譲利用可能面積 ha	利用済（率） ha
産業用地	83	81（97%）
住宅用地	28	19（69%） ［ 9（32%） ※太陽光等除く ］
業務用地	126	101（80%）
合　計	237	201（85%）

☆ 産業用地１区画、住宅用地９区画分譲中

③ 立地企業・施設

・民間企業　　26 社
・学術研究施設　Spring-8、SACLA 等
・医療施設　　西播磨総合ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ、粒子線医療センター等
・教育関係施設　播磨高原東小学校、播磨高原東中学校、県立大学理学部、附属高校、附属中学校、県立西はりま特別支援学校

２　まちの賑わいづくり

(1) 令和６年度主なイベント実績　※テクノ中央交差点北「芝生広場」周辺にて開催

・４月	光都チューリップフェア	(17,000 人)
・毎月１回	てくてくマーケット	(4,700 人)
・４月 21 日(日)、10 月 13 日（日）	のんびりマーケット	(1,400 人)
・８月 24 日（土）	光都夏祭り	(1,300 人)
・10 月 26 日（土）	西播磨フロンティア祭	(18,000 人)
・11 月 23 日（土）・24 日（日）	ロハスパーク	(4,500 人)

☆ 県ＨＰ「播磨科学公園都市イベントスケジュール」で毎月の予定を掲載

(2) 光都プラザ内コミュニティスペース「コトハナ」でのイベント開催

県立大学生による地域活性化のための団体「スパークル」が演劇、ＪＡＺＺ研、将棋＆ボードゲーム、リース作り等イベントを開催

〈光都プラザ案内〉
オプトピア
欧風家庭料理 FUKUTEI
ネオ大衆 ヒノマルケン食堂
光都デンタルクリニック
学習塾・英会話 マキシード
農産物直売所
アンザイOAサービス
公文式 光都教室
コミュニティースペース cotohana
タカモリヘアーチェーン
住民交流コーナー
相生警察署 科学公園都市交番
駄菓子 茶月本舗
西播磨光都 プラザ郵便局
コープミニ テクノポリス店
企業庁 播磨科学公園都市 まちづくり事務所
make a Crepe メイク ア クレープ
にしはりまクリーンセンター
至 佐用町
ボルカノ
ひょうご環境体験館
ヤエガキ醗酵技研㈱
㈱帝国電機製作所
大阪ガス ステーション
㈱関西物流
ビーエイチエヌ㈱
西はりま 特別支援学校
県立西播磨総合リハビリテーションセンター
ふれあいスポーツ交流館
県立粒子線医療センター
正門
放射光ナノテクセンター
SPring－8
蓄積リング
SACLA
光都学園 すずらん たんぽぽ
至 長谷
東門
ニュースバル
県道上郡末広線
西播磨総合庁舎
オプトヒルズ
コンフォートテクノⅠ・Ⅱ・Ⅲ
太陽光第1発電所
戸建住宅 ※分譲中
テクノプラザ 西播磨給油所
ファミリーマート 光都テクノポリス店
ストークヒル ゴルフクラブ
たつの消防署 光都分署
光都バスセンター 交流拠点
Carte Parte
末廣堂
播磨高原 東小学校
栗ノ木谷公園
播磨高原 東中学校
光都公会堂
駐車場
播磨光都21
輸入住宅
戸建住宅
光都プラザ
光都プラザ南
光都チューリップ園
サンライフ光都
県立大学 教職員住宅
センターサークル
オプトハイツ
県道相生宍粟線
至 上郡町
県道上郡末広線
至 たつの市
IC
檜ケ坂トンネル
播磨高原 浄化センター
テクノ中央
先端科学技術支援センター
ゲストハウス棟
会議・センター棟
ビストロ エエヤン!!
兵庫県立大学 高度産業科学技術研究所棟
研究開発支援棟
播磨自動車道
西播磨学生寮
黎明寮
旧企業庁庁舎（3号館）
播磨高原広域事務組合 上下水道事業所
播磨光都合宿所
太陽光第3発電所
県立大学前
〈光都サービスセンター〉
㈱サンコム
㈱コンサルタント関西
㈲平成開発設計
はりまくらぶ
兵庫県立大学 播磨理学キャンパス 理学部
大学グラウンド
県立大学 体育館
ダイセル播磨光都第4サッカー場
ダイセル播磨光都第1・2サッカー場 ダイセル播磨光都多目的グラウンド
星の広場
兵庫県西播磨 広域防災拠点
高校グラウンド
ダイセル播磨光都 第2多目的グラウンド
クリテックサービス㈱
ダイセル 西播磨研修センター
兵庫県立大学 附属高等学校
兵庫県立大学 附属中学校
トッパンプラスチック㈱ ハリマ工場
住友電気工業㈱
ダイセル播磨光都 第3サッカー場
㈱NEC太陽光発電施設
㈱安田運輸
林一二㈱
㈱三日月運送
㈱みやもと ホールディングス
Grass Garden
㈱イワサワ
テクノ大橋
太陽光第2発電所
㈱KADO
上月電装㈱
㈱KADO
日本エア・リキード(同) ジャパン・エア・ガシス社
カワサキモータース㈱
㈱帝国電機製作所 技術開発センター
ハイペット(株)
三本弘鋼材㈱
松坂薬品工業㈱
至 相生市
三濃山 トンネル
播磨高原畜場 こぶし苑
播磨科学公園都市案内図 R6. 12. 2現在
播磨科学公園都市まちづくり事務所 TEL(0791)58-1115
オプトピア(PR館) TEL(0791)58-1155

HARIMA SCIENCE GARDEN CITY
KOUTO 21

兵庫県企業庁と
ハウスメーカー・工務店7社の共同分譲プロジェクト

播磨科学公園都市 光都21

建築条件付
宅地分譲

販売価格
950.4万円（1区画）第4期2号地 ～1,423.3万円（1区画）第4期56号地

先着順申込受付中

「光都21子育て・テレワーク応援支援制度」実施中

兵庫県の新しい支援制度が誕生

1 2 3 4 からご希望の支援制度・助成制度を1つ選択してください。（併用はできません）

光都はパパ・ママを応援します！

1

子育てを楽しめる
広い庭でBBQ。
多感な子どもが
自然とふれあい成長！

若年世帯新居購入支援拡充制度

結婚後10年以内、土地所有権移転日までに結婚又は
中学校入学前の子を扶養する世帯

土地価格が **400万円割引**

さらに最大 期間限定（令和7年3月31日まで）

若年世帯新居購入奨励事業

150万円交付

新居購入奨励金 100万円交付
結婚後10年以内、土地所有権移転日までに結婚又は
中学校入学前の子を扶養する世帯が土地引渡しを受けた場合

出産祝 50万円交付
新居購入奨励金の交付を受けた世帯であって、申込後10年以内に出産し、継続して居住する場合

光都はテレワークを応援します！

期間限定
（令和7年3月31日まで）

2

急速に普及した
テレワーク。
ゆったりした家で
仕事の能率UP！

テレワーク応援住宅購入支援制度

契約者又は契約者と同居する親族が、
テレワークを実施している企業等の被雇用者又は、
個人事業主であってテレワークで事業活動を実施

土地価格が **400万円割引**

光都は共働き世帯を応援します！

親子3世代で
暮らしたい方向け

3

おじいちゃん・
おばあちゃんが
そばにいれば、
共働き世帯も
安心！

多世代近住支援制度

3親等内の親族が同時期に2区画を購入する場合の安価な宅地、
または第1～5期の現居住者の3親等内親族が購入する場合

土地価格が **半額**

4

その他の
充実の
助成制度も
あります。

安全で快適な家づくり助成
最大100万円助成

太陽光発電システム整備助成
最大150万円助成

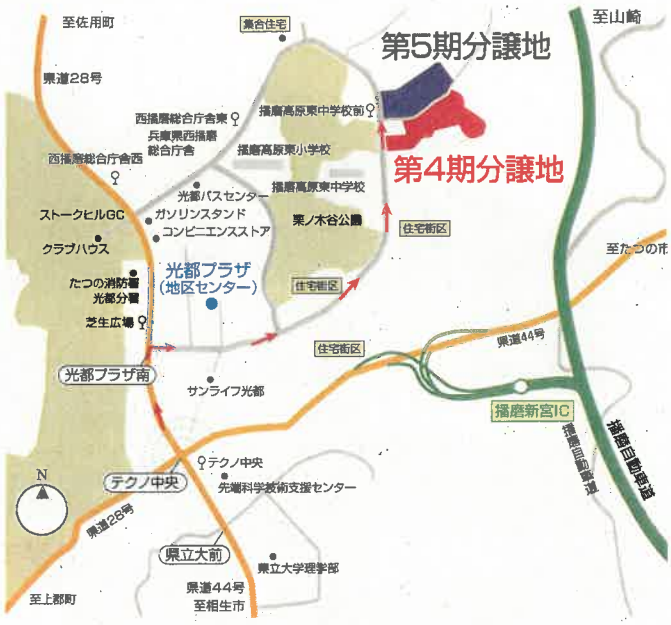
さらに

1 2 3 4 の支援制度に加えて、
たつの市支援制度の活用でさらにお得！

たつの市定住促進住宅取得支援事業（令和7年3月31日までの住宅取得に限ります）
○市内居住の方は「若者住宅取得奨励金」（30万円）（1年目に一括交付）
○市外から転入される方は「転入者住宅取得奨励金」（50万円）（3年目までの交付額合計）
対象条件などの詳細については、たつの市ホームページ「たつの市定住促進サイト」をご確認ください。

※制度については見直される場合がございます。※詳しくは企業庁または販売代理住宅メーカーにお問い合わせください。※新居購入奨励金・出産祝は所得税の確定申告が必要です。

■現地案内図



■販売区画図

■交通アクセス図

■第4期価格表

号地番号	面積	土地販売価格
2号地	211.67㎡(約64.03坪)	9,504,000円
3号地	212.65㎡(約64.32坪)	9,548,000円
4号地	235.00㎡(約71.08坪)	10,857,000円
5号地	243.29㎡(約73.59坪)	11,240,000円
6号地	228.09㎡(約68.99坪)	10,332,000円
10号地	**245.75㎡(約74.33坪)**	**11,255,000円**
12号地	240.80㎡(約72.84坪)	10,788,000円
56号地	**336.46㎡(約101.77坪)**	**14,233,000円**

■第5期価格表

号地番号	面積	土地販売価格
2号地	400.61㎡(約121.18坪)	12,784,000円

カーナビご利用の方は、MAPCODE® 114 669 433*17

※「マップコード」および「MAPCODE」は(株)デンソーの登録商標です。

■全体概要 ●事業名称／播磨科学公園都市●事業主体／兵庫県企業庁●開発総面積／2,010ha●第一工区計画人口／約5,100人(計画戸数/約1,800戸)●交通／JR山陽本線「相生」駅へ神姫バス「播磨高原東中学校前」バス停へ徒歩1分～2分、「播磨高原東中学校前」バス停よりバス乗車約30分「相生駅」バス停下車。JR姫新線「播磨新宮」駅へ神姫バス「芝生広場・播磨科学公園都市」バス停へ徒歩13～15分、「芝生広場・播磨科学公園都市」バス停よりバス乗車約30分「新宮駅」バス停乗下車。JR山陽本線「上郡」駅へ神姫バス「芝生広場・播磨科学公園都市」バス停へ徒歩13～15分、「芝生広場・播磨科学公園都市」バス停よりバス乗車約33分「上郡駅」バス停下車●電気／関西電力(株)●ガス／都市ガス(大阪ガス)●上下水道／播磨高原広域事務組合上・下水道事業所●水道負担金等(口径20mmの場合)／水道分担金132,000円(税込)、量水器・ボックス代12,716円(税込)、竣工審査・検査料5,000円(非課税)、給水管取出工事費が別途必要です。●CATV／月々の使用料が必要です。NHK衛星放送、WOWOWについては別途受信料が必要です。●地目／宅地●地域・地区／第一種低層住居専用地域●建ぺい率／50%●容積率／100%●その他法令による制限／都市計画法による地区計画、建築基準法による建築条例、都市緑地保全法による緑地協定●私道負担／なし●道路幅員／5m、9m他(アスファルト舗装)●販売形態／販売代理●広告有効期限／令和6年7月31日(広告作成日／令和6年4月1日)

■第4期1次・2次建築条件付宅地分譲概要 ●所在地／兵庫県たつの市新宮町光都2丁目290番13他●総区画数／48区画●今回分譲区画／7区画●宅地造成等規制法による許可／兵庫県指令西播(建2)第42号(平成14年9月18日)、兵庫県指令西播(建)第2号(平成17年5月27日)●宅地造成に関する工事の検査済証／兵庫県指令西播(建2)第24号(平成14年9月19日)、兵庫県指令西播(建)第3号(平成18年3月8日)●宅地面積／211.67㎡(1区画)～245.75㎡(1区画)●宅地販売価格／950.4万円(1区画)～1,125.5万円(1区画)

■第4期3次建築条件付宅地分譲概要 ●所在地／兵庫県たつの市新宮町光都2丁目272番135●総区画数／7区画●今回分譲区画／1区画●宅地造成等規制法による許可／兵庫県指令西播(建2)第19号(平成13年10月30日)●宅地造成に関する工事の検査済証／兵庫県指令西播(建2)第19号(平成13年11月29日)●宅地面積／336.46㎡●宅地販売価格／1,423.3万円

■第5期建築条件付宅地分譲概要 ●所在地／兵庫県たつの市新宮町光都2丁目2790番66号●総区画数／7区画●今回分譲区画／1区画●都市計画法第34条の2第1項の規定による開発行為協議通知／開発行為協議通知書第1号(平成25年7月31日)●造成完了年月／平成26年3月●宅地面積／400.61㎡●宅地販売価格／1,278.4万円

■建築条件付宅地(第4期・第5期)について 土地譲渡契約から3ヶ月以内に兵庫県企業庁が指定する建設会社と住宅建築請負契約を締結していただくことを条件として販売します。この期間内(3ヶ月間)に住宅の建築請負契約が成立しない場合、土地譲渡契約は無効となり納入済の契約保証金または受領済の金銭は全額無利息にて返還いたします。

■建築条件付宅地分譲(菜園付又は緑地／第5期)について ●購入宅地内の希望の場所に兵庫県企業庁が指定する建設会社により概ね100㎡の菜園又は緑地区画を整備していただくことを条件として販売します。※将来的に菜園又は緑地以外の用途に供することはできません。

※先着順受付につき区画数等変動している場合があります。※坪数は㎡×0.3025で換算し、小数点3位以下は切捨表示しています。

[土地売主]

兵庫県企業庁
企業誘致課

〒650-8567
兵庫県神戸市中央区下山手通5-10-1
TEL.078-362-9390(直通)
https://iitoko21.jp/

兵庫県企業庁は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

販売代理・お問い合わせ

住友林業
建設業許可番号／国土交通大臣許可(特-2)第4237号
宅地建物取引業免許番号／国土交通大臣(15)第687号
(公社)首都圏不動産公正取引協議会加盟
住友林業株式会社
〒670-0964 姫路市豊沢町137 姫路センタービル5階 tel.079-223-1800
0120-23-1880(姫路支店)

セキスイハイム
建設業許可番号／兵庫県知事許可(特-4)第451646号
宅地建物取引業免許番号／兵庫県知事(12)第450139号
(公社)近畿地区不動産公正取引協議会加盟
セキスイハイム山陽株式会社
〒670-0982 姫路市岡田723-1 tel.079-299-6600
0120-39-8160

三井ホーム
建設業許可番号／兵庫県知事許可(特-4)第402598号
宅地建物取引業免許番号／兵庫県知事(10)第400343号
(公社)全国宅地建物取引業協会連合会加盟
姫路ホーム株式会社(三井ホーム)
〒675-0031 加古川市加古川町北在家2047 tel.079-427-5531
0120-24-0131

建設業許可番号／兵庫県知事許可(般-4)第500526号
宅地建物取引業免許番号／兵庫県知事(4)第500206号
(公社)全国宅地建物取引業協会連合会加盟
池尻殖産株式会社
〒679-4122 たつの市龍野町日飛59-10 tel.0791-63-2992
0120-68-4118

建設業許可番号／国土交通大臣許可(特-4)第26735号
宅地建物取引業免許番号／兵庫県知事(2)第451435号
(公社)全国宅地建物取引業協会連合会加盟
株式会社神名工務店
〒671-2516 宍粟市山崎町三津181 tel.0790-62-0501
0120-753-239

大松の家
建設業許可番号／兵庫県知事許可(般-2)第502326号
宅地建物取引業免許番号／兵庫県知事(3)第500238号
(公社)全国宅地建物取引業協会連合会加盟
大松建設株式会社
〒671-2528 宍粟市山崎町野々上392-1 tel.0790-62-4648
0120-10-8787

ヤマヒロ
建設業許可番号／兵庫県知事許可(特-3)第500283号
宅地建物取引業免許番号／兵庫県知事(7)第500158号
(公社)全国宅地建物取引業協会連合会加盟
株式会社山弘
〒671-2533 宍粟市山崎町須賀沢704 tel.0790-63-0063
0120-12-8076

コーディネーター
一般財団法人 住宅生産振興財団 関西事務所
〒541-0046 大阪府大阪市中央区平野町3-3-8 北條ビル5F
TEL.06-6231-3655

播磨科学公園都市の新たなあり方検討協議会ニュース

第1回　播磨科学公園都市の新たなあり方検討協議会を開催しました

播磨科学公園都市は、まちびらきから25年以上を経て、定住人口が停滞するとともに、インフラ・施設の老朽化等が進んでいます。

一方で、今後、SPring-8のグレードアップや、光都福祉交流・連携エリアの形成等、新たな展開も控えています。

企業庁においては、まちの開発者として、長年にわたり都市・生活基盤の維持に貢献してきましたが、地域整備事業の存廃も含めた抜本的見直しが求められる中、あらためて持続可能な都市運営の方策を探る必要があります。

こうしたことから、今後の新たなまちのあり方について検討するために、地元市町長、有識者、兵庫県などによる検討協議会を立ち上げました。

令和6年11月11日（月）に開催した第1回協議会では、播磨科学公園都市の現状・課題等について事務局から説明した後、委員の皆様から多くのご意見をいただきました。

■ 播磨科学公園都市の新たなあり方検討協議会の概要

【趣旨】　都市の維持・活性化等に係る現状・課題を共有し、今後の新たなまちのあり方を協議

【構成】　地元市町長、有識者、兵庫県（地元関係者：テーマに応じてオブザーバー等による参加）

＜協議事項（例）＞

□播磨科学公園都市の現状・課題の共有　　□まちの新たな展開方策（活性化、価値向上等）

■ 第1回協議会の概要

日　　時：令和6年11月11日（月曜日）
　　10時30分～12時00分

場　　所：兵庫県立先端科学技術支援センター　多目的室

出席者数：２２人（現地参加１９人、リモート参加３人）

議　　題：

（1）播磨科学公園都市の現状・課題等について

（2）今後の進め方について

▲協議会開催中の様子

＜ 委員名簿＞

区分		所属・役職	氏名
地元市町		たつの市長	山本　実
		上郡町長	梅田 修作
		佐用町長	庵逧 典章
有識者	地域政策・地域経済、福祉	兵庫大学 生涯福祉学部 教授	田端 和彦
	都市計画	兵庫県立大学 環境人間学部 教授	太田 尚孝
	都市政策	関西学院大学 建築学部 教授	清水 陽子
	地方財政	関西学院大学 経済学部 教授	上村 敏之
アドバイザー	研究機関、科学技術	国立研究開発法人 理化学研究所 放射光科学研究センター センター長室 高度研究支援専門職	伊藤 裕文
	建築・都市デザイン	大阪公立大学 特別教授	橋爪 紳也
	地域政策・地域活性化	兵庫県政策コーディネーター	田林 信哉
		兵庫県政策コーディネーター	岩浅 有記
兵庫県		副知事	服部 洋平
		兵庫県立大学理学部長	吉久　徹
		総務部長	有田 一成
		企画部長	守本　豊
		福祉部長	岡田 英樹
		保健医療部長	山下 輝夫
		産業労働部長	原田 剛治
		土木部長	上田 浩嗣
		公営企業管理者	梶本 修子
		病院事業管理者	杉村 和朗
		教育長	藤原 俊平
		西播磨県民局長	城下 隆広

■ 委員からの主なご意見

●市町長ご意見

➢地元住民と地元企業に丁寧に説明し、理解・協力を求めることが必要。
➢地域の課題について、住民の意見を聞きながら丁寧に解決することが必要。
➢まちびらき30年を機に、西播磨の核となるようなまちを目指すべき。

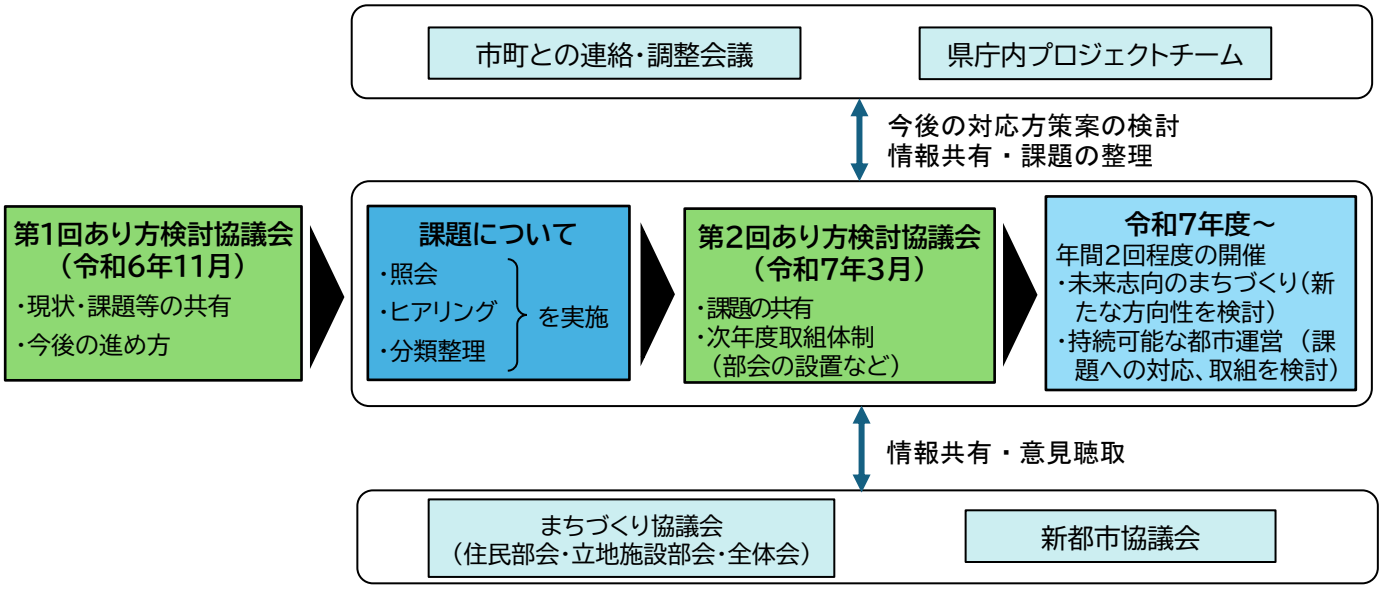
●有識者等ご意見

➢まちの現状分析が必要。
➢地域に住んでいる方の意見を聞くワークショップなどの場が必要。
➢未来志向で考えて、持続可能なまちを目指すべき。
➢県、市町、住民、企業等が自分ごととして率先してまちのあり方について考えるべき。
➢国内外に向けてもっとプロモーションすべき。
➢住民や来訪者がどう感じているかなどを掘り起こしたうえで、まちの物語を見せていくべき。
➢新しい時代をけん引するコンセプトづくりが重要。
➢ SPring-8は世界一を奪還するため再整備を予定。

⇒第１回協議会の議事概要については、兵庫県ホームページに掲載しておりますので、詳しくはこちらをご覧ください。
URL： https://web.pref.hyogo.lg.jp/kc12/harima/arikata.html

■ 今後の進め方

➢地域の課題を市町に照会・ヒアリングし、第２回協議会で共有するとともに、令和７年度からの検討体制について協議します。



お問い合わせ

部署名：兵庫県企業庁　地域整備振興課
電話：078-362-3850　　FAX：078-362-4270
Eメール： chiikiseibi@pref.hyogo.lg.jp

兵庫県

兵庫県

抜粋

改革案について

令和６年１２月
兵　庫　県

1 地域整備事業(③ 播磨科学公園都市)

改革案

〈改革の基本方向〉

- **県、地元市町、有識者等による協議会において、新たな都市のあり方について検討を進める。**
- **「まちびらき３０周年（Ｒ９年度）」を目途に、持続可能な都市運営に向けた基本的な方向性をとりまとめる。**

1　具体的な内容

- 播磨科学公園都市は、まちびらきから25年以上経過し、定住人口が停滞するとともに、インフラ・施設の老朽化等が進む。
- 一方で、今後、新たな展開としてSPring-8の高度化等も控えている。
- 企業庁においては、まちの開発者として、長年にわたり都市・生活基盤の維持に貢献してきたが、今後の地域整備事業会計の抜本的な見直しも踏まえつつ、あらためて持続可能な都市運営の方策を探る必要がある。
- 県、地元市町、有識者等による協議会において、新たな都市のあり方について検討する。

【検討体制】

【新】播磨科学公園都市の新たなあり方検討協議会

【趣旨】 都市の維持・活性化等に係る現状・課題を共有し、都市の新たなあり方を協議する。
【構成】 地元市町長、有識者、兵庫県
（地元関係者：テーマに応じてオブザーバー等で参加）

<協議事項（例）>
□現状・課題の共有　□都市の新たな展開方策（活性化、価値向上等）等

【新】副市町長連絡会議
【新】企画担当課長調整会議

【趣旨】 県・市町の連携、情報収集・課題整理等を行う。
【構成】 地元行政、兵庫県

【新】庁内PT

【趣旨】 庁内連携、情報収集・課題整理等を行う。
【構成】 県関係部局

2 実施時期

R6年度		R７年度	R８年度	R９年度
■第１回協議会(11/11開催)※ ・現状・課題等の共有 ・今後の進め方	■第2回（予定） ・課題の整理 ・次年度取組体制	年間２回程度の開催 ・未来志向のまちづくり（新たな方向性を検討） ・持続可能な都市運営（課題への対応、取組を検討）		持続可能な都市運営に向けた基本的な方向性をとりまとめ

※第１回協議会での主な意見：①地域の意見を丁寧に聞き、持続可能なまちづくりに向けた丁寧な議論が必要、②まちの強みを生かしたプロモーション、アピールの推進、③市町や地域による主体的な関わりが重要　等